パーソナルコンピューター

VGN-FS_2 シリーズ
取扱説明書

SONY®

付属マニュアル一覧

取扱説明書類

バイオを使う上での基本

■ 取扱説明書（本書）

・付属品を確認する
・準備をする
・インターネットやメールをする
・テレビ／ミュージック／
　フォト／DVDを楽しむ
・トラブルの解決
・サービス・サポート情報を見る
・拡張する
・リカバリする

バイオの画面で見るマニュアル

すべての情報を集約

■ バイオ電子マニュアル

バイオについてのすべての情報が記載されています。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
　→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

やりたいことからソフトウェアを選択

■ VAIOナビ

目的の項目を一覧から選んでいくことで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
　→［VAIOナビ］の順にクリックする。

本機に関する重要なお知らせ

■ 重要なお知らせ

バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
　→［重要なお知らせ］の順にクリックする。

ソフトウェアの詳しい使いかたを説明

■ ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

➡ 各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

困ったときは／サービス・サポート

増設／リカバリ

注意事項

パーソナルコンピューター

VGN-FS_2 シリーズ

Microsoft® Windows® XP Professional 搭載モデル
Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の仕様については、「主な仕様」（172ページ）をご確認ください。

この説明書の説明図や画面について
この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

VGN-FS92PS・FS92Sをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
本機には、お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されておりますので、そちらもあわせてご覧ください。

このマニュアルで表記されている名称について

- メモリースティックスロット
  “メモリースティック”を挿入するスロットのことです。マジックゲート対応モデルについては、MEMORY STICK（マジックゲート対応メモリースティック）スロットのことを指します。
- **DVD**スーパーマルチドライブ（**DVD±R 2**層記録対応）モデル
  DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）の機能を搭載したモデルのことです。
- **DVD**スーパーマルチドライブ（**DVD+R 2**層記録対応）モデル
  DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）の機能を搭載したモデルのことです。
- **CD-RW/DVD**ドライブモデル
  CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブの機能を搭載したモデルのことです。
- **DVD-ROM**ドライブモデル
  DVD-ROMドライブの機能を搭載したモデルのことです。
- テレビモデル
  テレビ/地上アナログデータ放送を見るための機能を搭載したモデルのことです。
- テレビ機能非搭載モデル
  テレビモデルではないモデルのことです。
- ワイヤレス**LAN**モデル
  ワイヤレスLAN機能を搭載したモデルのことです。
- **5 GHz**ワイヤレス**LAN**モデル
  IEEE802.11a準拠のワイヤレスLAN機能を搭載したモデルのことです。
- **Bluetooth**機能モデル
  Bluetooth機能を搭載したモデルのことです。
- プリインストールモデル
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は、「本機に付属されているソフトウェアを確認する」（175ページ）をご覧ください。
- 拡張版**Intel SpeedStep**（**R**）テクノロジモデル
  拡張版Intel SpeedStep（R）テクノロジを搭載したモデルのことです。
- グラフィックス・メディア・アクセラレータモデルまたはグラフィックアクセラレータモデル
  各項目で説明しているグラフィックス・メディア・アクセラレータまたはグラフィックアクセラレータが搭載されたモデルのことです。
- （解像度）対応モデル
  各項目で説明している解像度に対応したモデルのことです。
- 日本語配列キーボードモデル
  日本語配列のキーボードを搭載したモデルのことです。
- **FeliCa**モデル
  FeliCa機能を搭載したモデルのことです。
- **Bluetooth**ヘッドセット付属モデル
  Bluetoothヘッドセットを付属したモデルのことです。

目次

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

注意事項

次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたについては次ページをご覧ください。

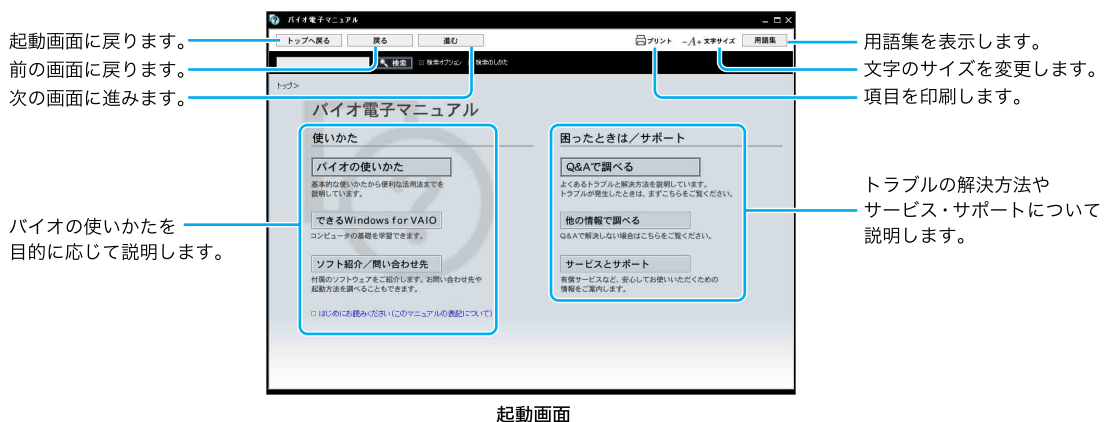
「バイオ電子マニュアル」の使いかた

「バイオ電子マニュアル」は、本機の使いかたや困ったときの解決方法などを画面上で調べることができる電子マニュアルです。

1 ［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

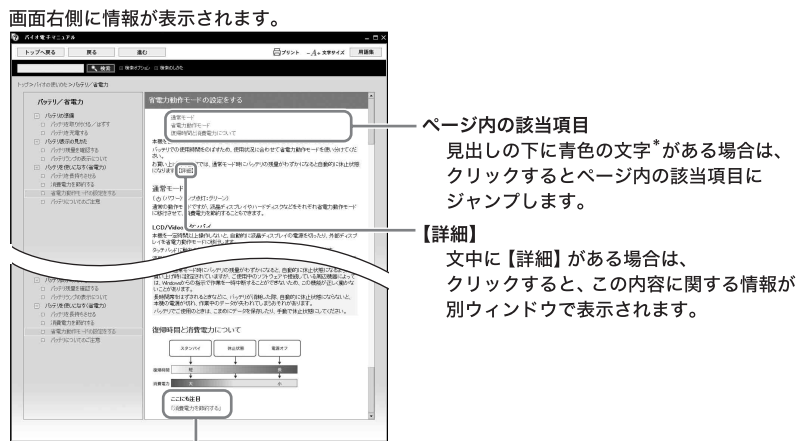
「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 見たい項目をクリックする。

画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（115ページ）をご覧ください。

起動画面

例：消費電力を節約する方法を知りたいとき

起動画面の［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［バッテリ／省電力］→［省電力動作モードの設定をする］の順にクリックする。

画面右側に情報が表示されます。

ここにも注目
ページの最後に「ここにも注目」が
ある場合は、青色の文字*をクリックすると、
このページに関連する情報のページを表示します。

* ポインタをあてると下線が引かれる文字

バイオ電子マニュアル　目次

バイオの使いかた

「バイオの使いかた」には以下の情報が収録されています。

Q&Aで調べる

「Q&Aで調べる」には以下の情報が収録されています。

できるWindows for VAIO

コンピュータの基礎を学習できます。

ソフト紹介／問い合わせ先

付属のソフトウェアをご紹介します。
お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。

他の情報で調べる

Q&Aで解決しない場合にご覧ください。

サービスとサポート

有償サービスなど、安心してお使いいただくための
情報をご案内します。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-7D1N/7D2N/7D3N

電波法に基づく認証について（ワイヤレスLANモデル）

本機内蔵のワイヤレスLANカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS･C-6802）クラス1適合のDVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）、DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）、CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブまたはDVD-ROMドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について（ワイヤレスLANモデル）

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN機能について（ワイヤレスLANモデル）

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて（ワイヤレスLANモデル）

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/noticessecurity_wirelesslan.html
をご覧下さい。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）について

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式番号を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[ご注意/その他]→[その他]→[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。)

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/pcrecycle/ より、事業者向けのページをご覧ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。

該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年末までに終了することが、国の方針として決定されています。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

14～20ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても、記録内容の補修や修復は致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

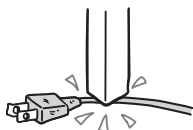
行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリモジュールを取り付ける／はずす」（146ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

(LAN)コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の (LAN) コネクタに次のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、 (LAN) コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電を防ぐためにテレホンコードや電源プラグ、LANケーブルを抜いてください。また、雷が鳴りだしたら、本機には触らないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHz（IEEE802.11a）ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

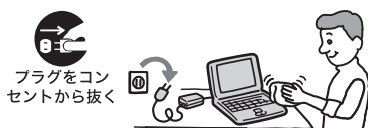
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

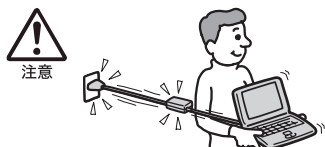
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください。
  ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。
  斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合の安全性は保証できません。
  - 本機に付属、または指定された別売りのバッテリ以外を使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない
電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

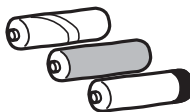
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

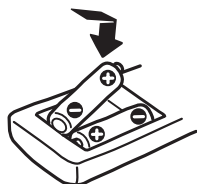
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三型）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

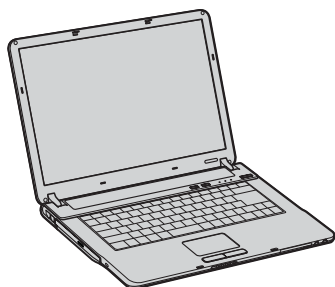
はじめに

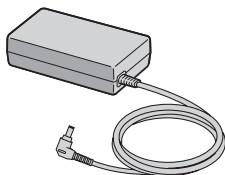
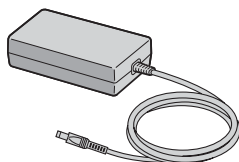
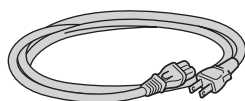
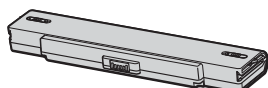
付属品を確かめる

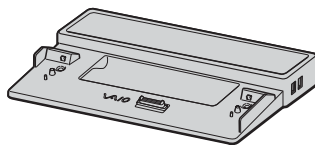
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

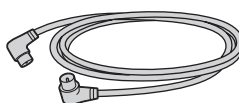
VGN-FS92PS・FS92Sをご購入のお客様へ

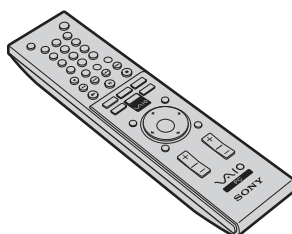
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
本機には、お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されておりますので、そちらもあわせてご覧ください。

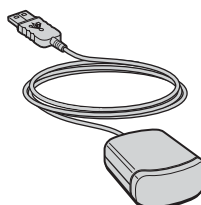
❑ パソコン本体

❑ ACアダプタ

（VGN-FS22VB以外に付属）

（VGN-FS22VBに付属）

❑ 電源コード

❑ バッテリ（バッテリーパック（S））

❑ テレビポートリプリケーター

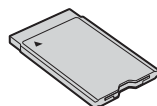
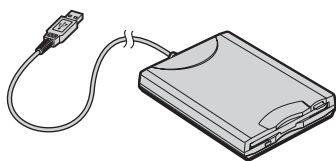
（VGN-FS22VBに付属）

❑ アンテナ接続ケーブル

（VGN-FS22VBに付属）

❑ リモコン本体

（VGN-FS22VBに付属）

❑ リモコン用受光ユニット

（VGN-FS22VBに付属）

❑ リモコン用単3マンガン乾電池（2）

（VGN-FS22VBに付属）

❑ メモリカードアダプタ

❑ フロッピーディスクドライブ
（VGN-FS52B･FS32Bに付属）

説明書･その他

❑ 取扱説明書

❑ 保証書

❑ VAIOカルテ

❑ その他パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（139ページ）をご覧ください。

❑ Microsoft® Office Personal Edition 2003*1 プレインストールパッケージ CD-ROM
（VGN-FS52B･FS32B･FS22B･FS22VBを含む「Office Personal 2003」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003*2 プレインストールパッケージ CD-ROM
（VGN-FS92PS･FS92Sのうち「Office Professional Enterprise 2003」プリインストールモデルに付属）

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ･表計算」（141ページ）をご覧ください。

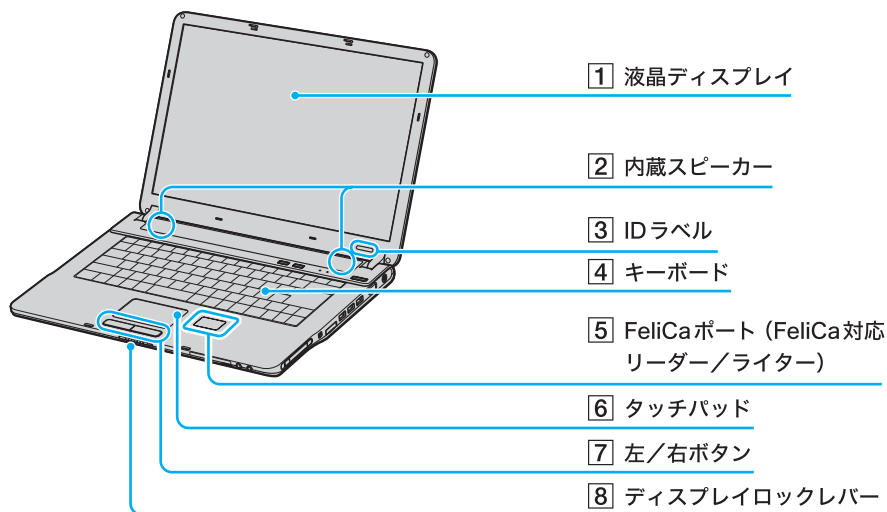
*1 この説明書では以降、Office Personal 2003と略します。

*2 この説明書では以降、Office Professional Enterprise 2003と略します。

ヒント
本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは「リカバリについて」（150ページ）をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。
詳しい説明については、(　)内のページ、および「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[各部の説明]の順にクリックする。)

本機正面

1 **液晶ディスプレイ(96、166ページ)**

2 **内蔵スピーカー**

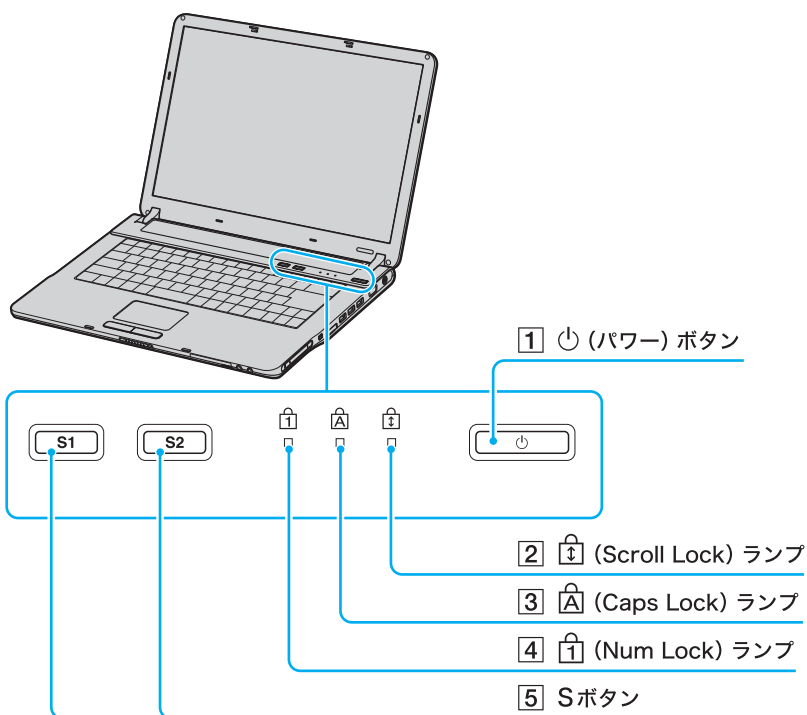
3 **IDラベル**
型名が記載されています。

4 **キーボード(30、98ページ)**

5 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)**
FeliCa対応のカードを読み取ります。

6 **タッチパッド(100ページ)**
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

7 **左／右ボタン**
マウスの左／右ボタンに相当します。

8 **ディスプレイロックレバー**

1 ⏻(パワー)ボタン

2 (Scroll Lock)ランプ(30ページ)
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

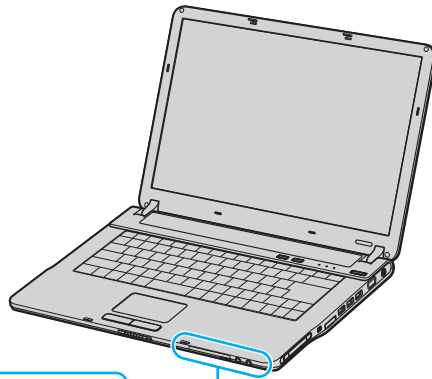
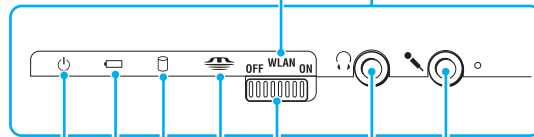
3 (Caps Lock)ランプ(30ページ)
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

4 (Num Lock)ランプ(30ページ)
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

5 Sボタン
お買い上げ時の設定では、S1ボタンを押すと、本機内蔵のスピーカーやヘッドホンの音声を入/切します。また、S2ボタンを押すと、液晶ディスプレイと外部ディスプレイの画面表示を切り替えます。
S1ボタン、S2ボタンに割り当てた機能を変更することもできます。

1 WLAN（ワイヤレスLAN）ランプ
（ワイヤレスLANモデルのみ）
ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

2 （パワー）ランプ（36ページ）
電源が入ると点灯（グリーン）します。
スタンバイモード時には点滅（アンバー（赤褐色））します。

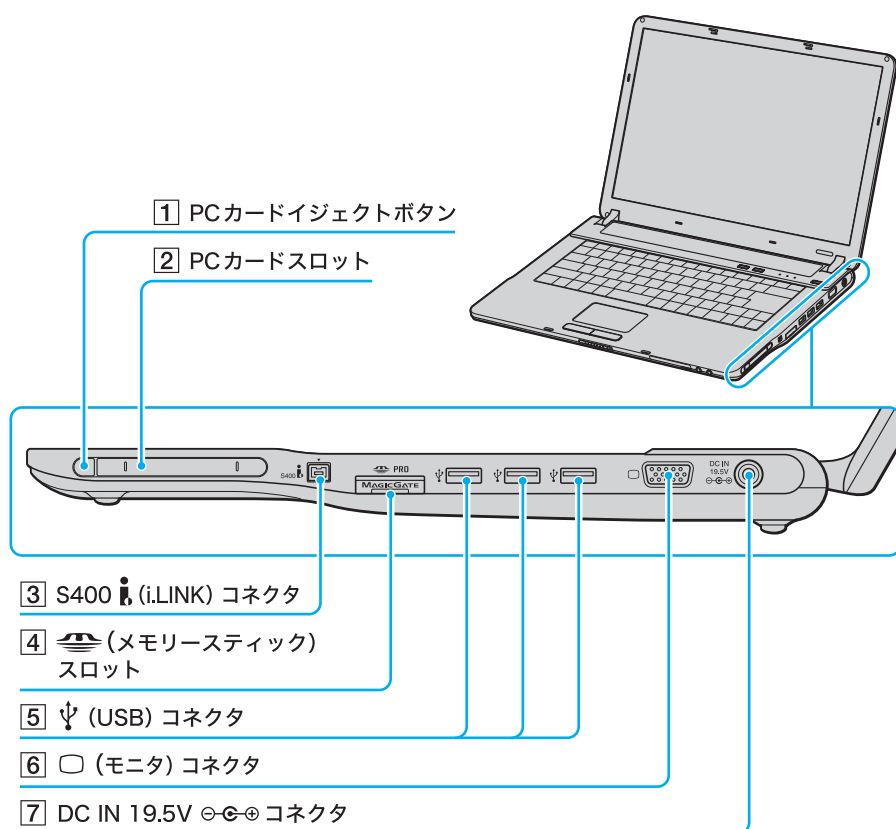
3 （バッテリ）ランプ
バッテリの動作状態をお知らせします。

4 （ハードディスク／ディスクドライブ）アクセスランプ
ハードディスク／ディスクドライブにアクセスしてデータを読み込んでいるときや、書き込んでいるときに点灯します。

5 （メモリースティック）アクセスランプ
“メモリースティック”にアクセスしているときに点灯します。

6 WLAN（ワイヤレスLAN）スイッチ
（ワイヤレスLANモデルのみ）
ワイヤレスLANをオン／オフします。

7 （ヘッドホン）コネクタ
スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

8 （マイク）コネクタ（ステレオマイク対応）
マイクをつなぎます。
ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右側に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

本機右側面

1 PCカード イジェクトボタン
PCカードを取り出します。

2 PCカードスロット（168ページ）

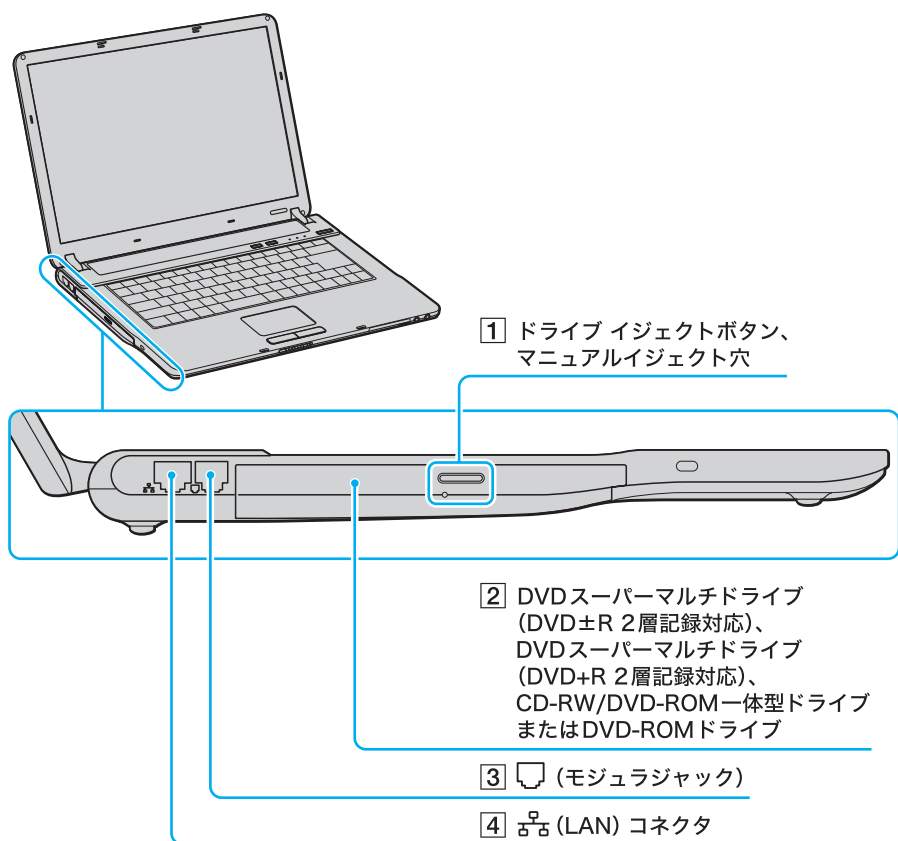
3 S400 (i.LINK)コネクタ
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

4 (メモリースティック)スロット
カバーを持ち上げ、"メモリースティック"を挿入します。
"メモリースティック デュオ"もそのままお使いになれます。

5 (USB)コネクタ
USB規格に対応した機器をつなぎます。

6 (モニタ)コネクタ
外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

7 DC IN 19.5V コネクタ（36ページ）
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

本機左側面

1 ドライブ イジェクトボタン、マニュアルイジェクト穴

2 DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)、DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層記録対応)、CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブまたはDVD-ROMドライブ

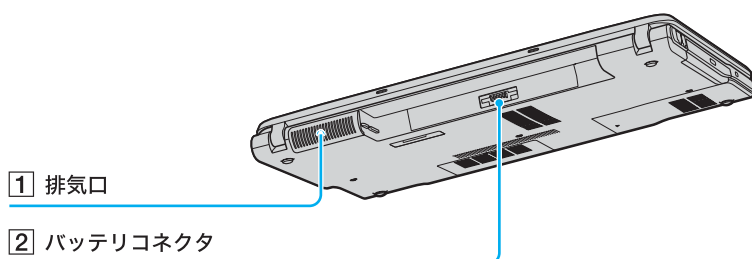
DVDスーパーマルチドライブ(DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)モデル)、DVDスーパーマルチドライブ(DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層記録対応)モデル)、DVD-ROMドライブ(DVD-ROMドライブモデル)は、以降ドライブと略します。
CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ(CD-RW/DVD-ROMドライブモデル)は、以降CD-RW/DVDドライブまたはドライブと略します。
お使いのドライブを確認するには、「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

3 (モジュラジャック)(61ページ)

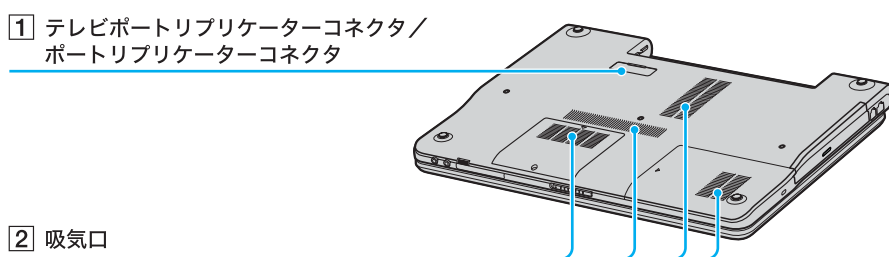
電話回線をつなぎます。

4 (LAN)コネクタ

LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。(61ページ)

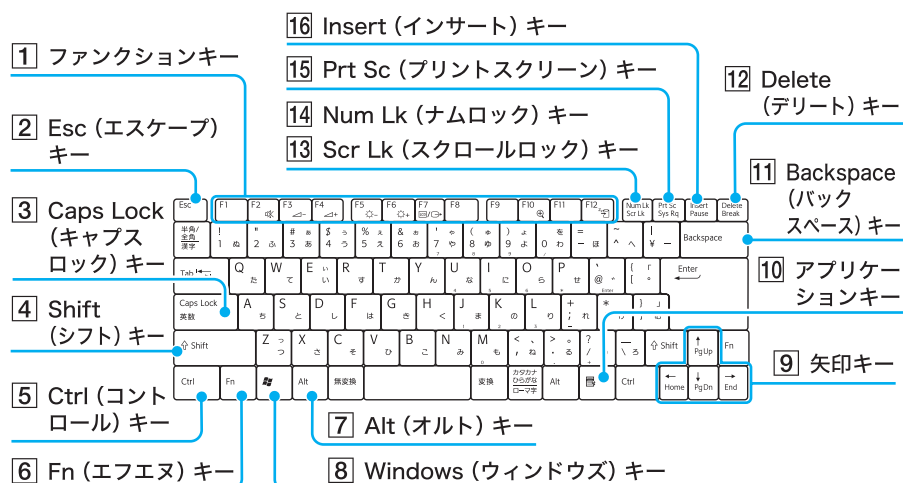
本機後面

1 **排気口**

2 **バッテリコネクタ**

本機底面

1 **テレビポートリプリケーターコネクタ**（32ページ）**／ポートリプリケーターコネクタ**
本機に付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vやポートリプリケーター VGP-PRFS1を取り付けます。

2 **吸気口**

キーボード各部の名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

2 Esc（エスケープ）キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 Caps Lock（キャプスロック）キー

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にある （Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

4 Shift（シフト）キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

5 Ctrl（コントロール）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

6 Fn（エフエヌ）キー

キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

7 Alt（オルト）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

8 Windows（ウィンドウズ）キー

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

9 矢印キー

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

11 Backspace（バックスペース）キー

カーソルの左側の文字を消します。

12 Delete（デリート）キー

カーソルの右側の文字を消します。

13 Scr Lk（スクロールロック）キー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの右上にある （Scroll Lock）ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと消灯します。

14 Num Lk（ナムロック）キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある （Num Lock）ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。

15 Prt Sc（プリントスクリーン）キー

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

16 Insert（インサート）キー

文字を挿入するか、上書きするかを切り替えます。

本機をセットアップする

ステップ1：　準備する

ステップ2：　電源を入れる

ステップ3：　Windowsを準備する

ステップ4：　カスタマー登録する

ステップ5：　基本設定を行う

ステップ6：　バイオをはじめる前の準備を行う

ステップ1：
準備する

1 バッテリを取り付ける

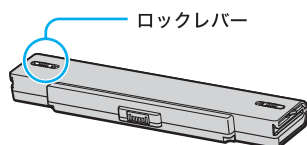
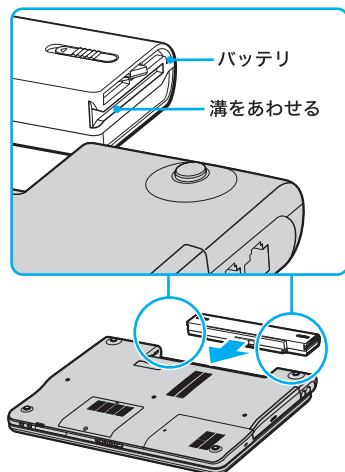
バッテリの取り付け／取りはずしをする場合は、本機の電源を切り、液晶ディスプレイを閉じてから行ってください。
また、あらかじめ「バッテリについてのご注意」（169ページ）をご覧ください。

本機後面のバッテリ収納部にバッテリを取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

① バッテリのロックレバーを内側（UNLOCK側）にずらす。

② 本機後面とバッテリの両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。

③ ロックレバーを外側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。

付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vを接続していない場合は、「ステップ2：電源を入れる」（36ページ）に進んでください。

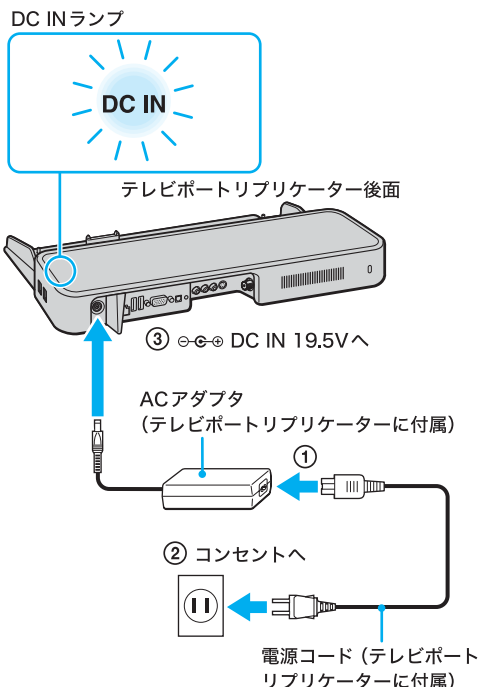
2 テレビポートリプリケーターを取り付ける

ヒント
付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vを取り付けると、テレビ録画ができたり、より多くの周辺機器を接続することができます。AC電源やUSBプリンタなどを常にテレビポートリプリケーターに接続しておけば、毎回接続する手間がはぶけて便利です。

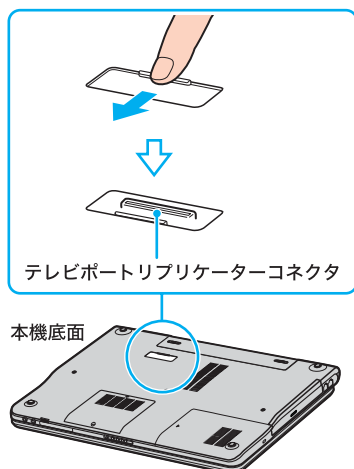
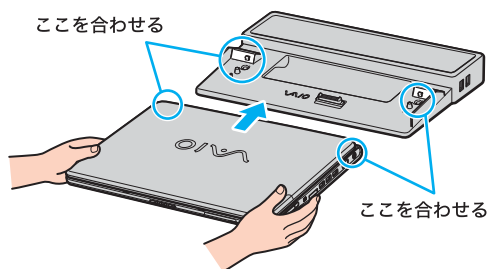
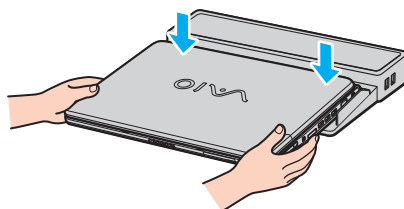
！ご注意
- テレビポートリプリケーターは必ず指定のACアダプタを使って、AC電源に接続してお使いください。
- 本機にテレビポートリプリケーターを取り付けるときは、必ず本機の電源を切ってから取り付けてください。
- テレビポートリプリケーターを取り付けた状態で、本機を移動しないでください。移動時にテレビポートリプリケーターがはずれ、落下してけがをしたり、本機やテレビポートリプリケーターが破損するおそれがあります。

1 本機および周辺機器の電源を切り、本機に接続したすべての機器を取りはずす。

2 テレビポートリプリケーターをAC電源に接続する。（36ページ）

DC INランプが点灯（グリーン）します。

! ご注意

テレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vをご使用になるときは、必ずテレビポートリプリケーターに付属のACアダプタPCGA-AC19V9をお使いください。
本体に付属のACアダプタVGP-AC19V10をご使用になると、作業中の状態や保存されていないデータが失われることがあります。
テレビポートリプリケーター付属モデルの場合は、付属のACアダプタPCGA-AC19V9をお使いください。

3 本機底面にあるテレビポートリプリケーターコネクタのカバーをずらして開く。

4 本機後面の両端をテレビポートリプリケーターにあわせる。

5 本機を静かに下ろし、下図の矢印部分を奥までしっかりと押す。

! ご注意

本機をテレビポートリプリケーターに無理に押しつけたり、力を加えたりしないでください。故障や破損の原因となります。

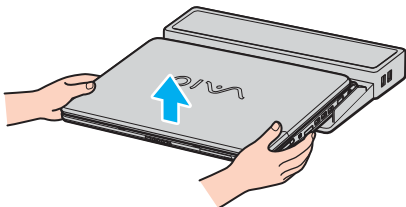
ヒント

本機をテレビポートリプリケーターに取り付けた場合、本機のDC IN 19.5V コネクタ、▭（モニタ）コネクタ、一番奥の（USB）コネクタ、（LAN）コネクタに接続することはできません。
テレビポートリプリケーターを取り付けている場合は、テレビポートリプリケーターのコネクタに接続してください。

❑ テレビポートリプリケーターを取りはずすには

！ご注意
テレビポートリプリケーターを本機から取りはずすときは、必ず本機の電源を切ってから取りはずしてください。電源を切らずに取りはずすと、作業中のデータが失われるおそれがあります。

① 本機および周辺機器の電源を切る。

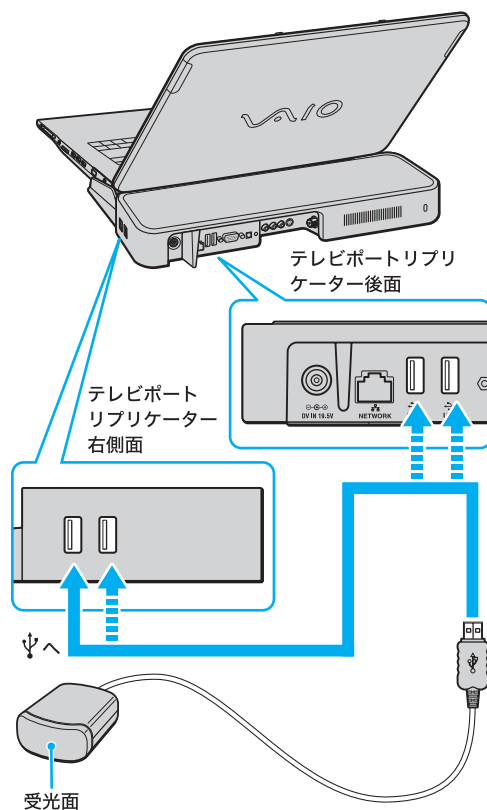
② 本機を手前側から上に持ち上げる。

！ご注意
テレビポートリプリケーター側を持つと、テレビポートリプリケーターが持ち上がり、足などに落とす危険があります。

③ 本機底面にあるテレビポートリプリケーターコネクタのカバーを閉じる。

3 リモコンを準備する（Do VAIOプリインストールモデル）

ヒント
リモコン、リモコン用受光ユニットは付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vに付属されています。

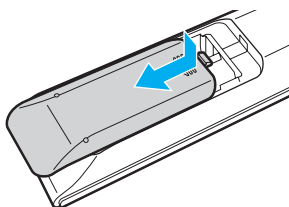
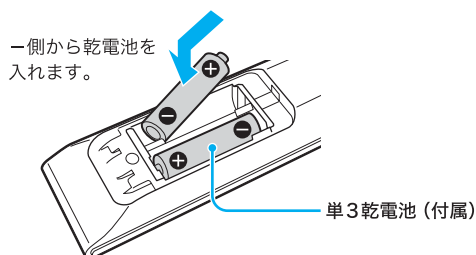
リモコン用受光ユニットを接続するには

付属のリモコン用受光ユニットを ψ（USB）コネクタに接続します。
受光ユニットを接続したあと、再起動のメッセージが表示されることがあります。その際は、画面の指示に従って操作してください。

！ご注意
- リモコン用受光ユニットは、本機専用です。他の機器ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。
- 受光ユニットをUSBハブに接続してご使用の場合、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず直接 ψ（USB）コネクタに接続してください。

リモコンを準備するには

以下の手順に従って、リモコンを使えるように準備します。

1 リモコンを裏返す。

2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

3 ＋とーの方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。

！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ＋とーの向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

4 乾電池入れのふたを閉める。

ステップ2:
電源を入れる

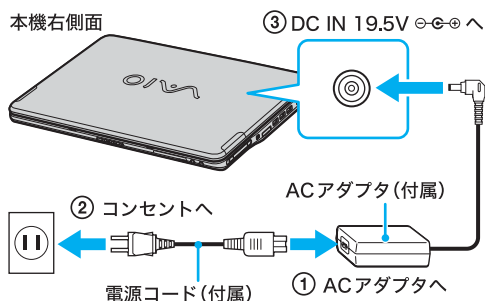
次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

!ご注意
安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリおよびACアダプタをご使用ください。

1 バッテリを取り付ける。

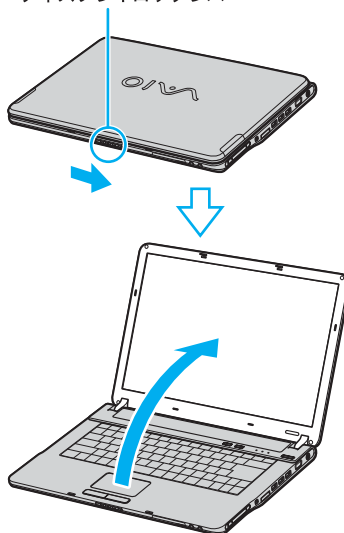
停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。
バッテリの取り付けかたについて詳しくは、「バッテリを取り付ける」(32ページ)をご覧ください。

2 AC電源をつなぐ。

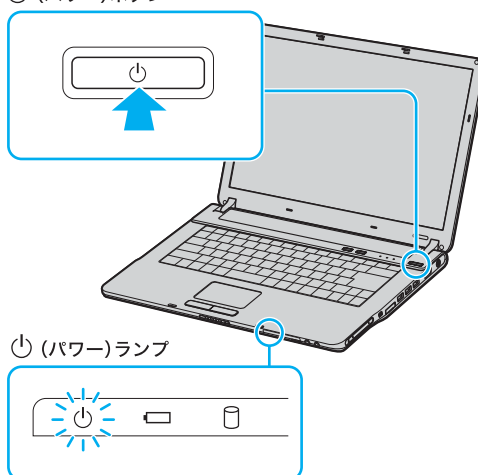
本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ ACアダプタのプラグを、本機右側面のDC IN 19.5V⊖-◐-⊕ コネクタに差し込む。

3 ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらしながら、ディスプレイパネルを開く。

4 ⏻(パワー)ボタンを押し、⏻(パワー)ランプが点灯(グリーン)したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

!ご注意
⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。⏻(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(38ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

!ご注意

- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や第三者から本機を守るために「セキュリティについて」(66ページ)をご覧ください。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。
  画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

ヒント

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ*1)。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中に約30分操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押してください。

*1 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[バッテリ/省電力]→[バッテリを使いこなす(省電力)]→[消費電力を節約する]の順にクリックする。)
*2 ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  お買い上げ時の設定は明るくなっています。
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。

電源を切るには

次の手順に従って、本機の電源を切ります。

!ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 メニューの[終了オプション]をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

3 [電源を切る]をクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

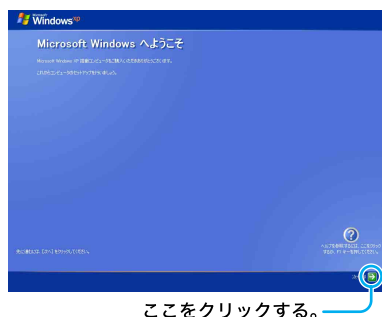
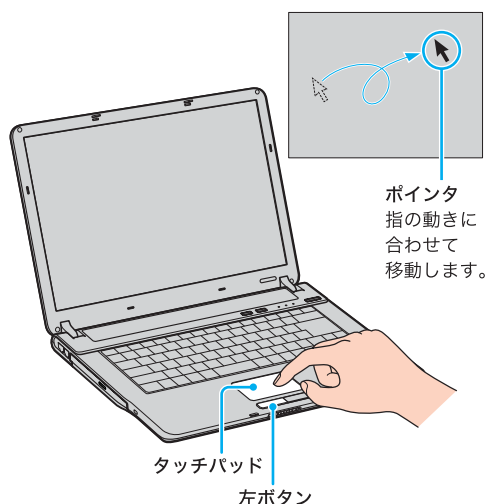
ステップ3：
Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「準備する」(32ページ)をご覧ください。
- タッチパッドやキーボードの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- 次の手順で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。表示される画面に従って操作してください。

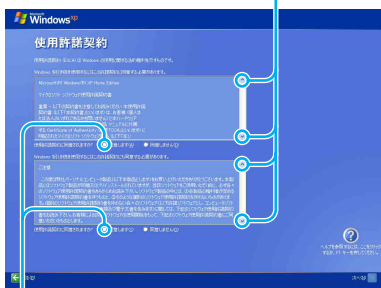
1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある (次へ)をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、[次へ]の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

ご注意

Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは2か所の[同意します]の○をそれぞれクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

ここをクリックすると、
文章が上下に移動する。

ここをクリックする。
○が◉になる。

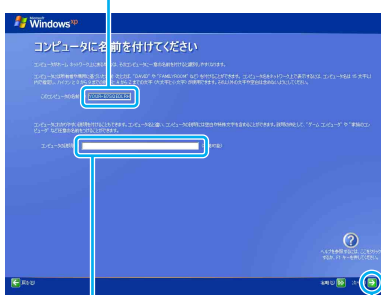
!ご注意

どちらか一方でも[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

3 コンピュータを保護するための設定画面が表示されるので、設定を有効にする項目を選び、➡(次へ)をクリックする。

「コンピュータに名前をつけてください」画面が表示されます。

4 必要な場合はコンピュータ名を変更し、➡(次へ)をクリックする。

① 自動的に表示されますが、必要な場合は
認識しやすい名前に変更してください。

② コンピュータにわかりやすい
説明をつけることもできます。

③ ここをクリックする。

Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合は、「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されます。

Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合は、「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されますので、手順7へ進んでください。

ヒント

- コンピュータ名の入力は任意ですので、何も入力しなくても問題はありません。
- Windowsのセットアップ完了後に、コンピュータ名やコンピュータの説明を入力／変更することもできます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

5 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」の欄にパスワードを入力し、(次へ)をクリックする。

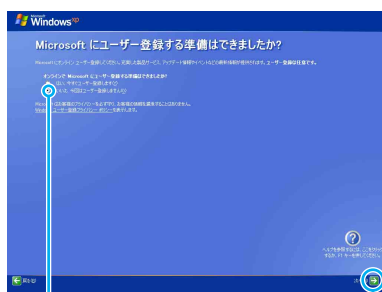
6 「このコンピュータをドメインに参加させますか?」画面が表示されたら、ネットワーク環境にあわせて設定し、(次へ)をクリックする。

「このコンピュータをドメインに参加させますか?」画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

7 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示された場合は、(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」画面が表示されます。
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

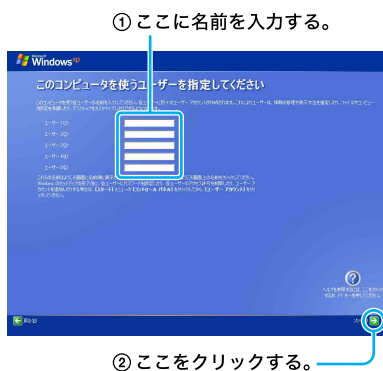
ヒント
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いのデバイスの◯をクリックして(次へ)をクリックすると、デバイスによってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。
その場合は画面の指示に従って操作してください。
また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。
詳しくは「インターネットを始める」(58ページ)をご覧ください。

8 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の◯をクリックして◉にし、(次へ)をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

ヒント
「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで(次へ)をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。
インターネットに接続するための設定について詳しくは「インターネットを始める」(58ページ)をご覧ください。

9 ユーザーの名前を入力し、➡(次へ)をクリックする。

①ここに名前を入力する。

②ここをクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。
「設定が完了しました」画面が表示されます。

10 ➡(完了)をクリックする。

11 Windowsの起動後、本機に設定されている日時を確認し、現在の日時にあわせる。

① [スタート]をクリックして、[コントロール パネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時にあわせる。

③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

これでWindowsが使えるようになりました。

ヒント

- ユーザー名の入力には、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット(全角/半角)などを使用できます。
  例:
  － 私のバイオ
  － my VAIO
- 半角/全角キーで文字の入力切替を行います。
- Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(37ページ)をご覧ください。

!ご注意

- ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりするためには、更にインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは「インターネットを始める」(58ページ)をご覧ください。
- 本機に付属のOS(Operating System)以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。本機のOSは、「Microsoft® Windows® XP Professional*」または「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」です。
  * この説明書では、WindowsまたはWindows XPと略します。
- デスクトップ画面上にあるショートカットアイコンには、一定の期間使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windowsの初回起動時から60日後に、ショートカットアイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。その後も60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のショートカットアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のショートカットアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- 本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。
  また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますので予めご了承下さい。

ヒント

本機を複数のユーザーで使えます

登録したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。
複数のユーザーでのWindowsの使用について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

Windows セキュリティ センターについて

Windows セキュリティ センターは、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]の順にクリックして起動します。

Windows セキュリティ センターでは、お使いのバイオをウイルスなどから守るために、セキュリティに関する次の項目について、バイオの状態をチェックします。
問題が見つかった場合はメッセージが表示され、対応策を知ることができます。

- ファイアウォール
  有効になっていると、ネットワークなどを介した第三者のアクセスを阻止することができます。
- 自動更新
  「Windowsを準備する」(38ページ)の手順3でコンピュータを保護する設定を選ぶと、この機能が「有効」になります。有効にすると、「Windows Update」にて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
- ウイルス対策
  ウイルス対策ソフトウェアが最新の状態に保たれているかチェックします。ウイルス定義ファイルは頻繁に更新されますので、常に最新の状態に保つようにしましょう。

！ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。
詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ステップ4：
カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）はバイオをご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
なお、保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（138ページ）をご覧ください。
VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
詳しくは、「お問い合わせ先について」（136ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

インターネット経由でご登録を行うことができます。

！ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で、変更手続きが行えます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタをあわせ、［VAIO オンラインカスタマー登録］をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

ヒント
カスタマー登録をしない、または後でするときは、画面を閉じてください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」と「お客様サポート番号」が表示されます。

！ご注意
表示された番号は、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

ヒント
「My Sony ID」は、登録メールアドレスに送信されます。

！ご注意
VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ステップ5:
基本設定を行う

付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vを接続していない場合は、「Do VAIOの設定をする（Do VAIOプリインストールモデル）」（49ページ）に進んでください。
Do VAIOがプリインストールされていないモデルをお使いの場合は、「パスワードについて」（54ページ）に進んでください。

アンテナにつなぐ

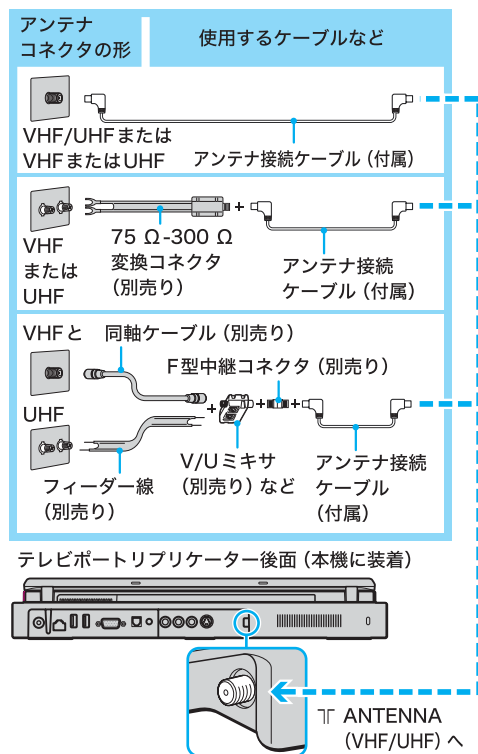
ヒント
テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。

本機でテレビを楽しむには、本機に取り付けた付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vの ⫪ANTENNA（VHF/UHF）コネクタと壁のアンテナコネクタを接続します。
接続のしかたは場合によって異なりますので、ご自分の使用環境にあわせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機を新たに接続する場合

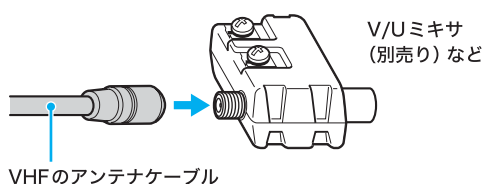
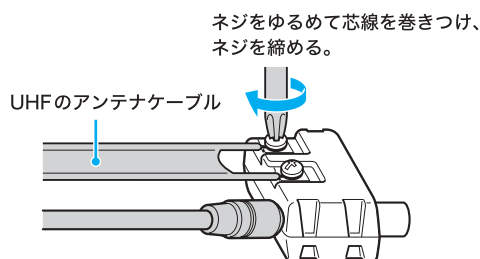
！ご注意
アンテナ接続ケーブルは、必ずテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vの ⫪VHF/UHFコネクタに接続してください。

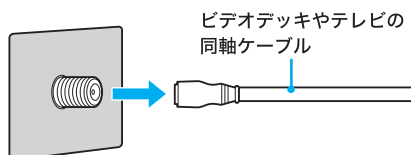
❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

！ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

1 VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

2 UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

❑ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機を新たに接続する場合

1 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビの同軸ケーブルを取りはずす。

2 テレビアンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってテレビアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎ方は、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」（46ページ）から、最も近いものを選び接続してください。

点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント
ビデオデッキをつなぐなど、テレビアンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

Do VAIOの設定をする（Do VAIOプリインストールモデル）

Do VAIOは、テレビやビデオなどの映像や音楽、デジタル写真、音楽CD、DVDをコンピュータで楽しむための統合プレイヤーです。

本機をはじめてお使いになるときは、Do VAIOの設定を行ってください。

ヒント
テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。

はじめてDo VAIOを使うときには、次の手順に従って、テレビを見るためのチャンネル設定や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。
なお、基本設定はアンテナ接続後に行ってください。（46ページ）

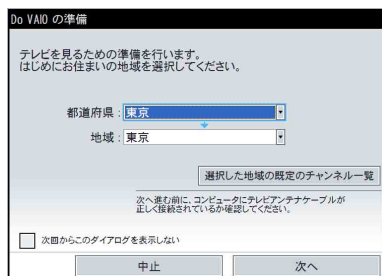
！ご注意
- Do VAIOの準備を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- メインメモリが512 Mバイト以上でのご使用をおすすめします。256 Mバイトの場合は、Do VAIOの起動や操作に時間がかかる場合があります。

1 リモコンのVAIOボタンを押すか、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。
付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vを接続していない場合は、手順6に進んでください。

2 [次へ]をクリックする。

「テレビを見るための準備を行います。初めにお住まいの地域を選択してください。」画面が表示されます。

3 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

「制限付きアカウント」を持つユーザーでログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

ヒント

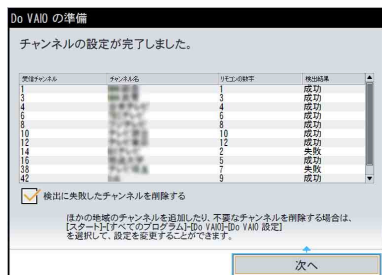
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域にあらかじめ登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーでログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの設定が完了しました」画面が表示されます。

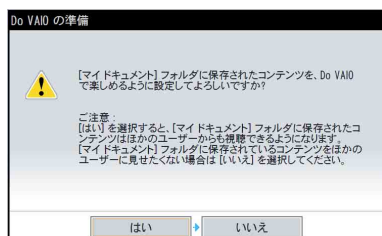
ヒント

- [検出に失敗したチャンネルを削除する]を にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。チャンネルの追加や削除はあとで行うことができるため、通常は のままにしておくことをおすすめします。
- 「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIO を使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。手順6に進んでください。

5 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が になっていることを確認して[次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーでログオンしている場合、「Do VAIO を使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。
これでDo VAIOの基本設定は完了です。

ヒント
[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

ヒント
- Do VAIOの基本設定を後から変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOの操作方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の「Do VAIOで楽しむ」の順にクリックする。)

付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vを接続していない場合は、「パスワードについて」(54ページ)に進んでください。

チャンネル設定を変更する(Do VAIOプリインストールモデル)

ヒント
テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。

Do VAIOをはじめて使うときには、チャンネル設定を行います。(49ページ)
チャンネル設定をしても映らないチャンネルがあったり、ご使用の地域で受信できるチャンネルと実際のチャンネルが異なる場合は、次の手順でチャンネル設定を変更することができます。

!ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

❑ 一部のチャンネルが映らない場合

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。

「テレビ・ビデオ(チャンネル設定)」画面が表示されます。

3 チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。

①チャンネルを選択する。　②ここをクリックする。

4 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

選択したチャンネルが一覧から削除されます。

5 [追加]をクリックする。

「チャンネルの追加」画面が表示されます。

6 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。

[OK]をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3〜6を繰り返し、設定してください。

ヒント
チャンネル名は、「指定した地域のチャンネル」または「ほかの地域のチャンネル」のリストから選択してください。ご希望のチャンネルがリストに含まれていない場合は、「指定した地域のチャンネル」のリストにチャンネル名を入力することもできます。

❑ すべてのチャンネルが映らない場合

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。

「テレビ・ビデオ(チャンネル設定)」画面が表示されます。

3 [チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。

4 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

5 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

6 [次へ]をクリックする。

チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
[検出に失敗したチャンネルを削除する]を □ にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は ☑ のままにしておくことをおすすめします。

7 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が ☑ になっていることを確認して[完了]をクリックする。

パスワードについて

本機では、パワーオン・パスワード（起動時のパスワード）とハードディスク・パスワードを設定することができます。

パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使用するようにできます。
大切なデータを守りたいときなどに便利です。
パワーオン・パスワードには、以下の2種類があります。

- **マシンパスワード（管理者用）**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  マシンパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面でのすべての設定が可能になります。
- **ユーザーパスワード（管理者以外のユーザー用）**
  本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。
  ユーザーパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面での一部の設定が可能になります。
  マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

パワーオン・パスワードの設定手順について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[起動時の設定]→[パワーオン・パスワードを設定する]の順にクリックする。）

!ご注意
- パワーオン・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マシンパスワードを入力することでBIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  - マシンパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することはできません。
    修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
パワーオン・パスワードは、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。

ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードを設定することで、本機以外のパソコンでハードディスクを不正使用することを防止できます。

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- マスターパスワード（管理者用）
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- ユーザーパスワード
  ハードディスクにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

ハードディスク・パスワードの設定手順について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[起動時の設定]→[ハードディスク・パスワードを設定する]の順にクリックする。）

！ご注意

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスク内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスク内のデータを使用できなくなり、ハードディスクのデータをリカバリすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。
    VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクのみに有効です。
  外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

ヒント

ハードディスク・パスワード（ユーザーパスワード）は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあと入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。

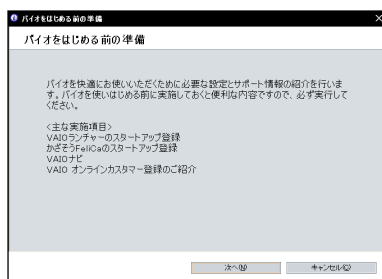
ステップ6:
バイオをはじめる前の準備を行う

引き続き、「バイオをはじめる前の準備」で設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［バイオをはじめる前の準備］をクリックする。

「バイオをはじめる前の準備」が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこの後のページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ **インターネットに接続したい。**
→58ページをご覧ください。

❑ **電子メールをやりとりしたい。**
→63ページをご覧ください。

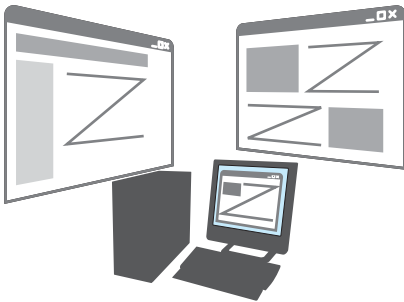
❑ Windows**の基本操作を知りたい。**
→「できるWindows for VAIO」をご覧ください。
（「バイオ電子マニュアル」の［できるWindows for VAIO］をクリックする（8ページ）。）

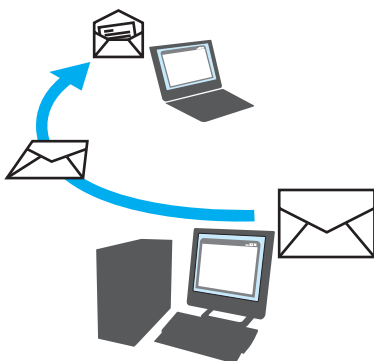
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

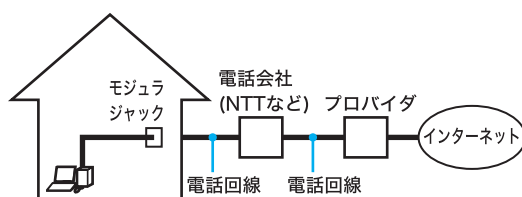
こんなこともできます

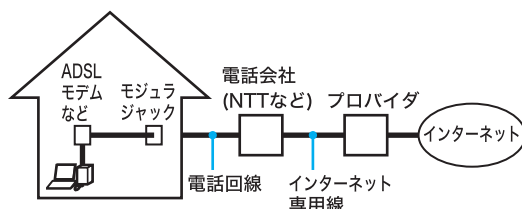
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー(IM)というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット(文字による会話)などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作って他のインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

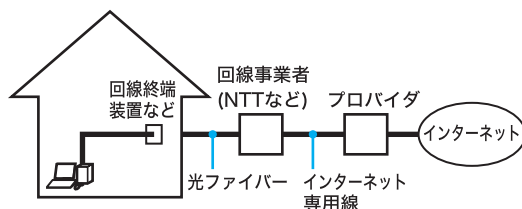
インターネット接続サービスの種類

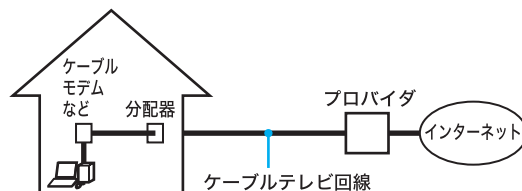
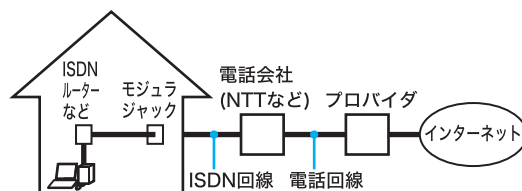
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータなら他に機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○/◎	◎
ISDN	○	△	△

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」（140ページ）をご覧ください。
また、契約の際に本機を電話回線に接続する必要がある場合は、「一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」の「一般の電話回線につなぐときは」（61ページ）をご覧ください。

！ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

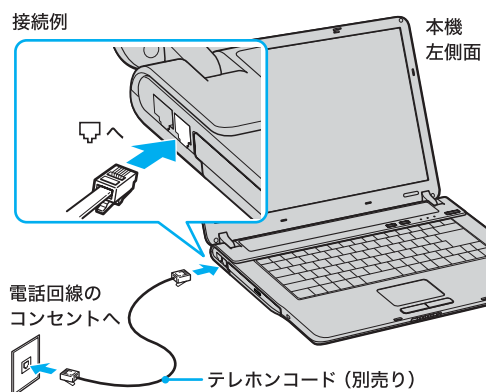
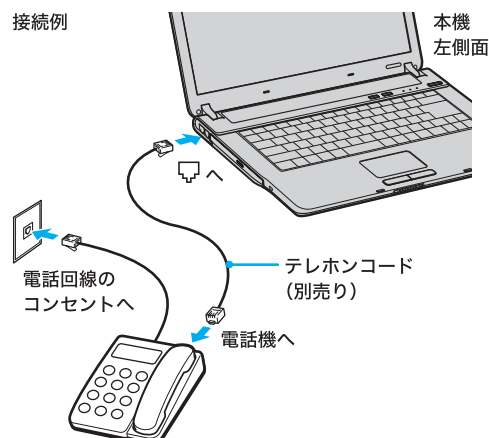
契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。
なお、本機のコネクタ部分については、「一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」（61ページ）でご確認いただけます。

一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ

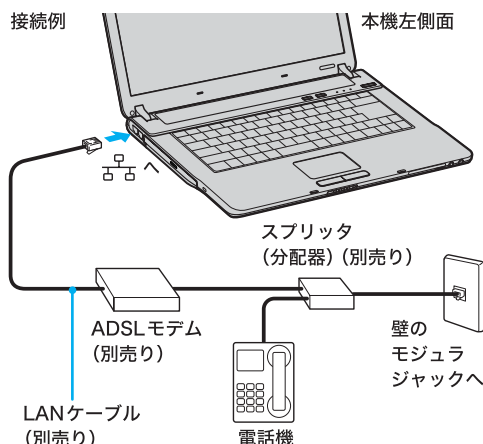
インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSL／FTTH（光）／CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスやISDN回線に接続する方法があります。

！ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

一般の電話回線につなぐときは

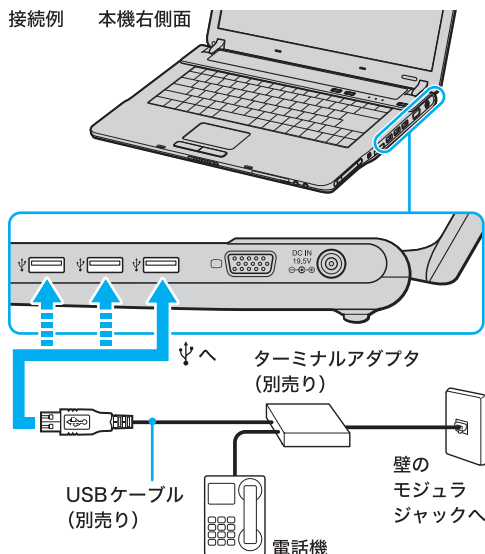
別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。
モジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

！ご注意
- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本機左側面の（LAN）コネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の（モジュラジャック）にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

ADSL／FTTH／CATVを利用するときは

ADSL／FTTH／CATVを利用するときは、本機左側面の（LAN）コネクタに接続します。

ヒント
本機に取り付けた付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10VやポートリプリケーターVGP-PRFS1の NETWORK（LAN）コネクタに接続することもできます。
ポートリプリケーターを取り付けている場合は、ポートリプリケーターの NETWORK（LAN）コネクタに接続してください。

！ご注意
（LAN）コネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機のΨ(USB)コネクタを使用します。

ヒント
本機に取り付けた付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vやポートリプリケーター VGP-PRFS1のΨUSBコネクタに接続することもできます。
ポートリプリケーターを取り付けている場合は、ポートリプリケーターのΨUSBコネクタに接続してください。

！ご注意
接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

！ご注意
ご利用の接続方法によっては、インターネットを利用する際に接続する手順が必要な場合があります。接続の方法については、ご利用のプロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。

1「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[インターネット]をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。

ヒント
- ホームページが表示されなかったり、「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」の画面が表示された場合は、インターネットに接続されていない可能性があります。接続方法について詳しくは、プロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。
- 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

2 リンクをたどる

ホームページには、クリックすると他のホームページに移動したり、インターネット上からデータを本機にコピー(ダウンロード)することができる文字や画像があります。このようなしくみを「リンク」と言います。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページにあるリンクをクリックして、製品別サポート情報のホームページに移動してみましょう。

1 マウスやタッチパッドなどを使って (ポインタ)を[製品別サポート情報]に合わせて、 に変わったらクリックする。

製品別サポート情報のホームページが表示されます。

ヒント

ホームページの中で、 (ポインタ)が に変わる文字や画像は、リンクが設定されているところです。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

1「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

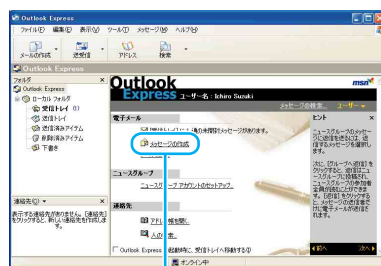
「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ヒント

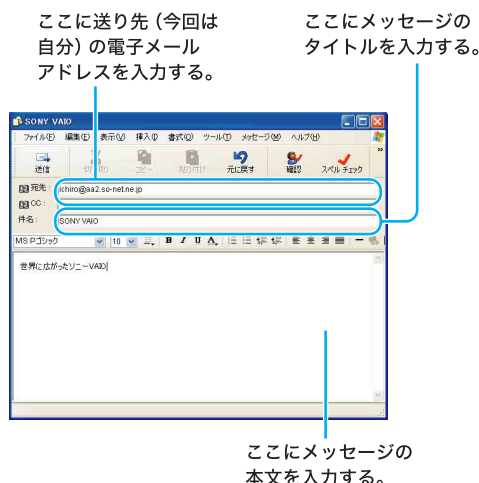
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」の画面が表示された場合は、インターネットに接続されていない可能性があります。また、「インターネット接続ウィザード」の画面が表示される場合は、インターネットへの接続や電子メールの設定が行われていない可能性があります。
接続方法や設定方法について詳しくは、プロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。

2 電子メールを送信する

ためしに自分の電子メールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 [メッセージの作成]をクリックする。

ここをクリックする。

2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入力してみます。
タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。
文字の入力のしかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

3 画面左上の[送信]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたら、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

!ご注意
オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」ソフトウェアのツールバーの[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

3 電子メールを受信する

手順 2 で送った自分の電子メールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

1 インターネットに接続した状態で、画面左上の[送受信]をクリックする。

手順 2 で送った電子メールが届きます。

!ご注意
オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 接続時間で料金が変化する接続サービスを利用している場合で、電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう。
  切断方法については、プロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。

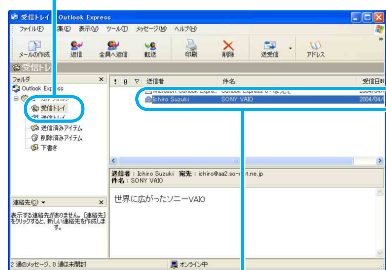
4 受け取った電子メールを見る

手順 3 で届いた電子メールを見てみます。

1 [受信トレイ]をクリックする。

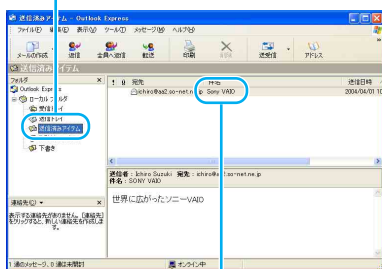
受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

5 送った電子メールを見る

手順 2 で送った電子メールを見てみます。

1 画面左上の[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&Aで調べる]→「インターネット/ネットワーク」の[電子メール]の順にクリックする。)

「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見るときは、「Outlook Express」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします（一部の機種には「Norton Internet Security」ソフトウェアはインストールされていません）。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報（電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど）がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレス宛てに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られるようになる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書（WordやExcelなど）を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内のほかの文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。

！ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton Internet Security」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記のシマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]→[Norton Internet Security]をクリックする。

② 表示される画面の、「LiveUpdate」をクリックする。

③ 指示に従って「LiveUpdate」を実行してください。

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ:http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

!ご注意

本センターをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入いただくか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

※ テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。

本機取扱説明書の「Windowsを準備する」(38ページ)の手順に従ってWindowsをセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

Windows XPサービスパック関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモした上で、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。
- **インターネットオークション詐欺**
  インターネットオークションでお金だけ支払わせて商品を送らない、商品を送らせておいてお金を支払わないという詐欺です。
  取引相手が信頼できるかどうかを過去の取引履歴などから判断することが重要です。取引履歴をどう読み取るかなどの詳しい判断方法についてはインターネットオークションのサービス提供者が提供する情報をご覧ください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力を止めるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号：（0466）30-3016
受付時間：平日　10:00～20:00
土・日・祝日　10:00～17:00

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

テレビ・ビデオ(テレビモデル)

ヒント

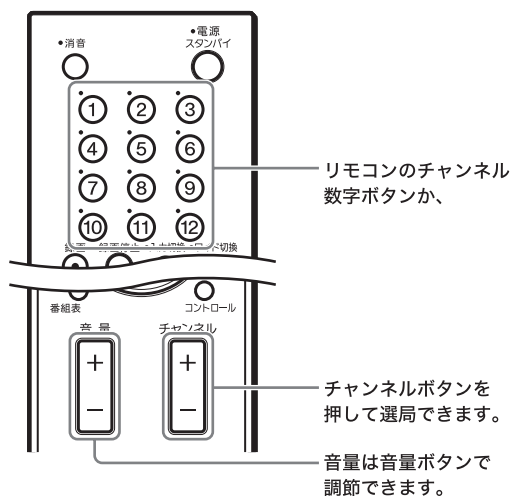
- テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。
- はじめてテレビ機能をご利用になる場合、まず「基本設定を行う」(46ページ)の各設定を行ってください。
- Do VAIOが搭載されていないモデルもあります。本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は、「本機に付属されているソフトウェアを確認する」(175ページ)をご覧ください。

テレビ番組を見る

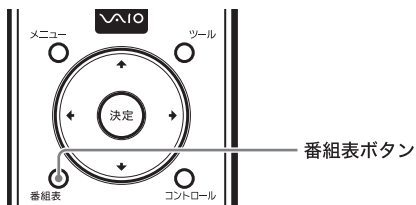
テレビ番組の視聴はDo VAIOで行います。起動も選局もリモコンで操作できます。

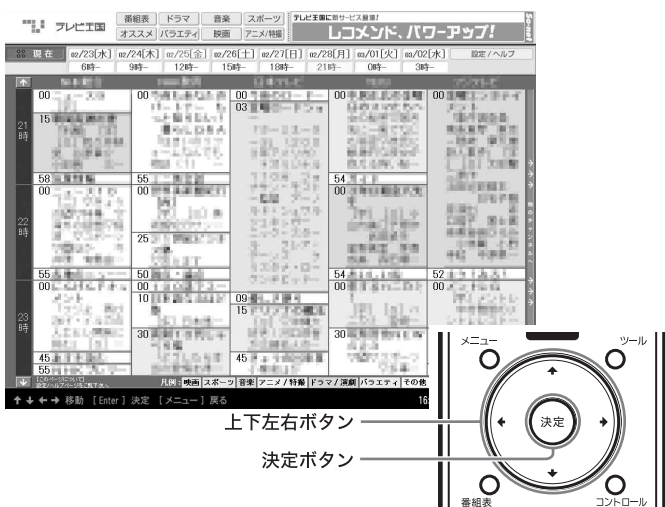
1 リモコンのテレビボタンを押す。

Do VAIOが起動し、テレビ画面が表示されます。

2 見たいチャンネルを選ぶ。

録画予約する

テレビ番組の録画予約はインターネット電子番組表から行います。わずか3ステップで予約が完了します。

1 リモコンの番組表ボタンを押す。

Do VAIOが起動し、インターネット電子番組表が表示されます。

2 録画したい番組をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

Do VAIOが起動し、テレビ画面が表示されます。

!ご注意

- この操作を行うときは、インターネットに接続している必要があります。
- この操作を行うためには、画面の解像度を1024 × 768 以上にしている必要があります。

3 [録画予約を追加]をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

録画予約が設定されます。

! ご注意
録画予約を設定しても、予約録画開始時に本機の電源が切れていると予約録画は行われません。予約録画開始前は本機の電源を切らず、スタンバイモードまたは休止状態にしてください。

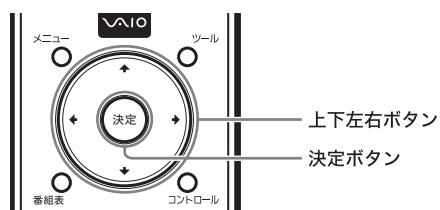
録画したテレビ番組を見る

録画したテレビ番組の再生もリモコンから操作できます。サムネイルを使って一覧表示されるので目的のテレビ番組を簡単に見つけられます。

1 Do VAIOのメニューを表示する。

Do VAIOが起動しているときはリモコンのテレビボタンを押してからメニューボタンを押して、起動していないときはVAIOボタンを押して表示してください。

2 [テレビ・ビデオ]をリモコンの上下ボタンで選んで右ボタンを押し、次に[すべてのビデオ]を上下ボタンで選んで右ボタンを押す。

3 見たいテレビ番組をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。

テレビ番組の再生が始まります。

ヒント
録画したテレビ番組をすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。
先頭から再生したい場合は、見たい番組を選んだあとに[ツール]ボタンを押して表示されるメニューから[先頭から再生]を選んでください。

ミュージック

* Do VAIOは、一部のモデルには搭載されません。

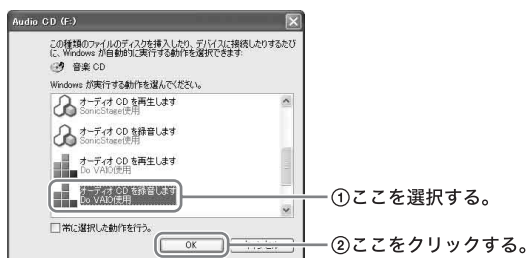
音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。自分だけの音楽ライブラリができあがります。

！ご注意
音楽CDの曲情報の取得にはCDDBサービスを利用しています。CDDBサービスの利用にはインターネット接続環境が必要です。インターネット接続については、「インターネットを始める」をご覧ください。

1 取り込みたい音楽CDを、本機のドライブに入れる。

音楽CDを取り込むソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

2 [オーディオCDを録音します Do VAIO使用]を選んで[OK]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
コンピュータの設定によっては、音楽CDを入れてもソフトウェアを選ぶ画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を取り込む]の順にクリックする。)

3 音楽の取り込みが自動的に始まります。

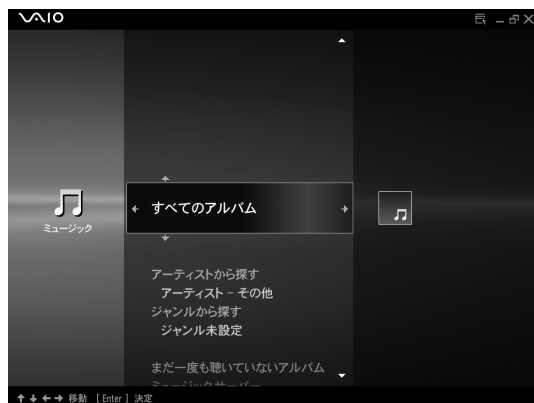
ヒント
- はじめてCDDBサービスを利用するときは、CDDBへの登録確認画面が表示されます。画面の指示に従って、CDDBへの登録を行ってください。
- 以前曲を取り込んだことがある音楽CDをドライブに入れている場合、録音を開始してよいかどうかを確認するメッセージ画面が表示されます。

音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。音楽CDを交換する手間はありません。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

2 [ミュージック]→[すべてのアルバム]の順にクリックする。

3 再生したいアルバムをクリックする。

音楽コンテンツの再生が始まります。

ヒント

音楽を聞くときにリモコンで操作する方法(テレビモデル)や、音楽CDを再生する方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を聞く]の順にクリックする。)

音楽CDを作る

音楽CDの作成はSonicStageで行います。曲を選んでお好みの音楽CDを作れます。

* SonicStageは、一部のモデルには搭載されません。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 データの書き込まれていないCD-R／CD-RWを、本機のドライブに入れる。

3 [音楽を転送する]にポインタを合わせ、[音楽CDの作成]をクリックする。

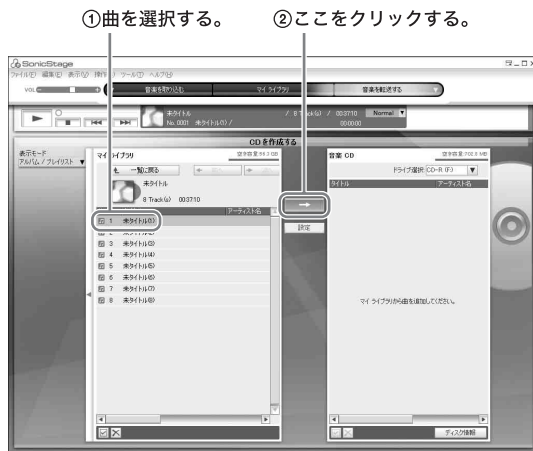
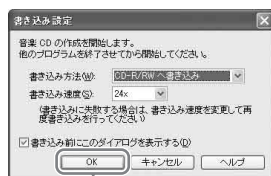
①ここにポインタを合わせる。

②ここをクリックする。

4　CDにしたい曲を選択し、 → をクリックする。

「音楽CD」に曲が登録されます。

5　CDにしたい曲をすべて登録したら、◎をクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6　[OK]をクリックする。

書き込みがはじまります。

ヒント

- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

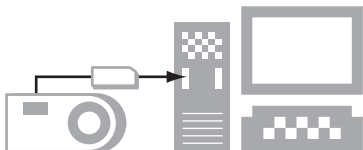
フォト

* Do VAIOは、一部のモデルには搭載されません。

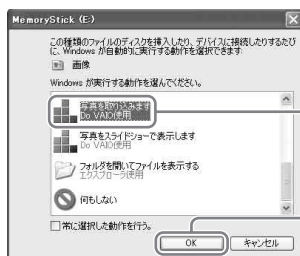
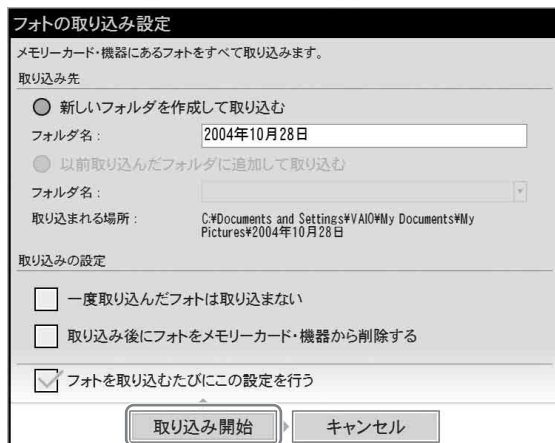
写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。スライドショーやフォトアルバム作成で楽しめます。

!ご注意
写真を取り込むには、Do VAIOで楽しむコンテンツを保存するためのフォルダとして「マイ ピクチャ」フォルダが登録されている必要があります。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント
- ご利用可能なメモリーカードの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- デジタルスチルカメラやメモリーカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。

2 [写真を取り込みます Do VAIO使用]をクリックし、[OK]をクリックする。

ヒント
コンピュータの設定によっては、メモリーカードを入れてもWindowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。)

3 [取り込み開始]をクリックする。

写真の取り込みが始まります。取り込みが終わると、取り込み結果を知らせるメッセージ画面が表示されます。

ヒント
写真の取り込み先や方法を設定することができます。
設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。）

4 [閉じる]をクリックする。

ヒント
「取り込みの完了」画面で[スライドショー]をクリックすると、取り込んだフォトのスライドショーが始まります。

写真を見る

取り込んだ写真をDo VAIOで見ることができます。簡単な操作でスライドショーを楽しめます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO］をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
写真を見るときにリモコンで操作する方法（テレビモデル）については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［Do VAIOで楽しむ］→［写真］→［写真を見る］の順にクリックする。）

2 ［フォト］→［フォルダ］の順にクリックする。

ヒント
手順2で［フォルダ］ではなく、［年］、［月］、［日］、［時間］、［曜日］を選ぶと、選んだ方法で並び替えられたデジタル写真がスライドショーで表示されるので、その中からデジタル写真を選ぶことができます。

3 見たいデジタル写真があるフォルダをクリックする。

スライドショーが開始されます。

フォトアルバムを作る

思い出の写真をフォトアルバムとしてまとめられます。作成はPictureGear Studioで行います。

* PictureGear Studioは、一部のモデルには搭載されません。

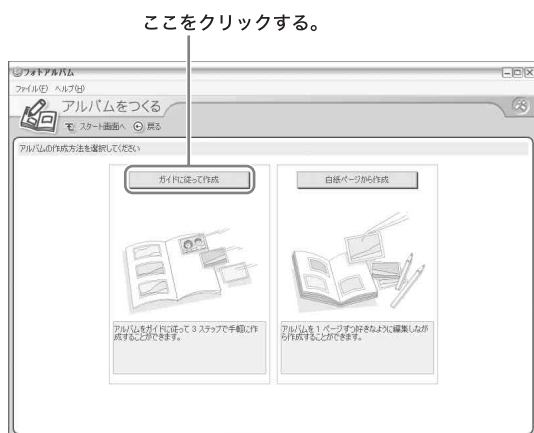
1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[PictureGear Studio]→[ツール]の順にポインタを合わせ、[フォトアルバム]をクリックする。

「フォトアルバム」画面が表示されます。

2 [アルバムを作る]をクリックする。

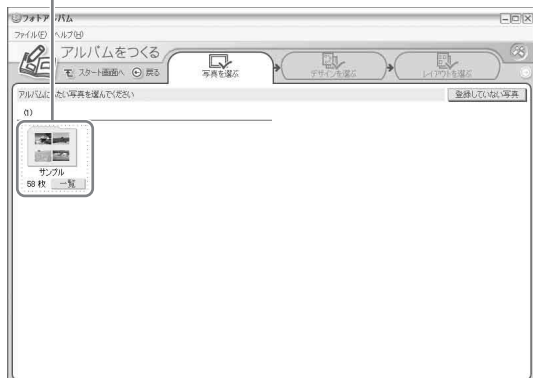
ここをクリックする。

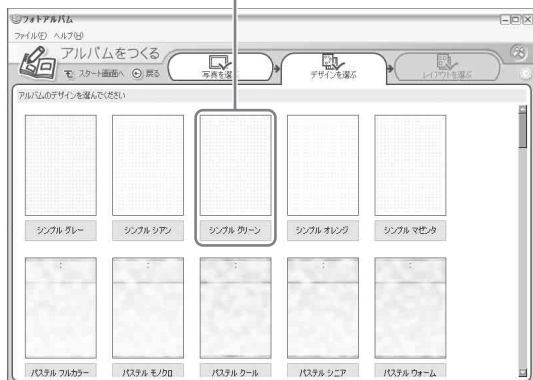
「アルバムをつくる」画面が表示されます。

3 [ガイドに従って作成]をクリックする。

ここをクリックする。

「写真を選ぶ」画面が表示されます。

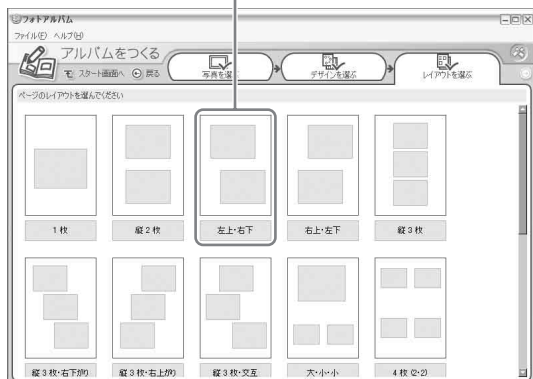
4 アルバムにしたいカテゴリをクリックする。

ここをクリックする。

「デザインを選ぶ」画面が表示されます。

5 アルバムのデザインを選んでクリックする。

ここをクリックする。

「レイアウトを選ぶ」画面が表示されます。

6 アルバムのデザインを選んでクリックする。

ここをクリックする。

フォトアルバムが完成します。

ヒント
編集機能を使用して、文字を入力したり、スタンプマーク／図形／カレンダーを貼り付けることができます。また、完成したフォトアルバムは、保存／印刷／出力することもできます。操作方法については「PictureGear Studio」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

DVD

* Do VAIOは、一部のモデルには搭載されません。

DVDを見る

DVDの再生もDo VAIOで行えます。Do VAIOを起動してDVDをセットすればすぐに再生が始まります。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。**

Do VAIOが起動します。

ヒント
DVDを見るときにリモコンで操作する方法(テレビモデル)については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[映像]→[Do VAIOでDVDを見る]の順にクリックする。)

2 **再生したいDVDを、本機のドライブに入れる。**

DVDの再生が始まります。

! ご注意
ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、[CD・DVD]→[DVD]の順にクリックし、DVDを入れたドライブ名をクリックしてください。

ヒント
DVDをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、マウスを動かすと表示される画面下部の操作メニューから[ツール]をクリックし、表示されたメニューから[先頭から再生]をクリックしてください。先頭から再生されます。

録画したテレビ番組をDVDにする(テレビモデル)

ヒント

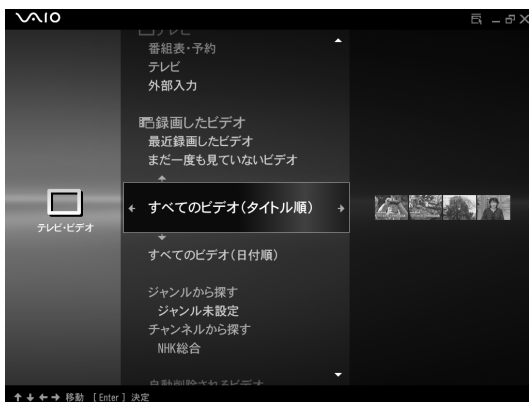
- テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。
- はじめてテレビ機能をご利用になる場合、まず「基本設定を行う」(46ページ)の各設定を行ってください。
- Do VAIOが搭載されていないモデルもあります。本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は、「本機に付属されているソフトウェアを確認する」(175ページ)をご覧ください。

バイオに録りためたテレビ番組をDVDとして残すことができます。直感的な操作で簡単にDVDを作れます。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
DVDへの記録方法をあらかじめ設定することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ/ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。)

2 [テレビ・ビデオ]→[すべてのビデオ]の順にクリックする。

録画したビデオの一覧が表示されます。

ヒント
[すべてのビデオ]以外にも、特定のジャンルに関連付けられたテレビ番組や、録画後に1度も見たことがないテレビ番組から選んでDVDに書き込むことができます。書き込みたいテレビ番組のあるメニューを選択してください。

3 DVDに書き込みたいテレビ番組を選択し、▸をクリックする。

ここをクリックする。

録画したテレビ番組の操作メニューが表示されます。

4 [DVDへ書き込む]をクリックする。

5 データの書き込まれていない記録用DVDを、本機のドライブに入れる。

「DVD へ書き込み」画面が表示されます。

! ご注意
ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。

6 [DVD作成開始]をクリックする。

ここをクリックする。

「DVD の作成」画面が表示されます。

ヒント
他のテレビ番組もいっしょにDVDに書き込むときは、[複数のビデオを選択]をクリックして「複数のビデオを DVD へ書き込み」画面を表示させ、DVDに書き込むテレビ番組を選択してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。）

7 ［作成開始］をクリックする。

選択したテレビ番組のDVDへの書き込みが始まります。
書き込みが終了すると、「書き込み完了」画面が表示されます。

ヒント
DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さとコンピュータの処理速度によって異なります。

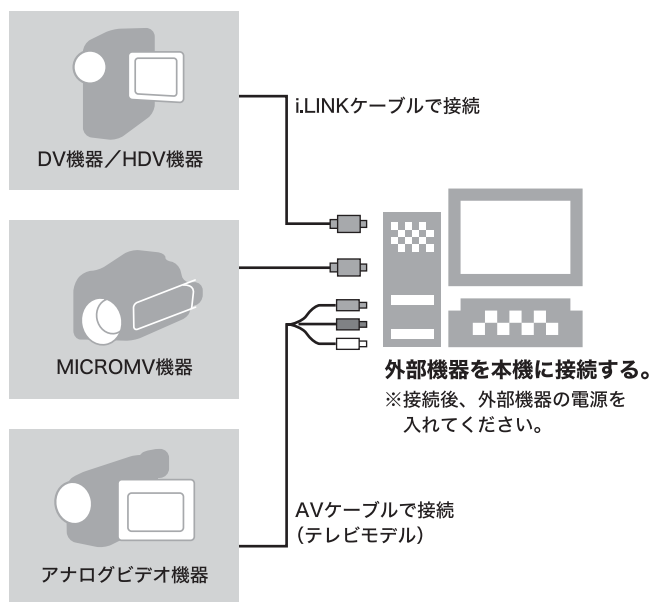
8 同じ内容のDVDを続けてもう1枚作成するときは［もう1枚作成］を選択し、DVDの作成を終了するときは［終了］を選択する。

［もう1枚作成］を選択したときは、「ディスクの挿入」画面が表示され、書き込みが完了したディスクが排出されますので、新しいディスクを入れてください。自動的に書き込みが開始されます。［終了］を選択したときは、書き込みが完了したディスクが排出されます。ディスクを取り出したら、DVDの作成は終了です。

撮影した素材から DVD を作る

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影した思い出の映像や、アナログビデオテープに録りためた映像は、Click to DVDでオリジナルDVDにすることができます。

* Click to DVDは、一部のモデルには搭載されません。

1 本機に外部機器を接続し、外部機器の電源を入れる。

ヒント

- DVD-Videoフォーマット、DVD+VR・DVD-VRフォーマットで記録されたDVDからもデータを読み込むことができます。
- 外部機器を接続したとき、「デジタル ビデオ デバイス」画面が表示された場合は、[撮ったビデオでDVD作成！]をクリックし、[OK]をクリックします。「Click to DVD」画面が表示されるので手順3に進んでください。

ご注意

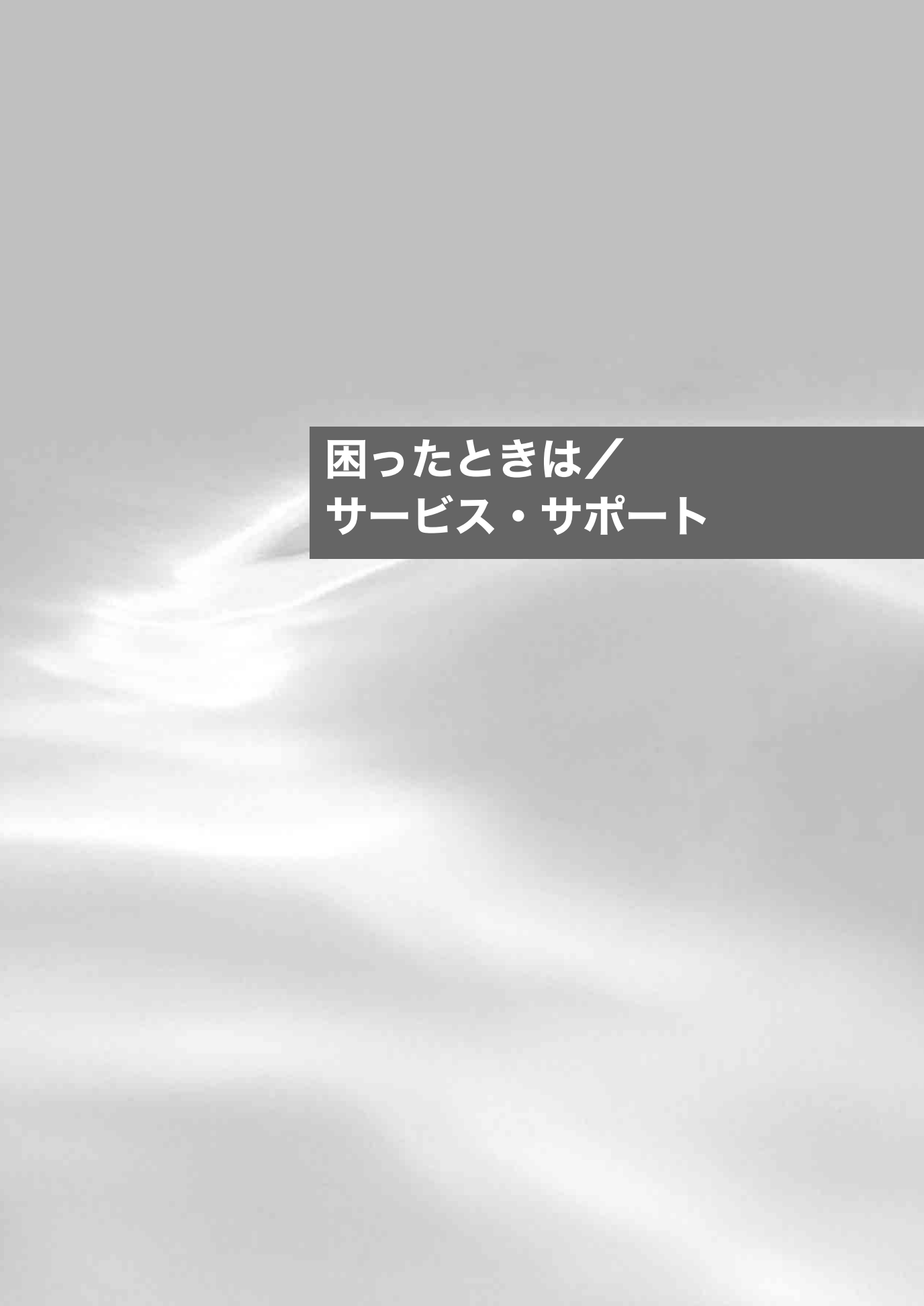
市販のDVDなど、コピー制御信号を含むDVDから読み込むことはできません。

2 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Click to DVD]の順にポインタを合わせ、[Click to DVD]をクリックする。

「Click to DVD」画面が表示されます。

3　画面左下の[ビデオモード]タブをクリックして、基本的な設定を行う。

ヒント

ここでは、「DVDおまかせ作成」のビデオモードでDVDに書き込むときの手順を説明します。その他の方法については、「Click to DVD」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4　データの書き込まれていない記録用DVDを本機のドライブに入れ、[作成開始]をクリックする。

DVDの作成が始まります。

ご注意

- ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- DVD-RAMへの書き込みは、VRモードでDVDおまかせ作成をするときのみ可能です。

困ったときは／
サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1　パソコンが起動しないときは『取扱説明書（本書）』をご覧ください。

パソコンが起動しないときは、本書の「よくあるトラブルと解決方法」の「電源／起動」（92ページ）をご覧ください。
また、起動はするが操作できない場合なども、「よくあるトラブルと解決方法」（92ページ）をご覧ください。

2　パソコンが動作するときは『バイオ電子マニュアル』をご覧ください。

パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックすると起動することができます。
「バイオ電子マニュアル」が起動したら、[Q&Aで調べる]をクリックして、トラブルの内容にあった項目をご覧ください。
また、「バイオ電子マニュアル」には本機の使いかたやご使用上のご注意などの情報も記載されています。詳しくは、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（115ページ）をご覧ください。

ヒント

ソフトウェアの使い方について

ソフトウェアの使いかたや疑問の解消には、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。また、Windowsに関する使いかたや疑問の解消については、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。「ヘルプとサポートセンター」については、「ヘルプとサポートセンターを見る」（117ページ）をご覧ください。

3　最新の情報は『VAIOカスタマーリンクホームページ』でご確認ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンクホームページのご利用方法については、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（118ページ）をご覧ください。

4　いずれの方法でも解決しない場合はお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク *1
(0466)30-3000
（平日：10時～21時、土、日、祝日：10時～17時）

バイオについてのお問い合わせ
「VAIOカスタマーリンク」にお問い合わせください。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる」（128ページ）をご覧ください。

本機の付属ソフトウェアについてのお問い合わせ
なお、本機の付属ソフトウェアにつきましては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（139ページ）に掲載されている、それぞれのお問い合わせ先にお問い合わせください。

初心者ダイヤル *1
(0466)30-4109（良いトーク）
（平日：10時～21時、土、日、祝日：10時～17時）

初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任のオペレータがやさしい用語で丁寧にご説明する窓口です。バイオのカスタマー登録がお済みのお客様は、直接オペレータにつながります。
（ご登録いただいた電話番号の発信者番号通知を有効に設定されている場合に限ります。）

*1　お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

ヒント

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールを使って、ハードウェアをチェックすることもできます。起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[ハードウェア診断ツール]の順にポインタを合わせ、[ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

よくあるトラブルと解決方法

ここでは、本機のよくあるトラブルと解決方法を説明します。

また、ここに紹介された以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。([Q&Aで調べる]をクリックする。)

!ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切るには」(37ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。

他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

電源/起動

Q 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。(32ページ)

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。(36ページ)

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露(166ページ)が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または電源ボタンが効かない。(▭がすばやく点滅している)

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(32ページ)

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または電源ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れても、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが画面に何も表示されない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[文字入力/キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックする。)
- S2ボタンを押してください。(お買い上げ時はS2ボタンの機能に「外部出力」が割り当てられています。)詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[Sボタン]→[Sボタンを使う]の順にクリックする。)

A メモリモジュールを増設している場合は、起動できないことがあります。

サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。
VGP-MM512L以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露(166ページ)が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上の[電源を切る]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows XPは、周辺機器やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A **USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。**

PCカードの取り出しかたについて詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[PCカード]→[PCカードを取り付ける／取り出す]の順にクリックする。)

A **「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。**

① Enterキーを押す。

② それでも電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認する。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A **バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。**

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[バッテリ／省電力]→[バッテリの準備]→[バッテリを充電する]の順にクリックする。)

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A **バッテリが正しく装着されていない可能性があります。**

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(32ページ)

A **上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。**

本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A **「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。**

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating system not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（161ページ）

A パワーオン・パスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、1（Num Lock）ランプやA（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

1) 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2005年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2005＋Enterキーの順で入力します。

2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。

⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

⑥ [Exit（Save Changes）]が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

⑦ 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q ハードディスクから起動できない。

A フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。

A 起動時の音量や起動デバイスの設定について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[起動時の設定]→[起動時の音量／起動デバイスを変更する]の順にクリックする。）

パスワード

Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動やハードディスク内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスク内のデータを使用できなくなり、ハードディスクのデータをリカバリすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD/DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。

確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」からパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、Windowsをセーフモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンし、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更することが可能です。

画面/ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A LCD/Videoスタンバイになっている場合があります。

タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[文字入力／キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックする。）
- S2ボタンを押してください。（お買い上げ時はS2ボタンの機能に「外部出力」が割り当てられています。）詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[Sボタン]→[Sボタンを使う]の順にクリックする。）

A 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スタンバイ[*1]）。

キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタン[*2]を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中に約30分操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります（休止状態[*1]）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定[*3]することもできます。

*1 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[バッテリ／省電力]→[バッテリを使いこなす（省電力）]→[省電力動作モードの設定をする]の順にクリックする。）
*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。
*3 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[バッテリ／省電力]→[バッテリを使いこなす（省電力）]→[消費電力を節約する]の順にクリックする。）

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② 「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再度⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q　画面が暗い。

A Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[文字入力／キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックする。）

Q　画面に輝点・滅点（黒点）がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。）また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Q　外部ディスプレイに何も表示されない。

A 表示するディスプレイの設定を確認してください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→[設定]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックする。）

文字入力／キーボード

Q　文字の入力方法がわからない。

A 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[できるWindows for VAIO]をクリックする。）

Q　キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」 あ 般 CAPS KANA に、英字入力モードのときは「A」 A 般 CAPS KANA になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A （Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。

（Caps Lock）ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（30ページ）

A （Num Lock）ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（30ページ）

A キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

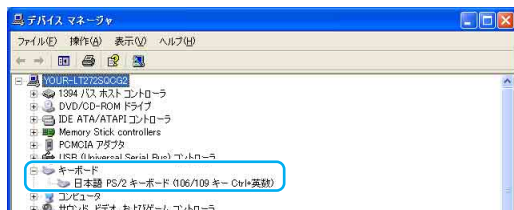
異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。
次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。

③ [システム]アイコンをクリックする。

④ [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。

⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。

ヒント
キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。

1) キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。
「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
2) [いいえ、今回は接続しません]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
3) [一覧または特定の場所からインストールする]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
4) [検索しないで、インストールするドライバを選択する]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
5) [互換性のあるハードウェアを表示]をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で[(標準キーボード)]が選択されているか確認したあと、「モデル」から[日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)]を選択し、[次へ]をクリックする。
6) ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、[はい]をクリックする。
7) 「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
8) 「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして再起動を行う。

タッチパッド

Q タッチパッドの使いかたがわからない。

A タッチパッドの使いかたについて詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[タッチパッドを使う]の順にクリックする。)

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[設定]→[タッチパッドを有効／無効にする]の順にクリックする。)

A タッチパッドの設定を確認してください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。

③ [マウス]アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

④ [タッピング]タブをクリックする。

⑤ 「コーナーでタップしない」がチェックされていないことを確認する。
チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

Q 指がタッチパッドの端まできてしまいポインタを動かせない。

A 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻してください。

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[設定]→[タッチパッドを有効／無効にする]の順にクリックする。)

それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[設定]→[タッピング機能を無効にする]の順にクリックする。)

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A スマートアクションの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。

③ [マウス]アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

④ [機能]タブをクリックする。

⑤ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。

⑥ [OK]をクリックする。

Q Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A Webアシストの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。

③ [マウス]アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

④ [機能]タブをクリックする。

⑤ [Webアシスト機能を使用する]のチェックをはずす。

⑥ [OK]をクリックする。
設定が有効になります。

Q タッチパッドのスクロール機能が使えない。

A ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。

その場合は、タッチパッドの左右ボタンを同時に押して、オートスクロール機能を可能にしてからスクロールしてください。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切る、または再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q ハードディスクの空き容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ]をクリックする。

② 空き容量を知りたいハードディスクのアイコンを右クリックする。

③ [プロパティ]をクリックする。

ハードディスクのプロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

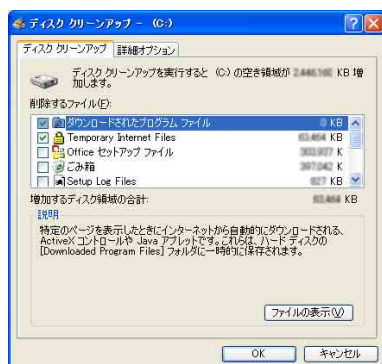
Q ハードディスクの空き容量が少なくなった。

A ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。
　次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]の順にポインタをあわせ、[ディスク クリーンアップ]をクリックする。
「ドライブの選択」画面が表示されます。

② [(C:)]または[(D:)]を選択して、[OK]をクリックする。

③ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。

④ [OK]をクリックする。
「これらの操作を実行しますか？」というメッセージが表示されます。

⑤ [はい]をクリックする。
ディスクのクリーンアップが実行されます。

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。(157ページ)

Q ハードディスクから起動できない。

A フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q ハードディスクから異音がする。

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップ（103ページ）を行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタをあわせ、［ディスク デフラグ］をクリックする。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② ［最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

テレビ再生／録画

ヒント

テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。

Q テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。

A アンテナ接続ケーブルが本機に取り付けた付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vの ANTENNA（VHF/UHF）コネクタと正しく接続されているか確認してください。（46ページ）

A 付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが本機に正しく接続されているか確認してください。

A ACアダプタが接続されているか確認してください。バッテリ使用時は、テレビを視聴・録画できません。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。

一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のプラグを接続して受信できるかどうかを確認してください。
アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は別売りのアンテナブースターをご使用ください。（48ページ）

A Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。(Do VAIOプリインストールモデル)

次の手順に従って設定を変更してください。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

一部のチャンネルが映らない場合

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。
「テレビ・ビデオ(チャンネル設定)」画面が表示されます。

③ チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
選択したチャンネルが一覧から削除されます。

⑤ [追加]をクリックする。
「チャンネルの追加」画面が表示されます。

⑥ 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。
[OK]をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3～6を繰り返し、設定してください。

ヒント
チャンネル名は、「指定した地域のチャンネル」または「ほかの地域のチャンネル」のリストから選択してください。ご希望のチャンネルがリストに含まれていない場合は、「指定した地域のチャンネル」のリストにチャンネル名を入力することもできます。

すべてのチャンネルが映らない場合

① ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタをあわせ、［Do VAIO 設定］をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。
「テレビ・ビデオ（チャンネル設定）」画面が表示されます。

③ ［チャンネル一覧の作り直し］をクリックする。

ここをクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、［はい］をクリックする。
「Do VAIO の準備」画面が表示されます。

⑤ 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
［選択した地域の既定のチャンネル一覧］をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

⑥「次へ」をクリックする。
チャンネルの自動検出が行われ、チャンネル一覧に表示されます。

ヒント
［検出に失敗したチャンネルを削除する］を □ にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は ☑ のままにしておくことをおすすめします。

⑦［検出に失敗したチャンネルを削除する］が ☑ になっていることを確認して［完了］をクリックする。

A 著作権保護のための信号が含まれている映像は本機では表示できません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

Q Do VAIOで「テレビ・ビデオ」の項目が表示されない。

A Do VAIOでテレビの設定が正しく完了していない場合には「テレビ・ビデオ」の項目は表示されません。

「テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。」(104ページ)の項目を確認してください。

Q Do VAIOで音声が出力されない。(Do VAIOプリインストールモデル)

A Do VAIO画面の をクリックし、元の音量に戻してください。

A 音量を確認してください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]アイコンをクリックする。

③ 画面左側の「関連項目」から[詳細ボリューム コントロール]をクリックする。
「マスタ音量」画面が表示されます。

④ 「マスタ音量」、「WAVE」のミュートがチェックされている場合はチェックをはずす。

Q 録画した映像がコマ落ちしている、または正常に再生できない。

A 録画中の負荷が高くなりすぎるとコマ落ちすることがあります。

次のことをすると負荷を下げることができます。

- 高画質モードでの追いかけ再生(スリップ再生)や、録画中に他のビデオの再生をしない。
- 録画中は、他のソフトウェアを起動したり使用しない。

A 録画保存先のフォルダ、または録画保存先を含むドライブを圧縮する設定にしていると、録画が正常に行われなかったり、録画した映像がコマ落ちしたりする可能性があります。

次の手順でフォルダまたはドライブの設定を変更してください。

フォルダの設定を変更するには

① [スタート]ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカルディスク(D:)]をダブルクリックする。

③ 「VAIO Entertainment」フォルダを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
「VAIO Entertainmentのプロパティ」画面が表示されます。

④ [全般]タブをクリックする。

⑤ [詳細設定]をクリックする。

⑥ 「圧縮属性または暗号化属性」の「内容を圧縮してディスク領域を節約する」のチェックをはずす。

⑦ [OK]をクリックする。

ドライブの設定を変更するには

① [スタート]ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカルディスク(D:)]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

③ 「ドライブを圧縮してディスク領域を空ける」のチェックをはずす。

④ [OK]をクリックする。

ヒント

Do VAIOで保存先のフォルダやドライブをご自分で変更した場合は、変更先のフォルダやドライブに対して上記の操作を行ってください。(Do VAIOプリインストールモデル)

A 「Norton Internet Security」ソフトウェアをお使いの場合は、ビデオの録画が正常に行われないことがあります。

正常に録画を行うためには、「Norton Internet Security」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタをあわせ、[Norton Internet Security]をクリックする。
「Norton Internet Security」ソフトウェアが起動します。

② 「Norton Internet Security」画面上部の(オプション)をクリックする。

③ [Norton AntiVirus]を選択する。

④ 「Norton AntiVirus オプション」画面左側の「システム」の[Auto-Protect]→[除外]の順にクリックする。
「Norton AntiVirus オプション」画面右側に「除外リスト」が表示されます。

⑤ 「除外リスト」の「除外する項目」右側の[新規]をクリックする。
除外する項目を追加する画面が表示されます。

⑥ 「サブフォルダも含める」がになっているのを確認し、をクリックする。
「フォルダの参照」画面が表示されます。

⑦ [ローカルディスク(D:)]→[VAIO Entertainment]の順にダブルクリックする。

!ご注意

Do VAIOで録画したビデオの保存先のドライブを変更した場合は、指定したドライブを選択してください。(Do VAIOプリインストールモデル)

⑧ [OK]をクリックする。
手順4で表示された画面に「VAIO Entertainment」と表示されます。

⑨ [OK]をクリックする。

⑩ 「除外する項目」に「VAIO Entertainment」が追加されていることを確認し、[OK]をクリックする。

!ご注意
この設定を行うと、Do VAIOで取り込んだフォルダはウイルスチェックされなくなりますので、これらのフォルダのウイルスチェックを定期的に手動で行ってください。(Do VAIOプリインストールモデル)
この設定は、お客様の責任において行ってください。

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A Do VAIOでテレビやDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高(32ビット)に設定してください。(Do VAIOプリインストールモデル)

その他の設定では、画像が正しく表示されない場合があります。

ディスプレイの設定について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[画面/ディスプレイ]→[設定]→[ディスプレイの解像度/色数を変更する]の順にクリックする。)

Q 番組を予約録画できない。

A 予約録画時間前に、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vを接続し、ACアダプタを接続してください。

A バッテリ使用時は予約録画できません。

必ずACアダプタをつないでください。

A 本機の電源を切った状態では予約録画できません。

必ずACアダプタをつないだ状態でスタンバイ、または休止状態を選択して、本機を待機させてください。

Q 最初の部分が録画されていない。

A 録画が始まるまでに数秒かかることがあります。

実際に録画するときは、数秒早く[録画]をクリックしてください。

Q エラーメッセージが表示され、Windowsの操作などができない。

A 録画中や予約録画開始数分前、またはDVD作成中(DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)モデル、DVDスーパーマルチドライブ(DVD+R 2層記録対応)モデル)は、Windowsの終了、スタンバイ、休止、再起動をすることはできません。

また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。

A 「時刻修正機能」が働いている間は、スタンバイ、休止状態への移行や、Windowsを終了することができません。

「時刻修正機能」は、NHK教育テレビの正午の時報を使用して、本機の時計を修正するアプリケーションです。午前11時55分から、午後12時05分の間に起動します。

Q　録画／再生時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され、録画／再生できない。

A　著作権保護のための信号が含まれている映像は本機では録画／再生できません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

Q　縞状のノイズが多い。

A　アンテナ接続ケーブルは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

A　分配していないか確認してください。

分配している場合は、別売りのアンテナブースターをお使いください。

Q　視聴時と再生時の音量が違う。

A　ボリュームコントロールの設定を変更すると、テレビの視聴時や再生時の音量が変わる場合があります。

お買い上げ時の音量設定に戻してください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[Q&Aで調べる]→「機能／設定」の[音声]→[Do VAIOでテレビの録画や再生をするために、スピーカーの音量設定を変更したい。]の順にクリックする。）

外部機器からの録画

ヒント

テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。

Q　アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない。

A　Do VAIOで録画できます。（Do VAIOプリインストールモデル）

Do VAIOでの録画方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[テレビを見る／録画するまでの流れ]の順にクリックする。）

また、あわせてDo VAIOのヘルプもご覧ください。

Q DV機器の映像の録画方法がわからない。

A 「DVgate Plus」ソフトウェアで録画できます。(「DVgate Plus」プリインストールモデル)

「DVgate Plus」ソフトウェアでの録画方法について詳しくは、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。(「Click to DVD」プリインストールモデル)

「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法について詳しくは、「Click to DVD」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q 外部機器からの映像の録画を実行しても何も録画されない。

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。

ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。

本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができない場合があります。

Q 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない。(Do VAIOプリインストールモデル)

A Do VAIOでチャンネル設定を行っていない場合は、チャンネル設定を行ってください。(49ページ)

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう。(「DVgate Plus」プリインストールモデル)

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。

「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプにある「必要なコンピュータの設定(必ずお読みください)」をご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする。(「DVgate Plus」プリインストールモデル)

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。

「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプにある「必要なコンピュータの設定(必ずお読みください)」をご覧ください。

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源／起動」(94ページ)をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源／起動」(94ページ)をご覧ください。

Q NTLDR is missing. Press any key to restart.

A 「電源／起動」(94ページ)をご覧ください。

Q Operating system not found

A 「電源／起動」(94ページ)をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A 「電源／起動」(95ページ)をご覧ください。

Q System Disable

A 「電源／起動」(95ページ)をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A 「電源／起動」(94ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録について

バイオをご購入いただきましたお客様へは、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしております。
登録の手続きについて詳しくは、「カスタマー登録する」（44ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご提供します。

- 電子メールアドレスを登録されたお客様のみを対象として、電子メールによるバイオに関するさまざまな情報をご提供します。
- ご所有の機種に対応したサポート情報をご提供する「マイサポーター」（122ページ）をご利用いただけます。
  - お客様からの個別のご質問をインターネット経由で受け付け、VAIOカスタマーリンクから返信する「テクニカルWebサポート」（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/）をご利用いただけます。
- VAIOカスタマーリンクホームページにて各種サポート（VAIO e-Support）をご利用できます。
  - VAIOカスタマイズサービス（133ページ）などをホームページ上からお申込みできます。
- バイオの使いかたのご質問や技術的お問い合わせを、VAIOカスタマーリンクがお電話で承ります。

VAIOカスタマー登録を行っていただいた場合に発行されるもの

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証（ログイン＝ご本人様であることの確認）に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDとMy Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。
このMy Sony IDは、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ先

VAIOカスタマー登録や登録内容の変更、送付物についてのお問い合わせは、カスタマー専用デスクにお問い合わせください。
お問い合わせ先については、「VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ」（136ページ）をご覧ください。

「VAIO Update」を利用するには

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。

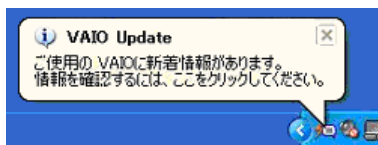
ヒント
VAIO Updateは、無料でご利用いただけます(インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください)。

!ご注意

- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(58ページ)をご覧ください。
- VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。設定は「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された時に当バルーンをクリックする、もしくは[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO Update 2]→[VAIO Updateの設定]をクリックすることにより設定できます。

!ご注意
ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号、OSおよびインストールソフトウェアなどの個人情報をサーバーに送信しません。お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためにあり、ここから個人情報への結びつけは行いません。

❑ VAIO Updateバルーン表示画面

❑ VAIO Update画面(上記のバルーン表示をクリックすると表示されます)

①重要なお知らせ

②アップデートプログラム

①重要なお知らせ
セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

②アップデートプログラム
お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック(複数選択可)を入れ、[アップデート開始]をクリックすることで、アップデートを開始します。
自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。
手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

* アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ヒント

VAIO Updateで表示される内容は、お客様がご使用のバイオに必要な情報が表示されています。
アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に ! のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」(90ページ)や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。

[スタート]→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

❑ 画面の見かた

①

- トップへ戻る
  「バイオ電子マニュアル」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。
- 戻る　進む
  前に見ていた画面に戻ったり、進んだりできます。
- プリント
  「バイオ電子マニュアル」の情報を印刷することができます。
- －A＋ 文字サイズ
  「バイオ電子マニュアル」に表示する文字の大きさを変えることができます。
- 用語集
  コンピュータ用語の説明を見ることができます。

②

- 検索
  質問文を入力して情報を探すことができます。
- □ 検索オプション
  検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などから質問文を選んで情報を探すことができます。
- □ 検索のしかた
  検索のしかたを見ることができます。

③

トップ＞バイオの使いかた＞各部の説明

「バイオ電子マニュアル」内での現在位置を知ることができます。また青色の文字をクリックすると該当画面に戻ることもできます。

④

ご覧になりたい内容に応じて下記のボタンをクリックしてください。

- バイオの使いかた
  基本的な使いかたから便利な活用法までを説明しています。
- できるWindows for VAIO
  コンピュータの基礎を学習できます。
- ソフト紹介／問い合わせ先
  付属のソフトウェアをご紹介します。お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。
- Q&Aで調べる
  よくあるトラブルと解決方法を説明しています。トラブルが発生したときは、まずこちらをご覧ください。
- 他の情報で調べる
  Q&Aで解決しない場合はこちらをご覧ください。
- サービスとサポート
  有償サービスなど、安心してお使いいただくための情報をご案内します。

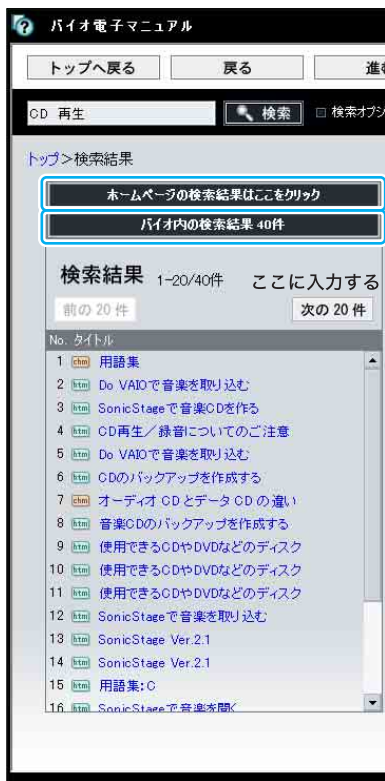
「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいこと（バイオにインストールされているOS（Windows）やソフトウェア、ハードウェアなどについて）を調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にあるバイオ電子マニュアルやソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

1 「バイオ電子マニュアル」画面左上部にある入力欄に、検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

バイオ電子マニュアル内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
例：「**CD　再生**」

2 [検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い(類似度が高い)ものから順に表示されます。

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンクホームページの文書は別画面で表示されます。

ヘルプとサポートセンターを見る

❏ ヘルプとサポートセンターを見るには

1 [スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]を選ぶ。

ヘルプとサポートセンターの初期画面が表示されます。

ヘルプとサポートセンターの初期画面と、各エリアの機能は以下のようになっています。
この初期画面および各機能は、バイオ用にカスタマイズされたものです。
店頭でパッケージ販売されるWindows XP Home Edition/Professionalに標準で搭載されているヘルプとサポートセンターとは異なります。下記はバイオ用にカスタマイズされたWindows XP Home Editionの画面例です。

①ナビゲーションバー

参照ページの戻り、お気に入りへの追加、履歴の参照、バイオ電子マニュアルの起動などこちらから操作できます。

②ヘルプ検索

Windowsに関するヘルプの参照や検索が行えます。

- 分類分けによる参照
- キーワード検索

③バイオに関する情報

バイオに関する情報は、こちらからすべて参照できます。

- バイオ電子マニュアルの起動
- バイオ関連ホームページへのリンク
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせについて

④サポートツール

困ったときに有効なさまざまなサポートツールをこちらから実行できます。

- よく使われるツール（コントロール パネルやマイコンピュータなど）
- システムの復元ツール
- Windows Update
- ディスクツール
- リモートアシスタンスなど…

⑤最新サポート情報

ネットワークに接続すると、こちらからバイオに関するおすすめ情報などの最新情報を見ることができます。いつもチェックするようにしましょう。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは

ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

!ご注意

本書内の「サービス・サポート」の内容は、2005年6月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンクホームページでご確認ください。

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（58ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、次の2とおりの方法があります。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する。

2 ［お気に入り］をクリックして［3.VAIOサポートページ］にポインタをあわせ、［1.サポート（サービス・サポート情報）］をクリックする。

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

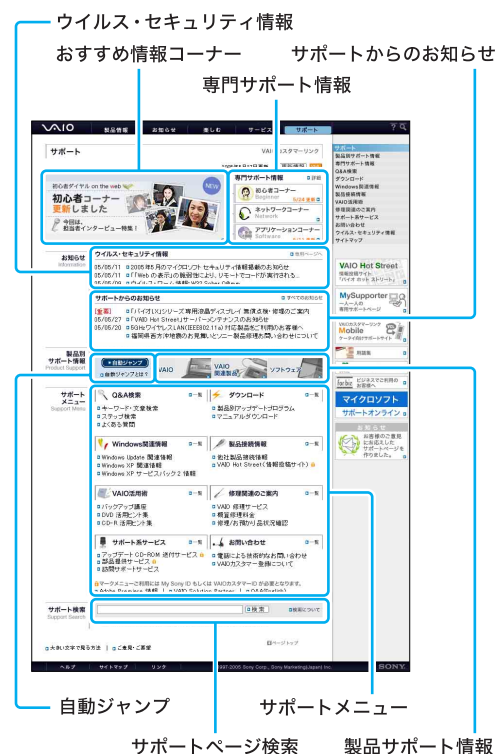
「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

1 デスクトップ画面の[VAIOナビ]アイコンをダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の[VAIO サポートページ]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

ヒント

「VAIOナビ」画面の主なサポートメニューにあるボタンをクリックすると各メニューを直接表示することができます。

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

製品サポート情報

製品別にお知らせやダウンロードなどのサポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」が用意されています。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報が掲載されています。お使いの製品のページをウェブブラウザの「お気に入り」などに追加することをおすすめします。

ウイルス・セキュリティ情報

バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします（専用ページをクリックすることでウイルス・セキュリティ情報をご覧になれます）。

サポートからのお知らせ

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています（すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます）。

専門サポート情報

VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携して、サポート情報を提供する専門サポートコーナーです。「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」の3つの専門分野に特化した情報をご提供しています。

サポートメニュー

メニューごとにインデックスページが用意されています。各メニューにある項目をクリックする事により、ご覧になりたい項目のページへダイレクトに移動ができます（一覧をクリックすることで、すべての項目をご覧になれます）。

サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンクホームページのサイト内検索ができます（お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます）。

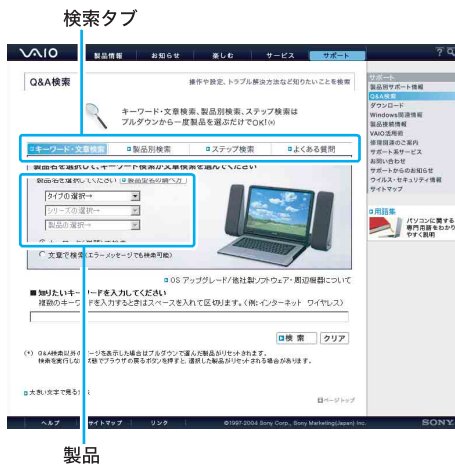
おすすめ情報コーナー

VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

自動ジャンプ

「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

Q&A検索

Q&A検索では5つの検索機能(キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索・よくある質問)を使い、VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問(操作や設定、トラブル解決方法など知りたいこと)に対する回答を検索することができます。

検索タブと製品を選んで検索します。
キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索は製品名を引き継いで検索結果を表示させますので、再度製品名を選択する必要はありません。

製品別サポート情報

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

専門サポート情報

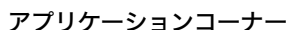
VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、「初心者コーナー」、「ネットワークコーナー」、「アプリケーションコーナー」という3つの専門分野に特化したサポート情報をわかりやすくご紹介しています。

初心者コーナー

初心者のかたから実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者のかたが「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

ネットワークコーナー

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「ワイヤレスLANを接続するにはどうしたらいいの？」、「ワイヤレスがつながらない！」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

❑ 調べかた

頭文字から探す

①調べたい用語の頭文字をクリックする。

②右上のリストから用語をクリックする。

キーワードで探す

調べたい用語を入力して検索します。

VAIOリモートサービス（2005年秋サービス提供予定）

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認させていただきながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をさせていただくサービスです。

これまでに「電話の説明だけでは分かりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われたかたは、ぜひ一度お試しください。

！ご注意

- VAIOリモートサービスをご利用いただくには、マイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（124ページ）からお申し込みいただく必要があります。
- VAIOリモートサービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

VAIO簡単設定サービス（2005年秋サービス提供予定）

VAIOカスタマーリンクホームページで提供している設定ボタンをクリックするだけで自動的にバイオの設定を行うサービスです。
例えば、「スピーカーの音量を調節する」や「Safeモードで起動する」などの複雑な設定を自動的に行います。

！ご注意

- VAIO簡単設定サービスは、Windows XPを搭載のバイオ専用のサービスです。
- VAIO簡単設定サービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- VAIO簡単設定サービスをご利用の際は、他のアプリケーションをすべて終了させてからご利用ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。
「ウイルス・セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」の「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理の進み具合もご確認いただけます。詳しい操作方法については、「「修理/お預かり品状況確認」について」（132ページ）をご覧ください。

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

（対応端末：i-mode・EZweb・Vodafone live!）
また、バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

マイサポーターで確認する

「マイサポーター」は、バイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。

マイサポーター

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

* マイサポーターの内容は予告なしに変更する場合があります。

ヒント

- マイサポーターをご利用いただくには、お客様がVAIOカスタマー登録を行われていることが必要です（My Sony IDとMy Sony IDパスワードを入力してマイサポーターへログインし、ご利用いただくしくみです）。
- VAIOカスタマー登録については http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/ をご覧ください。
- マイサポーターにログインできない場合は「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」をご覧ください。

マイサポーターに関する
最近多いお問い合わせ

❑ マイサポーターでできること

機種の選択

複数の機種をお持ちの場合は、表示させる機種を選択し、対象機種のサービス・サポートをご確認いただけます。

情報コーナーでチェック

情報コーナーでは、お客様ひとりひとりのご所有機種に対応したおすすめのサービス・サポートなどをご案内します。

情報コーナーには「新着情報」、「製品別情報」、「サービス／修理」があります。

- **新着情報**
  更新情報や新着のソリューション（問題解決のQ＆A）をお知らせします。
- **製品別情報**
  ご所有のバイオが対象となる「お知らせ」や「アップデートプログラム」をご案内します。
- **サービス／修理**
  バイオの付属品、リカバリディスク、各種サポートディスクを有償で送付するサービス、または修理のご依頼方法などをご案内します。

ヒント

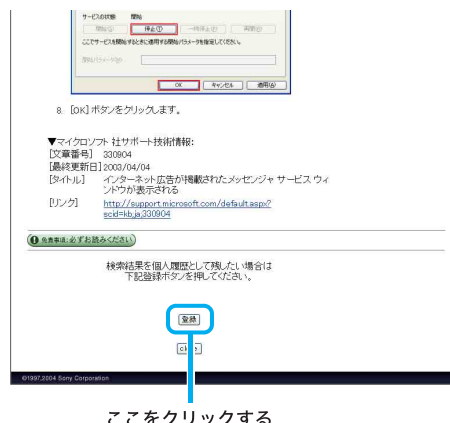
- お買い上げの機種またはお客様によっては表示されるメニューが異なります。
- お知らせの内容は登録機種に対応して表示されます。

ご利用履歴の確認

お客様のVAIOカスタマーリンクのご利用履歴（テクニカルWebサポート、修理情報）を確認できます。

- **テクニカルWebサポート　ご利用履歴**
  お客様がWebからお問い合わせされた内容とVAIOカスタマーリンクからの回答文の履歴を確認できます（2001年2月以降の履歴を対象とさせていただきます）。
- **VAIOカスタマイズサービス　ご利用履歴**
  メモリの増設など「VAIOカスタマイズサービス」にお申込みいただいたサービスの履歴を確認できます。
- **修理／関連サービス　ご利用履歴**
  VAIOカスタマーリンクに直接修理をご依頼いただいたバイオ本体の修理履歴を確認できます。

Q&A Search結果の登録

お客様が検索されたQ&Aを履歴に登録すると「ご登録済みのQ&A」に保管されます。解決方法の内容を忘れてしまった場合も、あとからもう一度確認するときに便利です。

ここをクリックする

VAIOコールバック予約サービス

VAIOコールバック予約サービスは、マイサポーター内にある「コールバック予約」ページより、ご予約のお申込みをいただいたご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

VAIOコールバック予約サービス
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

ヒント

VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です（コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：
24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）
回答時間：
平日：10：00～21：00

お問合せ内容は、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに限らせていただきます。

！ご注意

VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

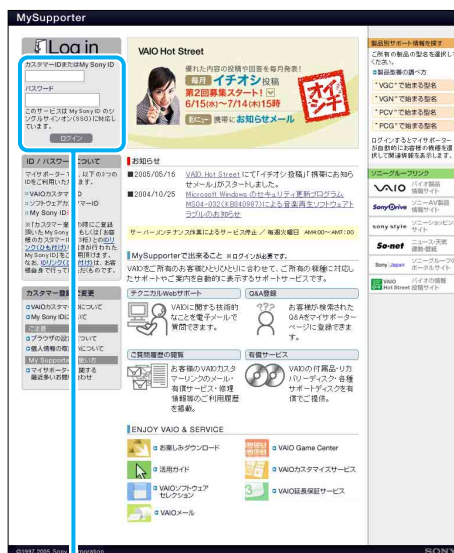
マイサポーターでテクニカルWebサポートを利用する

「テクニカルWebサポート」は、バイオ に関する技術的な質問をマイサポーター内から所定のフォームで入力すれば、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント

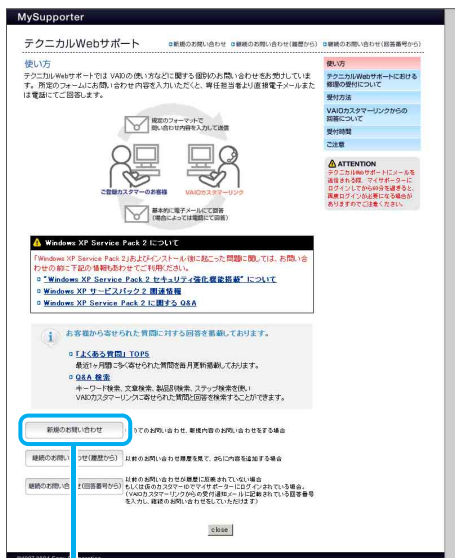
- このサービスをご利用いただくにはMy Sony IDが必要です。
  カスタマー登録について詳しくは「VAIOカスタマー登録について」（113ページ）をご覧ください。
- マイサポーターにログインできない場合は、「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」（122ページ）をご覧ください。

❑ 「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

必要な事項を入力し
［ログイン］をクリックする

2 [Webによるお問い合わせ「テクニカルWebサポート」]をクリックする。

ここをクリックする

3 [新規のお問い合わせ]をクリックする。

ここをクリックする

「新規のお問い合わせ[1/2]」画面が表示されます。

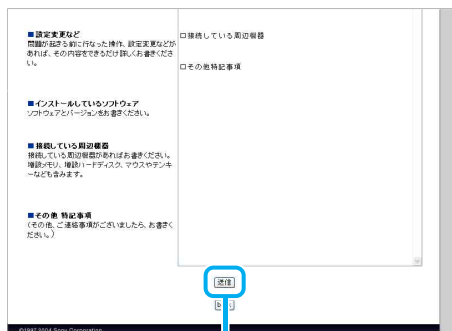
4 画面の指示に従って内容を確認する。

変更箇所がある場合は修正してください。

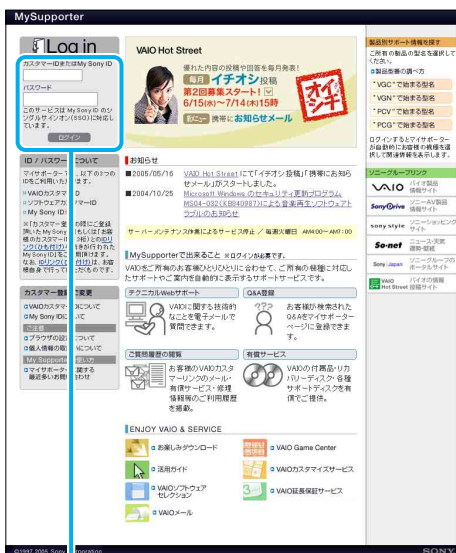
5 「お問い合わせ製品の選択」で製品の☐をクリックして☑にし、[次へ]をクリックする。

「新規のお問い合わせ[2/2]」画面が表示されます。

ヒント
メールアドレスが正しく入力されていることを確認してください。メールアドレスが正しくないと、回答できない場合があります。

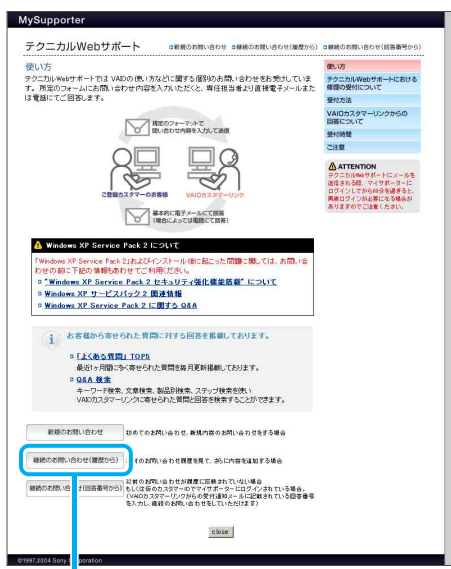
6 画面の指示に従って必要事項を入力し、[送信]をクリックする。

ここをクリックする

❑ 「テクニカルWebサポート」で継続のお問い合わせをする場合

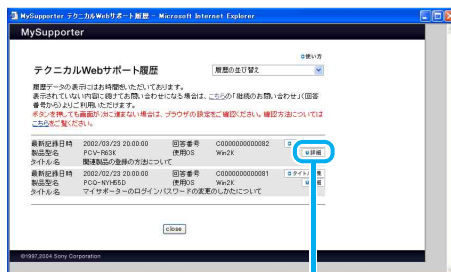
1 マイサポーターにログインする。

必要な事項を入力し
［ログイン］をクリックする

2 ［Webによるお問い合わせ「テクニカルWebサポート」］をクリックする。

ここをクリックする

3 ［継続のお問い合わせ］をクリックする。

ここをクリックする

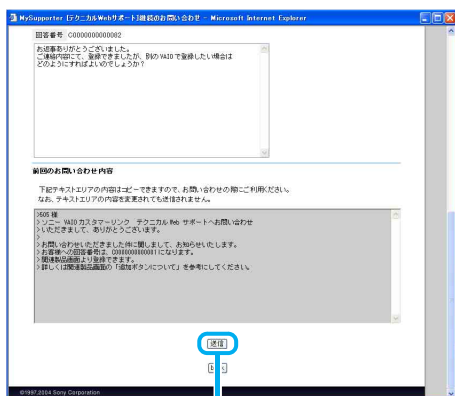
「テクニカルWebサポート履歴」画面が表示されます。

4 ［詳細］をクリックする。

ここをクリックする

5 履歴を確認し、［この回答への返信］をクリックする。

ここをクリックする

ヒント

テクニカルWebサポートの履歴に回答がない場合には、ボタンは「この質問への追加」と表示されます。なお、テクニカルWebサポートの履歴が反映されるまでには時間差が生じます。あらかじめご了承ください。

6 **画面の指示に従って必要事項を入力し、[送信]をクリックする。**

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)
https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

ご注意

投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDが必要です。

主な機能は以下のとおりです。

[投稿する・コメントを書き込む]

ご所有のバイオでお試しになった情報をぜひご投稿ください。
さらに他のお客様からの投稿に対してコメントを書き込むことができますので、活発な情報交換をしていただけます。

[質問する・回答する]

バイオをお使いのうえでわからないことをお客様どうしで質問、回答していただけます。
質問に対して解決策やヒント、アドバイスなどをお持ちのお客様は、ぜひ回答をお寄せください。

[検索する]

バイオの製品型名やキーワードなどから投稿を検索することができます。

[マイプロフィール]

お客様専用のプロフィールページです。
ご自分のプロフィールを登録、編集できるほかに、ご自分の投稿履歴を確認したり、お気に入りのユーザーや投稿を登録することができます。
ご投稿をいただかなくてもプロフィールページのみ作成することができます。

[投稿ランキング]

投稿数の多いお客様の順位がランキング一覧に表示されます。

[投稿の評価]

投稿内容の評価はVメーターで表示されます。
[この投稿を評価する]をクリックするとVメーターにカウントされます。
評価の高い投稿は、各テーマトップページの「Vメーターランキング」欄に掲載されることがあります。

<実際の投稿例>

Vメーター

！ご注意
最新の詳しい説明ページは、下記URLからご確認ください。
https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」（115ページ）や「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（118ページ）を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

ヒント
VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリンクへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

！ご注意
- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承の上、お問い合わせください。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalではサポート体制が異なります。
お使いのバイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindows XP Professional搭載モデルのどちらなのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、[スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選びます。

技術的なお問い合わせは（Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合）

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。

VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（136ページ）をご覧ください。

技術的なお問い合わせは（Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合）

電子マニュアルおよびインターネットを使ったお問い合わせについて
バイオには、お客様のご都合のよい時間にいつでも無料でご利用になれる豊富なサポート用ソフトウェアとインターネットを通じたサポートサービスがございます。バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」（124ページ）（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/）を、ぜひご活用ください。

❑ お電話でのお問い合わせについて

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。

VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（136ページ）をご覧ください。

購入日から90日間は・・・

バイオのご購入日から90日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。バイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

購入日から90日以降は・・・

バイオご購入日から90日を過ぎた後も電話サポートをご利用になれるように、「アドバンストサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話をWindows XP Professional搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。
ご購入日から90日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、下記の「アドバンストサポートチケット」をご購入の上、ご利用ください。

❑ インターネット経由でのお問い合わせについて

バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/）において、原則24時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします（午前10時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます）。

* 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
* メールでのお問い合わせは承っておりません。
* 24時間以内での返信はWindows XP Professional搭載モデルのみのサービスとなっております。

❑ 「アドバンストサポートチケット」をご購入いただくと

ご購入日から90日以降の電話サポートがご利用いただけます。

「アドバンストサポートチケット」とは

ご購入日から90日を過ぎてからお電話でバイオに関する技術的なお問い合わせ（使いかたのご説明など）をされる場合のメニューです。
下記のチケットをご購入いただくと、チケット1枚でお客様のご質問内容1件について、担当のオペレーターが対応いたします。

ヒント

- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容1件とはお電話の回数ではなく、一つの独立した質問で複数に分割できない内容と弊社が判断したものとします。回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。

■チケットの種類と価格（2005年6月現在）

- チケット1枚（単品）：2,100円（税抜価格2,000円）
- チケット3枚：5,250円（税抜価格5,000円）
- 1年間有効（回数フリー）：10,500円（税抜価格10,000円）

■有効期間

ご購入の当日より1年間

購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口（137ページ）でお電話でお申込みいただけます。

支払方法

クレジットカード（VISA・MASTER・JCB、1回払いのみ可能）をご利用ください。

ヒント

ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。
代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

返品・キャンセル・交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることを保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

「アドバンストサポートチケット」についてのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口（137ページ）にお問い合わせください。

ヒント

「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択し、本文中央にある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]をクリックします。

修理を依頼されるときは

修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」の画面上部のキーワード検索で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（118ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

点検サービスも行っております

バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

！ご注意

修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。

1 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには以下のような方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[バイオの使いかた]をクリックして表示される情報をご覧ください。

!ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

2 VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/karte.html）またはFAX情報サービス（135ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号をひかえるのに必要です。

VAIO

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
修理添付用VAIOカルテのおもて面（お客様情報とお支払方法について）と裏面（症状と製品の情報について）の両面にご記入いただき、ソニー指定業者が修理品をお預かりにお伺いした際に、修理品と一緒にお預けください。

2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理添付用VAIOカルテの裏面（症状と製品の情報について）のみご記入いただき、店頭で修理品と一緒にお預けください。

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読み下さい

1. お客様のバイオをお手元にご用意ください。ご指摘症状によっては、ご案内した操作をしていただく事で改善され、お預けいただかなくても問題が解決する場合があります。
2. 販売店様独自の延長保証にご加入されている場合は、延長保証適用について、販売店様へ事前にご確認ください。
3. お客様ご自身によるトラブルシュート「故障かな？と思ったら」が、下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/index.html
4. 修理窓口0466-30-3030へお電話いただく場合の通話料は、お客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
5. お電話いただいた際の受付フローは、おおむね以下の通りです。
（1）担当にお繋ぎするために、音声ガイドでご案内を行なっています。
（2）カスタマー登録されている方は、16桁のサポート番号または13桁のバイオカスタマーIDの入力が必要になります。これらの番号をあらかじめお手元にご用意ください。
（3）初めの案内で、これからの修理のご依頼をされる方は1、すでに修理をご依頼されている方は2を、お手持ちの電話機から入力していただくことになります。以降は音声ガイドの案内に従って、操作をお願いいたします。
6. 修理品をお預りのお客様へ
WEBから修理お預り品の状況検索が可能です。下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html

詳細につきましては、ご購入商品に同梱されている『サービスサポートのご案内』をご参照ください。

VAIOはソニー株式会社の商標です。　SONY

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

3 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030

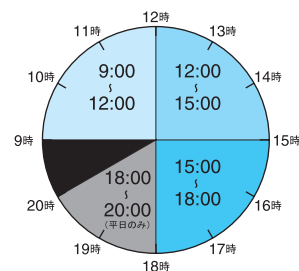
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（136ページ）をご覧ください。
不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。お電話は音声認識を用いた自動音声応答で受け付けます。自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

ヒント

自動音声応答において機種情報などが正確に認識できると、担当のオペレーターにつながります。

4 修理が必要と判断させていただいた場合は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部地域を除く）。

- 9：00〜12：00
- 12：00〜15：00
- 15：00〜18：00
- 18：00〜20：00（平日のみ）

!ご注意

上記は2005年6月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。(送料はソニー負担です。)

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

!ご注意

- 保証期間中でも有償になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。(なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります)

「修理/お預かり品状況確認」について

VAIOカスタマーリンクホームページの「修理/お預かり品状況確認」およびVAIOカスタマーリンクモバイルの「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。
修理/お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

1 VAIOカスタマーリンクホームページにある[修理/お預かり品状況確認]をクリックする。

コンピュータから利用する場合

VAIOカスタマーリンクホームページ
(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある[修理/お預かり品状況確認]をクリックします。

携帯電話から利用する場合

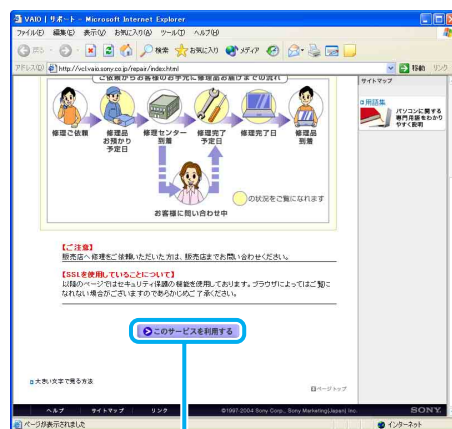
VAIOカスタマーリンク モバイル
(http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/)に携帯電話からアクセスして、"修理品状況確認"を選択します。

2 確認画面を表示させる。

コンピュータから利用する場合

画面下の[このサービスを利用する]をクリックすると、「修理/お預かり品状況確認」画面が表示されます。

携帯電話から利用する場合

画面中の"確認ページはこちら"をクリックすると、「修理品状況確認」画面が表示されます。

ここをクリックする

3 修理受付番号と電話番号を入力し、[検索]をクリックする。

修理完了の予定日が表示されます。

❑ 修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

❑ 修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。
また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

❑ 海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無償修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
なお、VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）の用意もございます。詳しくは右記の「有償サービスの種類」をご覧ください。

その他のサービスとサポート

有償サービスの種類

バイオをより快適に安心してお使いいただくためのサービス、バイオのクリエイティブな世界を体験していただくためのサービスなど各種サービスをご用意しております。

！ご注意
一部の機種では提供されません。

❑ VAIO延長保証サービス

VAIOご登録カスタマー専用の有料サービスとして「VAIO延長保証サービス」をご用意しております。
通常の故障を3年間保証する「故障対応タイプ」と、通常の故障に加え破損・漏水などの事故を3年間保証する「故障プラス事故対応タイプ」の2種類をご用意しております。
また、このサービスは購入日から一定の期間を過ぎますとお申し込みができなくなります。
詳しくはVAIOホームページ内の以下のページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ 訪問サポートサービス

スタッフが直接お客様のご自宅へお伺いし有償で行なうサポートサービスをご用意しております。
詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス」を受ける」（134ページ）または下記ホームページ「デジホームサポート」をご覧ください。
http://www.sony.co.jp/css/

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、ソニー純正のカスタマイズサービスをご用意しております。
詳しくは「VAIOカスタマイズサービスを利用する」（135ページ）をご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有償で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは下記ホームページ「アップデートCD-ROM送付サービス（有償）」をご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/index.html

❑「アドバンストサポート」

Windows XP Professional、Windows 2000 搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。
詳しくは「技術的なお問い合わせは(Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合)」(129ページ)をご覧ください。

❑ 訪問修理サービス

ソニーのサービスエンジニアが直接お客様のご自宅へお伺いし修理を行うサポートサービスをご用意しております。なお、対象機種はパーソナルコンピューターVGCシリーズのみとなります。
詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス」を受ける」(134ページ)をご覧ください。

❑ VAIO Overseas Service(海外サポート修理サービス)

日本国内でご購入されたパーソナルコンピューターVGNシリーズが、海外の対象地域にご滞在中に故障した場合、1年間お電話でサポートいたします。
詳しくは下記ホームページ「VAIO Overseas Service(海外サポート修理サービス)」をご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIOインターネットセキュリティ

- **「Norton Internet Security online」**
  VAIOを総合的に守りたいあなたに
  ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策です。
  Live Update機能でウイルスをつねに最新の状態に自動更新し、新種ウイルスにも対応します。ウイルス、ハッカーからの攻撃、個人情報の流出も、これ1つでブロック。
- **「Norton AntiVirus online」**
  ウイルスチェック対策のみをしたいあなたに
  インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動チェックし駆除するウイルス対策ソフトです。

詳しくは下記ホームページ「VAIOインターネットセキュリティ」をご覧ください。
http://vaio.sony.co.jp/Service/Security/

❑ VAIOメール

- 「基本サービス」
  VAIOをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダーを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能(Webメール・データ保管など)も充実しています。
- 「メールオプションパック」
  基本サービスに、「メールウイルスチェック」、「メールエクスチェンジ」、「メール転送」、「メールリジェクト」の4つの機能をセットにしたお得なパックです。
  単体でのお申し込みも可能です。

詳しくは下記ホームページ「VAIOメール」をご覧ください。
http://vaio.sony.co.jp/Service/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIO登録カスタマー専用のソフトウェア・ダウンロード販売サイトです。VAIOおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろええいます。
詳しくは下記ホームページ「VAIOソフトウェアセレクション」をご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

自宅で「訪問サポートサービス」を受ける

スタッフがお客様のご自宅へ直接お伺いして、各種アップグレード作業やインターネットの接続などを有償で行う「訪問サポートサービス」をご提供しています。
以下のようなサービスがあります。(2005年6月現在)

❑ 訪問設置サポートサービス

- パソコンはじめてパック:
  バイオをお買い上げいただいたときの開梱、接続、動作確認など。
- インターネット設定パック:
  モデム、ウェブブラウザ、電子メールソフトウェアの設定と簡単な操作説明。
- 個人レッスン:
  バイオの使いかたや、楽しみかたをご自宅で学べる。

❑ 訪問修理サービス

- パーソナルコンピューターVGCシリーズの訪問修理サービス:
  パーソナルコンピューターVGCシリーズのみ、お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。パーソナルコンピューターVGNシリーズは対象外とさせていただきます。

ヒント
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込み前にVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

訪問サポートサービスの詳細を見るには、次のように操作します。

1 **VAIOカスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある[サポート系サービス]をクリックする。**

ここをクリックする

2 ［訪問サポートサービス］をクリックする。

「訪問サポートご案内」画面が表示されます。

ホームページでのお申し込み

VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある「パソコン訪問サポート」よりお申し込みください。お申し込み手順は、デジホームサポートのホームページ上の記載に従ってください。

VAIOカスタマイズサービスを利用する

ソニーではお買い上げいただいたバイオをより快適にお使いいただくために、以下のようなすべてのサービスに一年間の安心保証がついたソニー純正の各種カスタマイズサービスをご提供しております。
各サービスの対象機種やサービス期間、料金についてはVAIOカスタマイズサービス ホームページでご確認ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ ハードディスクアップグレードサービス

動画ファイルの記憶領域やユーザーデータの保存領域が拡張できます。
一部のパーソナルコンピューターVGN/PCGシリーズのみのサービスとなります。

- **データ移行サービス**
  現在お使いのハードディスク上の内容をそのまま交換後のハードディスクに移行するサービスです。
- **ポータブルi.LINKハードディスクケース 移設サービス**
  ハードディスク交換後、元のハードディスクをポータブルi.LINKハードディスクケースに移設してお返しするサービスです。

❑ メモリーアップグレードサービス

データの処理速度や複数のアプリケーションソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
一部のパーソナルコンピューター VGN/VGC/PCG/PCVシリーズのみのサービスとなります。

❑ キーボード交換サービス

標準キーボードから英語配列キーボードに交換いたします。
英語配列キーボードでプリインストールのOSが使用可能になります。なお、サービスは英語配列キーボードのみになっております。
一部のパーソナルコンピューター VGN/PCGシリーズのみのサービスとなります。

❑ VAIOぴかぴかサービス

ご使用により汚れたり傷ついてしまった外装部品を交換するサービスです。
一部のパーソナルコンピューターPCGシリーズのみのサービスとなります。

❑ オプティカルドライブ アップグレードサービス

バイオ本体に内蔵されている［CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ］または、［DVD-ROMドライブ］を［書き込み型ドライブ］にアップグレードするサービスです。

ホームページでのお申し込み

VAIOホームページ内「サービス」にある「VAIOカスタマイズサービス」（http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/）よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホームページ上の記載に従ってください。

電話でのお申し込み

VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。
お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（136ページ）をご覧ください。

！ご注意

お申込みに関するご注意

VAIOカスタマイズサービスは、バイオ本体にソニー純正の製品をお取り付けするサービスです。
他社製のコンピュータに対してのアップグレードおよび他社製の製品を使用してのアップグレードサービスはお受けいたしません。
カスタマイズサービスご依頼の前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様自身にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の作業により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、アップグレードに使用する増設メモリや増設ハードディスクなどの在庫が無くなり次第、サービスは終了させていただきます。

「アップグレード完了予定日インフォメーション」サービス

VAIOカスタマーリンク ホームページの「修理／お預かり品状況確認」を使って「本体お預かり予定日」、「アップグレード完了予定日」、「アップグレード完了日」の日程を検索できますのでご利用ください。
アップグレード完了予定日インフォメーションを見るには、「「修理／お預かり品状況確認」について」（132ページ）の手順に従って操作します。

ヒント

ホームページの画面中で「修理品」と記載されている箇所は「アップグレード品」と読みかえてください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

！ご注意

一部の機種では提供されません。

FAX情報サービス

FAX番号：（0466）30-3040

お問い合わせ先について

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
バイオ電子マニュアルの［ソフト紹介／問い合わせ先］をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（139ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

❑ **VAIOカスタマー登録（113ページ）に関するお問い合わせは**

カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
受付時間：平日　**10：00～18：00**（年末年始を除く）

通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
なお、バイオの使いかたについてのお問合せ、修理の受付については下記「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたのお問い合わせ／修理の受付

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

使いかたのお問い合わせは

VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000
「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。（2005年6月 現在）

初心者ダイヤル

電話番号：（0466）30-4109（良いトーク）
初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任スタッフがやさしい単語で丁寧にご説明する窓口です。
また、VAIOカスタマーリンクホームページの「初心者コーナー」では初心者ダイヤルの専門オペレーターと連携して、初心者の方が「知りたい情報」や「知っていると便利な情報」をわかりやすく紹介したページをご用意しております。（120ページ）

修理の受付は

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
お問い合わせの際は、お手元にバイオ本体をご用意ください。ご指摘の症状によっては、ご案内した操作で問題が解決する場合があります。

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせに対しては、本機のご購入日から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有償でのサポートメニューをご用意しております。（129ページ）
- 受付時間外でのお問い合わせや通話料が気になるかたには、VAIOカスタマーリンクホームページのMySupporterにてサポート情報をご用意しておりますのでご活用ください。（124ページ）

- 付属のソフトウェアについては、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(139ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。
- お問い合わせには、あらかじめ「VAIOカスタマー登録」を行っていただくようお願いいたします(44ページ)。

受付時間
平日 10:00〜21:00
土、日、祝日 10:00〜17:00
(365日年中無休)

お電話は午前11時以降、または午後の方がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択して、本文中央に表示される[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]もあわせてご確認ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名(保証書などに記載されているものです)

② 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)

③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

ヒント
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

④ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)

⑤ 表示された**エラーメッセージ**

⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑨ その他お気づきの点

修理の場合は

⑩ VAIOカルテ(修理をお申し込みになるとき)

⑪ 筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です)

その他のお問い合わせ

通話料および通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

!ご注意

- バイオの使いかたに関するお問い合わせや、修理の受付については「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」(136ページ)をご覧ください。
- 下記のお問い合わせ先では技術的なお問い合わせなどはお受けできません。あらかじめご了承ください。

❑ VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(129ページ)は

電話番号:**(0466)30-3099**
受付時間:平日　**10:00〜21:00**
　土・日・祝　**10:00〜17:00**(**365**日年中無休)

❑ FAXでの情報提供(135ページ)は

VAIO**カスタマーリンク**FAX**情報サービス**
FAX番号:**0466-30-3040**

❑ VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は

電話番号:**(0466)30-3016**
受付時間:平日　**10:00〜21:00**
　土・日・祝　**10:00〜17:00**

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（130ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント

本機に付属するソフトウェアは、お使いのモデルにより異なることがあります。
付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェアを確認する」（175ページ）をご覧ください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 「バイオ電子マニュアル」トップ画面の［ソフト紹介／問い合わせ先］をクリックする。

！ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［コントロール パネル］→［ユーザー アカウント］を順にクリックして表示される「ユーザー アカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

❑ Do VAIO
VAIOカスタマーリンク

❑ Do VAIOバックアップツール
VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

❑ DVgate Plus
VAIOカスタマーリンク

！ご注意

「DVgate Plus」ソフトウェアを使うには、データのスペースとしてD:ドライブが必要です。本機は、ハードディスクドライブがC:ドライブとD:ドライブの2つに分かれています（お買い上げ時）。「VAIO リカバリユーティリティ」ソフトウェアを使って、パーティションサイズを変更できます。操作のしかたなど詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（161ページ）をご覧ください。

❑ Windows Media（TM）Player
VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO
（ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）
VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to DVD
VAIOカスタマーリンク

音楽

❑ SonicStage
VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio
VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ PictureGear Studio

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe（R） Photoshop（R） Elements 日本語版

アドビシステムズ株式会社　テクニカルサポート
電話番号：
（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：
月曜〜金曜：9時30分〜17時30分
（年末年始、土日祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ みんなでＴＶ電話スタータ

ドットフォン パーソナルＶ　サポートセンタ
電話番号：（0120）050-506
受付時間：9時〜21時（年末年始を除く）
ホームページ：http://coden.ntt.com/service/pv/

❑ MSN（R） Messenger

マイクロソフト株式会社
ホームページ：http://jp.support.msn.com/contactus_emailsupport.aspx?productkey=MESSENGER&ct=eformfree

❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

インターネット・メール

❑ Microsoft（R） Outlook Express

VAIOカスタマーリンク

❑ Microsoft（R） Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：
http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
（Yahoo!ツールバー・ヘルプページ）

❑ i-フィルター Personal Edition（体験版）

デジタルアーツ株式会社 i-フィルター・サポートセンター（i-フィルターをご利用の場合）
電話番号：（03）5485-1334
受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時 、
土曜日曜祝日：10時〜20時（年末年始を除く）
電子メール：p-support＠daj.co.jp
ホームページ：http://www.daj.co.jp/

ISP サインアップ

❑ So-net簡単スターター

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から） 札幌 （011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から） 仙台 （022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から） 東京 （03）3446-7555
（携帯PHS・IP電話から） 名古屋 （052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から） 大阪 （06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から） 広島 （082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から） 福岡 （092）624-3910
受付時間：9時〜21時 （年中無休）
ファックス番号：（03）3446-7557
電子メール：info＠so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBEでインターネット

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク
電話番号：
（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時〜22時（365日受付）
ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/

❑ ホットスポット （サービス紹介）

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot＠ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003 (Service Pack 1含む)

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号:
東京(03)5354-4500／大阪(06)6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ:
4インシデント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間:
月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜19時、
土曜:10時〜17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ:
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間:
月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜19時、
土曜日曜:10時〜17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動方法:
目的にあわせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

❑ Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003(Service Pack 1含む)

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号:
東京(03)5354-4500／大阪(06)6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ:
4インシデント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間:
月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜19時、
土曜:10時〜17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ:
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間:
月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜19時、
土曜日曜:10時〜17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional Enterprise 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動方法:
目的にあわせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

実用ツール

❑ Roxio DigitalMedia
ソニックサポートセンター
電話番号：（03）5232-6400
受付時間：10時〜12時、13時〜17時
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く）
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ 駅すぱあと
ユーザーサポートセンター
電話番号（テクニカル）：（03）5373-3522
電話番号（バージョンアップ）：（03）5373-3521
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時
（祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
ファックス番号：（03）5373-3523
電子メール：support@val.co.jp
ホームページ：http://ekiworld.net/

❑ デジタル全国地図
株式会社ゼンリンデータコム
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.its-mo.net/

❑ HD革命/BackUp　（バンドル版）
株式会社アーク情報システム　サポート係
電話番号：（03）3234-9251
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3234-9252
電子メール：kakumei@ark-info-sys.co.jp
ホームページ：http://www1.ark-info-sys.co.jp/

❑ Adobe（R） Reader（R）
アドビシステムズ株式会社　テクニカルサポート
「Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）」に関するテクニカルサポートは、Adobe Expert Program（アドビエキスパートサポート）を通してのみご利用いただけます。
"Adobe Expert Program"に関して詳しくは、
http://www.adobe.co.jp/support/expert_support/main.html
をご参照ください。
電話番号：
（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜17時30分
（年末年始、土日祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

❑ ATLAS 翻訳パーソナル 2005
ATLASサポートセンター
電話番号：（03）5462-1934
受付時間：
月曜〜金曜：9時〜12時、13時〜17時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5462-2344
電子メール：atlas-qa@css.fujitsu.com
ホームページ：http://software.fujitsu.com/jp/atlas/

❑ Norton Internet Security（TM） AntiSpyware Edition
シマンテックコンシューマ・カスタマーサービスセンター
電話番号：（0570）054115（ナビダイヤル）
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜17時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（0570）054116（ナビダイヤル）

❑ Microsoft（R） Office PowerPoint（R） Viewer
本ソフトウェアに関するお問い合わせは一切お受けしておりません。

❑ 一太郎ビューア
ホームページ：
https://www.ichitaro.com/viewer/download.html

❑ 携帯万能 体験版
株式会社トリスター　サポートセンター
電話番号：（03）5326-3553
受付時間：10時〜22時
ファックス番号：（03）5326-3557
電子メール：support-tri@nihon-e.co.jp

❑ 大富豪 体験版
株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：（03）5283-3625
受付時間：月曜〜金曜：13時〜18時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ AI囲碁 for Windows 体験版
株式会社アイフォー
電話番号：（03）5339-9300
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）5339-9410

❑ AI将棋 Windows 体験版
株式会社アイフォー
電話番号：（03）5339-9300
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）5339-9410

❑ AI麻雀 for Windows 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：(03)5339-9300
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時
(年末年始、夏期休暇、祝日を除く)
ファックス番号：(03)5339-9410

❑ AQUAZONE ビジュアル・エディション 水中庭園 トライアル版

ユーザーサポートセンター
電話番号：(03)5339-3610
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜17時(年末年始、祝日を除く)
電子メール：support@e-frontier.co.jp

❑ タイピング競馬 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：(03)5283-3625
受付時間：月曜〜金曜：13時〜18時(祝日を除く)
ファックス番号：(03)5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ サンリオ スーパータイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのわいわいデパート

株式会社サンリオ コンテンツ事業部
電話番号：(03)3779-8097
受付時間：
月曜〜金曜：9時30分〜18時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号：(03)3779-8098
電子メール：contents-support@mailnews.sanrio.co.jp

❑ サンリオ タイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのいろとかたち

株式会社サンリオ コンテンツ事業部
電話番号：(03)3779-8097
受付時間：
月曜〜金曜：9時30分〜18時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号：(03)3779-8098
電子メール：contents-support@mailnews.sanrio.co.jp

❑ ドラネットキッズ入学準備体験版

小学館 ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時、土曜：10時〜18時
(日曜月曜祝日は休み)
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ドラネット小学一年生体験版

小学館 ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時、土曜：10時〜18時
(日曜月曜祝日は休み)
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ドラネット小学二年生体験版

小学館 ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時、土曜：10時〜18時
(日曜月曜祝日は休み)
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ホームページ・ビルダー 体験版

ダイヤルIBM(製品のご購入相談のみ)
電話番号：(0120)04-1922
受付時間：
月曜〜金曜：9時〜18時(年末年始、祝日を除く)
ホームページ：
http://www.ibm.com/jp/software/internet/hpb/
(製品ホームページ)
http://www.ibm.com/jp/software/esupport/
(製品の技術的なFAQのページ)

❑ 新世紀ビジュアル大辞典 体験版

株式会社学習研究社　「学研電子辞典」係
電子メール：taiken-dc@gakken.co.jp

❑ えいご漬け(体験版)

プラト株式会社
電話番号：(03)3456-3803
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜19時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号：(03)3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

❑ 筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：(03)5600-2551
受付時間：9時30分〜12時、13時〜17時
(土日、祝日、および富士ソフトABC株式会社休業日を除く)
ファックス番号：(03)3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/product/

❑ 時事通信社「家庭の医学」デジタル版II

時事通信出版局　デジタルコンテンツグループ
電話番号：(03)3591-8690
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜17時(年末年始、祝日を除く)
ホームページ：http://book.jiji.com/igaku/index2.htm

❑ てきぱき家計簿マム

テクニカルソフト株式会社　サポートセンター
電話番号：(050)3085-3410(KDDI-IP電話)
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時
(テクニカルソフト株式会社休業日を除く)
ファックス番号：(050)3033-5041
電子メール：support@softnet.co.jp
ホームページ：http://www.softnet.co.jp/

FeliCa関連アプリケーション

❑ かざそうFeliCa
VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer
Edyテクニカルデスク
電話番号：（0570）085-001（ナビダイヤル）
受付時間：
月〜金 10時〜17時（土日祝日休み）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ ID Keyholder
株式会社ネットタイム
ホームページ：
http://www.nettime.co.jp/idkeyholder/support.html

❑ SFCard Viewer
ソニー非接触ICカードリーダー/ライターコールセンター
電話番号：（0570）085-222（ナビダイヤル）、
（03）5421-3372（携帯電話、PHS）
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時（土日祝日を除く）

❑ スクリーンセーバーロック
ソニー非接触ICカードリーダー/ライターコールセンター
電話番号：（0570）085-222（ナビダイヤル）、
（03）5421-3372（携帯電話、PHS）
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時（土日祝日を除く）

❑ かんたん登録
ソニー非接触ICカードリーダー/ライターコールセンター
電話番号：（0570）085-222（ナビダイヤル）、
（03）5421-3372（携帯電話、PHS）
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時（土日祝日を除く）

設定・ユーティリティ

❑ VAIOナビ
VAIOカスタマーリンク

❑ メモリースティックフォーマッタ
ソニー株式会社　テクニカルインフォメーションセンター
ホームページ：
http://www.sony.net/memorystick/support/

❑ Smart Network
VAIOカスタマーリンク

❑ 「ホットスポット」自動ログインツール
ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot@ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

❑ バイオの設定
VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ バイオ電子マニュアル
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ハードウェア診断ツール
VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows XP for VAIO
インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO リカバリユーティリティ
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update
VAIOカスタマーリンク

その他

❑ Java（TM）Software
サン・マイクロシステムズ株式会社
ホームページ：http://www.java.com/ja/

❑ VAIOオンラインカスタマー登録
ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
受付時間：月曜〜金曜日：10時〜18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

増設／リカバリ

メモリモジュールを取り付ける／はずす

本機にはメモリスロットが2つあり、最大2 Gバイトまでメモリを増設できます。*
メモリ容量が大きいと、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理が速くなります。2つのスロットに同じ容量のメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。

* 本機は、お買い上げ時に512 Mバイトメモリモジュールが1枚取り付けられています。

メモリモジュールを取り付けるには

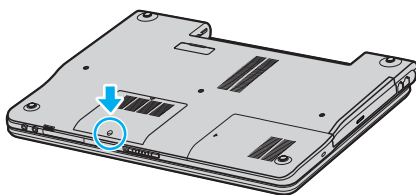
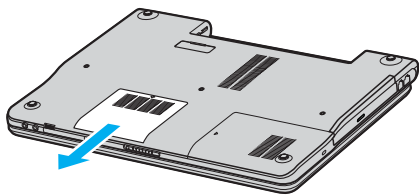
！ご注意

- メモリモジュールを取り付ける前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリモジュールの取り付けや取りはずしは注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。
  メモリモジュールの取り付けや取りはずしに関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールVGP-MM512L以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。他社のメモリモジュールをお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取り付けるときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部やプラスドライバーなどに触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のネジをプラスドライバーで取りはずす。

3 ふたを矢印の方向にスライドさせて取りはずす。

!ご注意

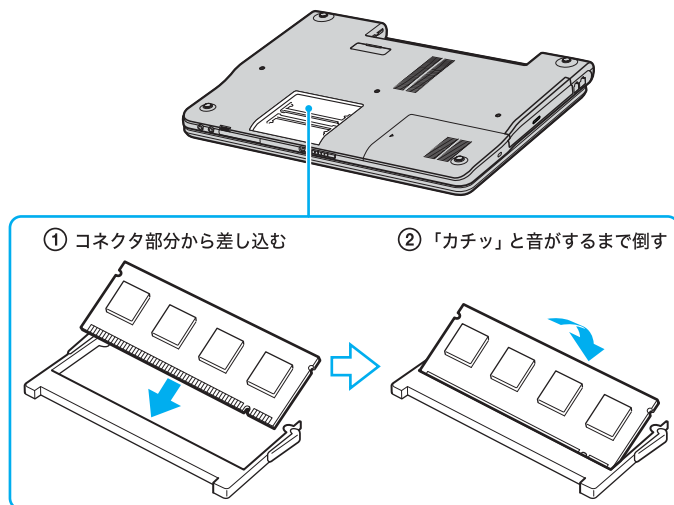
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- はずしたネジが、周囲のすき間から機器内に落ちないようご注意ください。

4 本機の金属部やプラスドライバーなどに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

5 メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。

!ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

6 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

7 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。

8 メモリの容量を確認する。

① 本機の電源を入れる。

② [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。
「バイオの設定」画面が表示されます。

③ [システム情報]→[システム情報]の順にダブルクリックする。
「システム情報」画面が表示されます。

④ 「システムメモリ」の項目を確認する。
メモリ容量が正しくないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく取り付けの手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

！ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

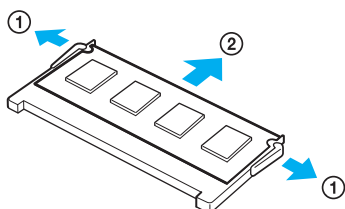
1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

2 **「メモリモジュールを取り付けるには」の手順2〜3を行う。**

3 **本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。**

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 **ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。**

5 **手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。**

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。
また、リカバリディスクを作成することもできます。

ヒント

リカバリ領域とは

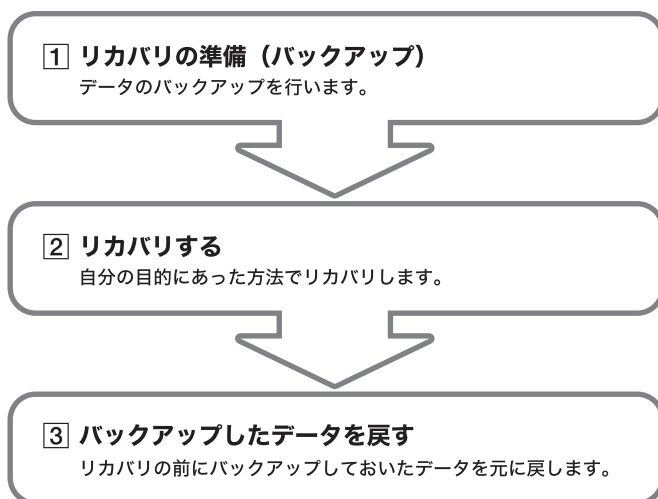
リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

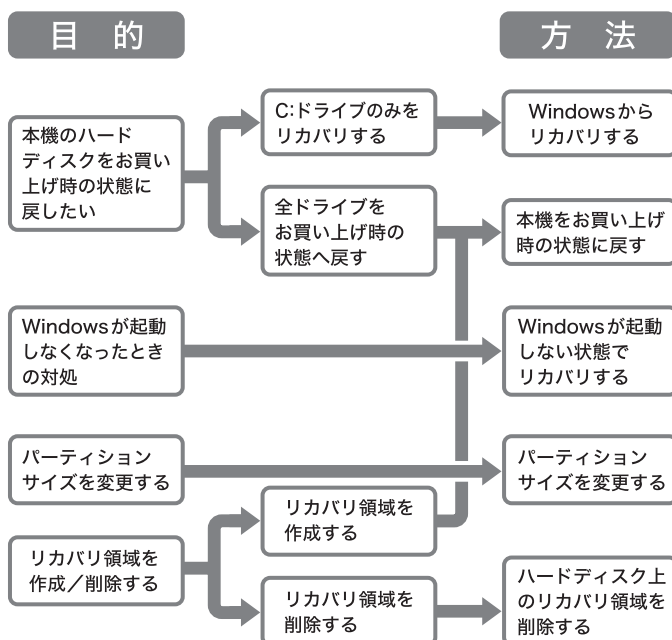
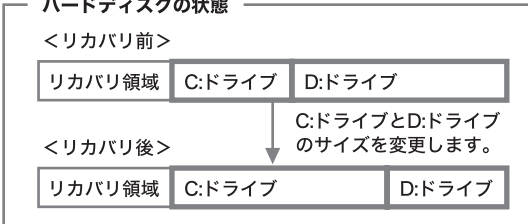
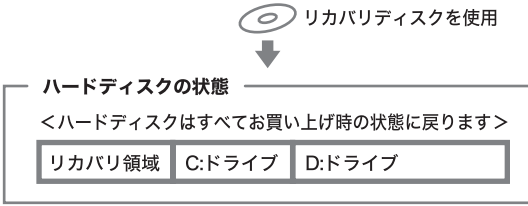
- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(155ページ)

リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

ヒント

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分にあった方法でリカバリしてください。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	Windowsからリカバリ Windowsが起動しない状態でリカバリ	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。 <リカバリ後> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
お買い上げ時の状態にリカバリする	本機をお買い上げ時状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時状態に戻します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 リカバリディスクを使用 ハードディスクの状態 <ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、リカバリディスクを使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量をデータの保存用などに使用できるようにします。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ リカバリ領域が削除されます。 <リカバリ後> C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備（バックアップ）

リカバリする前に、データのバックアップを行ってください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp(バンドル版)」を使用する。
  ［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［HD革命 BackUp（バンドル版）］→［HD革命 BackUp 起動（ココから始める）］の順にクリックして起動します。ドライブ全体のバックアップ、または、ファイルやフォルダ単位でのバックアップのどちらかを選択してバックアップがとれます。さらにファイルやフォルダ単位でのバックアップでは、「電子メールのデータ」「マイ ドキュメント」などを手軽に指定できる手順が用意されています。操作方法などの詳細は、「HD革命/BackUp（バンドル版）」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」（157ページ）の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

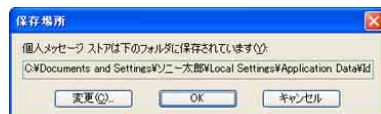
1　［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタをあわせ［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2　［ツール］メニューから［オプション］をクリックする。

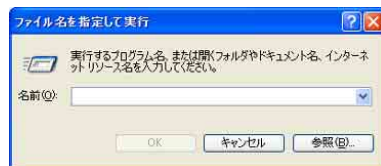
「オプション」画面が表示されます。

3　［メンテナンス］タブをクリックして［保存フォルダ］をクリックする。

「保存場所」画面が表示されます。

4　「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから［すべて選択］をクリックする。

5　再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから［コピー］をクリックする。

6　［スタート］ボタンをクリックして、［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

7　「名前」のテキストボックスにポインタをあわせ、右クリックして［貼り付け］をクリックし、［OK］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

8 表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ヒント
「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。（「SonicStage」プリインストールモデル）
バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

！ご注意
ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

リカバリ前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[起動時の設定]→[パワーオン・パスワードを設定する]の順にクリックする。）

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp（バンドル版）」を使用してバックアップしたデータは、同ソフトウェアを使用して元に戻します。（元に戻すことを「復元」といいます。）復元方法について詳しくは、「HD革命/BackUp（バンドル版）」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックして[次へ]をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4 [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入(下記参照)	

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
VAIOカスタマーリンクが別途指定するWebページ「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* ご購入にはVAIOカスタマー登録(44ページ)が必要です。

!ご注意
本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-RやCD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

！ご注意
下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

！ご注意
リカバリディスクを作成するときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

❑ リカバリディスク作成に必要なもの（DVD-ROMドライブモデル）

リカバリディスクの作成には「ブランクメディア（データが書き込まれていないDVD+R DL、DVD+R、DVD-RまたはCD-R）」および「DVDスーパーマルチドライブ PCGA-DDRW3などの専用ドライブ*」が必要です。
専用のドライブを接続してリカバリディスクを作成してください。

* 専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

！ご注意
リカバリディスクは、必ず本機のドライブに入れてご使用ください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 **[リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。**

3 **「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。**

「ディスクの確認」画面が表示されます。
CD-RW/DVDドライブモデルをお使いの場合は、手順5へ進んでください。

4 **使用するディスクを選択する。**

リカバリディスク作成用にDVD+R DL（Double Layer）、DVD+R、DVD-RまたはCD-Rのいずれかが必要となります。必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

！ご注意
DVD-R DL、DVD+RW、DVD-RW、DVD-RAMまたはCD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

5 **[次へ]をクリックする。**

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

6 [作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

ヒント
リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

7 指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。
ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

8 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

!ご注意
ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

9 [OK]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

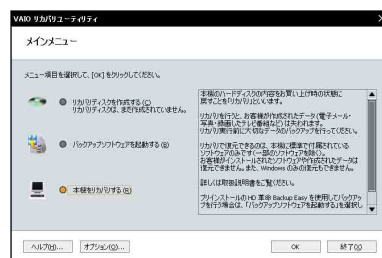
Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(159ページ)をご覧ください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント
「リカバリ領域が削除されています」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(160ページ)をご覧ください。

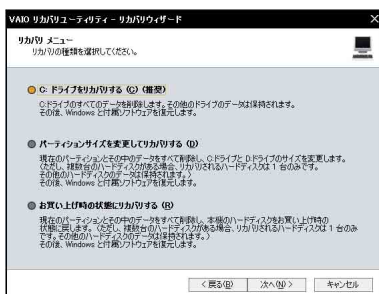
2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

ヒント
「HD革命/BackUp」ソフトウェアを使用してデータのバックアップを行う場合は、[バックアップソフトウェアを起動する]を選択し、[OK]をクリックしてください。

3 [はい]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

8 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

!ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(38ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

11 「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。
リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003がプリインストールされていないモデルをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

12 インストール開始画面が表示されるので、Office Personal 2003 またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

① Office Personal 2003 CDまたはOffice Professional Enterprise 2003 CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

②「インストールの種類」画面が表示されたら、「完全インストール」の○をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。

③「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。

④「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールが完了しました。

ヒント
本機では、「C:¥Program Files¥Office11¥SP1」にOffice 2003 Service Pack 1のインストール用プログラムが保存されています。
リカバリ時にOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行うと、Office 2003 Service Pack 1も自動的にインストールされますので、お客様がインストールする必要はありません。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

［Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする］のチェックボックスをオフにした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

① Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、「ヘルプ」メニューの［更新のチェック］をクリックする。

② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある［ダウンロード］が選択されていることを確認する。

③ 必要なOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のアップデートを行う。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合は、手順14に進んでください。

13 「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」でMicrosoft（R） Office Home Style+をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

① Office Home Style+ CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

② 「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。

③ 「インストール タイプ選択」画面が表示されたら、［標準］の○をクリックして◉にし、［次へ］をクリックする。

④ 「インストールの開始」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。
インストールが始まります。

⑤ 「Microsoft Office Home Style+ のインストールが正常に終了しました。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックする。
Office Home Style+のインストールが完了しました。

14 インストール開始画面の［OK］をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

15 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動する。

16 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。
また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの［ライセンス認証］をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口
電話番号：（0120）801-734　受付時間：24時間受付

> インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
> インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（58ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。（155ページ）

1 ⏻（パワー）ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント

リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。
  何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」をご覧ください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

3 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

4 「Windowsからリカバリする」(157ページ)の手順4以降の操作を行う。

本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

!ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったデータは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

2 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

3 30秒ほど待ってから ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

8 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

9 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

10 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

11 「Windowsからリカバリする」(157ページ)の手順9以降の操作を行う。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。C:ドライブにはWindows OSやプリインストールされているソフトウェアが保存されており、D:ドライブは動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

ヒント
本機のハードディスクのパーティションサイズについて
「パーティションサイズを変更するには」の手順2までを行っていただくことにより、現在のパーティションサイズを確認することができます。確認したら、[キャンセル]をクリックしてください。

お買い上げ後に、多くのソフトウェアを追加でインストールしたり、容量の大きなファイルをC:ドライブに保存すると、C:ドライブの空き容量が少なくなり、本機の動作が不安定になることがあります。容量の大きな動画ファイルなどは、D:ドライブに保存することをおすすめします。
本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます。(163ページ)
パーティションサイズの変更やリカバリ領域の削除を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ/D:ドライブともに失われてしまいます。これらの操作は、本機のご使用前に行うことをおすすめします。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

!ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルはC:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

ヒント

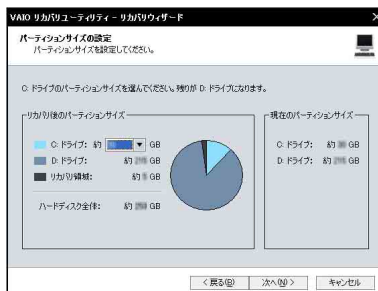
「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。(「SonicStage」プリインストールモデルのみ)
バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

1 「Windowsからリカバリする」(157ページ)の手順1〜4を行う。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 C:ドライブのパーティションサイズをドロップダウンリストから指定し、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

!ご注意

- パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合は、バックアップソフトウェアをご使用できなくなる可能性があります。
- D:ドライブのサイズを小さくした場合は、D:ドライブをデータの保存先としているソフトウェアをご使用になる前に、データの保存先をC:ドライブに変更することをおすすめします。
  データ保存先ドライブの変更については、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

5 「Windowsからリカバリする」(157ページ)の手順7以降の操作を行う。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

!ご注意

- リカバリディスクを作成していない場合は、「リカバリディスクを作成する」(155ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。
- リカバリ領域を削除した場合、ハードディスクからリカバリできなくなります。リカバリ領域を削除した後、リカバリするためには、リカバリディスクでリカバリするか、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(160ページ)の手順に従いリカバリ領域を作成してから行ってください。
- この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。**

2 **[スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。**

3 **30秒ほど待ってから⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。**

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

4 **内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。**

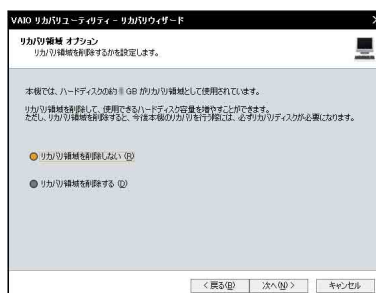
「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 **引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。**

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 **[パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。**

「リカバリ領域　オプション」画面が表示されます。

7 **[リカバリ領域を削除する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。**

「実行確認」画面が表示されます。

8 **[はい]をクリックする。**

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 **引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。**

リカバリ開始確認画面が表示されます。

10 **「Windowsからリカバリする」(157ページ)の手順7以降の操作を行う。**

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、予めご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。)また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに重い物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクドライブを取りはずさないでください。

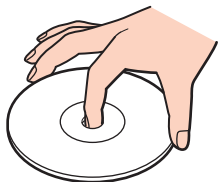
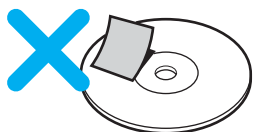
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

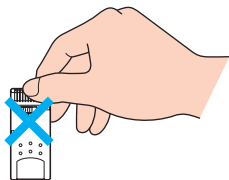
データの損失については、一切責任を負いかねます。

CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

"メモリースティック"の取り扱いについて

"メモリースティック"に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

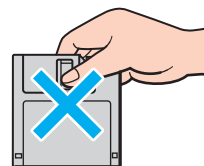
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック"を付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

"メモリースティック デュオ"使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、"メモリースティック デュオ"が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- "メモリースティック デュオ"のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて（ワイヤレスLANモデル）

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。

- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHz（IEEE802.11a）ワイヤレスLAN機器の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE802.11gは、IEEE802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。

メモリカードおよびアダプタの取り扱いについて

メモリカードアダプタの取り扱いについて

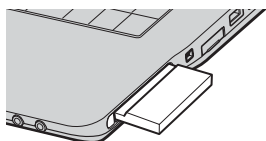
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でアダプタの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部分には手や金属で触れないでください。
- アダプタ内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- アダプタを水でぬらさないでください。
- 次のような場所での使用や保存は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気や水分のある場所（または結露する場所）
  - 暖房器具の近くなどの高温になる場所
  - 傾斜のある不安定な場所
  - 強い磁界や静電気が発生する場所
  - 振動の激しい場所
- 長時間の使用後は高温になっています。やけどの恐れがありますので、取り扱いにはご注意ください。

メモリカードの取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないようにしてください。
- 持ち運びや保管の際は、メモリカードに付属の収納ケースなどに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- アダプタに装着したメモリカードを本機から取り出すときは、アダプタに装着した状態で取り出してください。メモリカードを取り出す際にアダプタが本機に残ってしまった場合は、再度メモリカードを挿入し、アダプタと一緒に取り出してください。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

- PCカードスロットからはみ出すPCカード（PHSカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

  - PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。
- 付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vをご使用になるときは、必ずテレビポートリプリケーターに付属のACアダプタPCGA-AC19V9をお使いください。
  本体に付属のACアダプタVGP-AC19V10をご使用になると、作業中の状態や保存されていないデータが失われることがあります。
  テレビポートリプリケーター付属モデルの場合は、付属のACアダプタPCGA-AC19V9をお使いください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。
- バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

Do VAIOについて（Do VAIOプリインストールモデル）

ヒント
テレビ機能をご利用いただくには、付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10Vが必要です。

本機へアナログ入力するときのご注意

Do VAIOのテレビ機能を使って、本機に静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機に取り付けた付属または別売りのテレビポートリプリケーターVGP-PRFS10VのAUDIO INコネクタ、VIDEO INコネクタまたはS VIDEO INコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

ケーブルテレビを受信するときのご注意

ケーブルテレビの受信はケーブルテレビの放送（サービス）が行われている地域のみで可能です。ケーブルテレビを受信する場合は、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要になります。詳しくは、各地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

システムの復元をご使用になるときのご注意

システムの復元を使って復元ポイントに戻すと、レジストリの情報が復元前の状態に戻ります。そのため、場合によってはチャンネルの設定が失われることがあります。その場合は、もう一度「地域設定」を行ってください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ドライブの地域番号書き替えについて

お買い上げ時は、本機のドライブの地域番号（リージョンコード）は「2」（日本）に設定されています。

一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

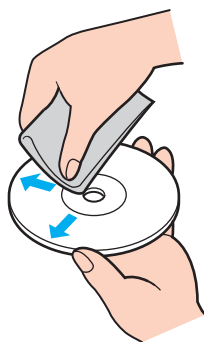
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

CDやDVDなどのディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（いずれも有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp）の「ウイルス・セキュリティ情報」より「ハードディスク上のデータ消失に関するご注意」をご覧ください。

主な仕様

VGN-FS92PS・FS92Sをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品により仕様が異なります。[*1]
本機には、お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されていますので、そちらもあわせてご覧ください。

項目		VGN-FS52B	VGN-FS32B
OS		Microsoft® Windows® XP Home Edition	
テクノロジ		インテル® Centrino™ モバイル・テクノロジ	ー
プロセッサ[*2]		インテル® Pentium® M プロセッサ 750 （拡張版Intel SpeedStep® テクノロジ搭載）	インテル® Celeron® M プロセッサ 370
動作周波数		1.86 GHz	1.50 GHz
キャッシュメモリ		1次キャッシュ 64 Kバイト、2次キャッシュ 2 Mバイト（CPU内蔵）	1次キャッシュ 64 Kバイト、2次キャッシュ 1 Mバイト（CPU内蔵）
システムバス		533 MHz	400 MHz
チップセット		インテル® 915GM Express チップセット	インテル® 910GML Express チップセット
メインメモリ 標準／最大		512 Mバイト（512 MB × 1）／最大2 Gバイト（DDR2 SDRAM、DDR2 400対応、デュアルチャンネル転送対応[*3]）（ビデオメモリ共有）	
メモリバス		400 MHz	
拡張メモリスロット（空き）		SO-DIMMスロット（DDR2 SDRAM、DDR2 400対応、デュアルチャンネル転送対応[*3]）× 2（1）	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレータ900	
	ビデオメモリ	最大128 Mバイト（メインメモリ共有）[*4]	
	液晶ディスプレイ	15.4型ワイド WXGA（1280 × 800ドット）対応、TFTカラー液晶	
	表示モード[*5]	最大約1619万色（1280 × 800、1280 × 768、1024 × 768、1024 × 600、800 × 600）	
	外部ディスプレイ出力（アナログRGB接続時）[*6]	最大約1677万色 （1600 × 1200、1280 × 1024、1280 × 800、1280 × 768、1024 × 768、1024 × 600、800 × 600）	
記憶装置	ハードディスクドライブ	約100 Gバイト（Ultra ATA/100）（C: 約20 Gバイト／D: 約73 Gバイト（お買い上げ時））[*7] [*8]	
	CD/DVDドライブ[*9] [*10] [*11]	DVDスーパーマルチドライブ（DVD ± R 2層記録対応）（固定式） ・書き込み：DVD+R DL（Double Layer）最大2.4 倍速[*12]、DVD-R DL（Dual Layer）最大2 倍速[*13]、DVD+R最大8 倍速、DVD+RW最大4 倍速、DVD-R最大8 倍速[*14]、DVD-RW最大4 倍速[*15]、DVD-RAM最大5 倍速[*16]、CD-R最大約24 倍速、CD-RW最大約10 倍速 ・読み出し[*17]：最大8 倍速（DVD-ROMの場合）、最大24 倍速（CD-ROMの場合） ＜バッファーアンダーランエラー防止機能搭載＞	DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）（固定式） ・書き込み：DVD+R DL（Double Layer）最大2.4 倍速[*12]、DVD+R最大8 倍速、DVD+RW最大4 倍速、DVD-R最大8 倍速[*14]、DVD-RW最大4 倍速[*15]、DVD-RAM最大5 倍速[*16]、CD-R最大約24 倍速、CD-RW最大約10 倍速 ・読み出し[*17]：最大8 倍速（DVD-ROMの場合）、最大24 倍速（CD-ROMの場合） ＜バッファーアンダーランエラー防止機能搭載＞
外部接続端子		Hi-Speed USB（USB2.0）（high/full/low speed対応）× 3	
		i.LINK（IEEE1394）S400（4ピン）× 1	
		ネットワーク（LAN）コネクタ（100BASE-TX/10BASE-T）× 1	
		ヘッドホン出力（ステレオ、ミニジャック）× 1	
		マイク入力（ステレオ、ミニジャック）× 1	
		外部ディスプレイ出力（アナログRGB、ミニD-sub 15ピン）× 1	
		モデム用モジュラジャック × 1	
		テレビポートリプリケーターコネクタ／ポートリプリケーターコネクタ × 1	
ワイヤレス通信		2.4 GHz/5 GHzワイヤレスLAN（内蔵）（IEEE802.11a/b/g準拠、WPA対応、Wi-Fi適合）[*18] [*19] [*20] [*21]	2.4 GHzワイヤレスLAN（内蔵）（IEEE802.11b/g準拠、WPA対応、Wi-Fi適合）[*18] [*19]
メモリースティックスロット		メモリースティック（標準／Duo サイズ対応スロット、メモリースティック PRO対応、マジックゲート対応、高速データ転送対応）	
FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）		搭載	
PCカードスロット		Type II × 1、CardBus対応	
オーディオ機能		インテル® High Definition Audio準拠、ソフトウェアMIDI音源、内蔵ステレオスピーカー	
内蔵モデム[*22]		最大56 kbps[*23]（V.92およびV.90対応）最大14.4 kbps（Fax時）	
入力デバイス		キーボード、インテリジェントタッチパッド	
主な付属品		「付属品を確かめる」（22ページ）をご覧ください。	
電源		ACアダプタ[*24]：AC 100-240 V、50/60 Hz（付属電源コードは AC100 V用） バッテリ：出力電圧 11.1 V	
バッテリ駆動時間[*25] [*26]		• 付属バッテリ：約3.5 時間 • バッテリーパック（S）：約3.5 時間 • バッテリーパック（L）：約5.5 時間	• 付属バッテリ：約2.0 時間 • バッテリーパック（S）：約2.0 時間 • バッテリーパック（L）：約3.0 時間
バッテリ充電時間[*27]		電源オン/オフ時 • 付属バッテリ：約3 時間（85 %）、約4 時間（100 %） • バッテリーパック（S）：約3 時間（85 %）、約4 時間（100 %） • バッテリーパック（L）：約4.5 時間（85 %）、約6 時間（100 %）	
温湿度条件		• 動作温度：5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下） • 動作湿度：20 %～80 %（結露のないこと）ただし35 ℃における湿度は65 %以下（湿球温度29 ℃以下） • 保存温度：-20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下） • 保存湿度：10 %～90 %（結露のないこと）ただし60 ℃における湿度は20 %以下（湿球温度35 ℃以下）	
外形寸法（突起物含まず）		約　幅364 mm ×高さ25.4（最厚部36.4）mm ×奥行264.5 mm	
質量		約2.85 kg（付属バッテリ装着時）	
別売品		• リチャージャブルバッテリーパック（S）：VGP-BPS2[*28] • リチャージャブルバッテリーパック（L）：VGP-BPL2 • テレビポートリプリケーター：VGP-PRFS10V • ポートリプリケーター：VGP-PRFS1 • ACアダプター：VGP-AC19V10[*29] • 増設メモリーモジュール 512MB[*30]：VGP-MM512L	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
注釈*1～*30は174ページをご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>VGN-FS22B</th><th>VGN-FS22VB</th></tr>
<tr><td colspan="2">OS</td><td colspan="2">Microsoft® Windows® XP Home Edition</td></tr>
<tr><td colspan="2">テクノロジ</td><td colspan="2">—</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロセッサ[*2]</td><td colspan="2">インテル® Celeron® M プロセッサ 360</td></tr>
<tr><td colspan="2">動作周波数</td><td colspan="2">1.40 GHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャッシュメモリ</td><td colspan="2">1次キャッシュ 64 Kバイト、2次キャッシュ 1 Mバイト（CPU内蔵）</td></tr>
<tr><td colspan="2">システムバス</td><td colspan="2">400 MHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">チップセット</td><td colspan="2">インテル® 910GML Express チップセット</td></tr>
<tr><td colspan="2">メインメモリ 標準／最大</td><td colspan="2">512 Mバイト（512 MB×1）／最大2 Gバイト（DDR2 SDRAM、DDR2 400対応、デュアルチャンネル転送対応[*3]）（ビデオメモリ共有）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリバス</td><td colspan="2">400 MHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張メモリスロット（空き）</td><td colspan="2">SO-DIMMスロット（DDR2 SDRAM、DDR2 400対応、デュアルチャンネル転送対応[*3]）×2（1）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">表示機能</td><td>グラフィックアクセラレータ</td><td colspan="2">インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレータ900</td></tr>
<tr><td>ビデオメモリ</td><td colspan="2">最大128 Mバイト（メインメモリ共有）[*4]</td></tr>
<tr><td>液晶ディスプレイ</td><td colspan="2">15.4型ワイド WXGA（1280 × 800ドット）対応、TFTカラー液晶</td></tr>
<tr><td>表示モード[*5]</td><td colspan="2">最大約1619万色（1280 × 800、1280 × 768、1024 × 768、1024 × 600、800 × 600）</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ出力
（アナログRGB接続時）[*6]</td><td colspan="2">最大約1677万色
（1600 × 1200、1280 × 1024、1280 × 800、1280 × 768、1024 × 768、1024 × 600、800 × 600）</td></tr>
<tr><td colspan="2">MPEGハードウェアエンコーダボード
（付属のテレビポートリプリケーター）</td><td>—</td><td>• ビデオキャプチャ機能（ビデオ入力→リアルタイム変換機能）、
テレビ録画機能搭載、AV入力対応
• TVチューナー（VHF1～12 ch、UHF13～62 ch、
CATV C13～C63 ch[*31]、ステレオ／2か国語）[*32]
• 録画形式（選択可能）
高画質モード　MPEG2　8 Mbps 720 × 480 30 fps）約17 分/1 GB
標準モード　MPEG2　4 Mbps 720 × 480 30 fps）約34 分/1 GB
長時間モード　MPEG2 2.5 Mbps 352 × 480 30 fps）約53 分/1 GB
• 録音形式
MPEG1 Audio Layer 2、256 kbps、16 bit、48 kHz、ステレオ
• ノイズリダクション（DNR）対応
• 3次元Y/C分離回路対応
• 光デジタル音声出力</td></tr>
<tr><td rowspan="3">記憶装置</td><td>ハードディスクドライブ</td><td colspan="2">約80 Gバイト（Ultra ATA/100）（C: 約20 Gバイト／D: 約53 Gバイト（お買い上げ時））[*7][*8]</td></tr>
<tr><td>MPEG映像記録時間[*33]
（付属のテレビポートリプリケーター）</td><td>—</td><td>高画質 約14 時間／標準 約25.5 時間／長時間 約44.5 時間</td></tr>
<tr><td>CD/DVDドライブ[*9][*10][*11]</td><td colspan="2">DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）（固定式）
・書き込み：DVD+R DL（Double Layer）最大2.4 倍速[*12]、DVD+R最大8 倍速、DVD+RW最大4 倍速、DVD-R最大8 倍速[*14]、
DVD-RW最大4 倍速[*15]、DVD-RAM最大5 倍速[*16]、CD-R最大約24 倍速、CD-RW最大約10 倍速
・読み出し[*17]：最大8 倍速（DVD-ROMの場合）、最大24 倍速（CD-ROMの場合）
＜バッファーアンダーランエラー防止機能搭載＞</td></tr>
<tr><td rowspan="16">外部接続端子</td><td rowspan="8">本体</td><td colspan="2">Hi-Speed USB（USB2.0）（high/full/low speed対応）×3</td></tr>
<tr><td colspan="2">i.LINK（IEEE1394）S400（4ピン）×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワーク（LAN）コネクタ（100BASE-TX/10BASE-T）×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヘッドホン出力（ステレオ、ミニジャック）×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">マイク入力（ステレオ、ミニジャック）×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部ディスプレイ出力（アナログRGB、ミニD-sub 15ピン）×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">モデム用モジュラジャック×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">テレビポートリプリケーターコネクタ／ポートリプリケーターコネクタ×1</td></tr>
<tr><td rowspan="8">テレビポートリプリケーター</td><td rowspan="8">—</td><td>Hi-Speed USB（USB2.0）（high/full/low speed対応）×4</td></tr>
<tr><td>ネットワーク（LAN）コネクタ（100BASE-TX/10BASE-T）×1</td></tr>
<tr><td>ステレオヘッドホン出力（ステレオ、ピンジャック）</td></tr>
<tr><td>AV入力（NTSC 対応、ステレオ音声入力）×1[*32]</td></tr>
<tr><td>S映像入力×1</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ出力（アナログRGB、ミニD-sub 15ピン）×1[*32]</td></tr>
<tr><td>TVアンテナ入力（75 Ω、F型コネクタ）×1</td></tr>
<tr><td>光デジタル音声出力（角型）×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワイヤレス通信</td><td colspan="2">2.4 GHzワイヤレスLAN（内蔵）（IEEE802.11b/g準拠、WPA対応、Wi-Fi適合）[*18][*19]</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリースティックスロット</td><td colspan="2">メモリースティック（標準／Duo サイズ対応スロット、メモリースティック PRO対応、マジックゲート対応、高速データ転送対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）</td><td colspan="2">搭載</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCカードスロット</td><td colspan="2">Type II×1、CardBus対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">オーディオ機能</td><td colspan="2">インテル® High Definition Audio準拠、ソフトウェアMIDI音源、内蔵ステレオスピーカー</td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵モデム[*22]</td><td colspan="2">最大56 kbps[*23]（V.92およびV.90対応）最大14.4 kbps（Fax時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力デバイス</td><td colspan="2">キーボード、インテリジェントタッチパッド</td></tr>
</table>

次ページに続く

項目	VGN-FS22B	VGN-FS22VB
主な付属品	「付属品を確かめる」(22ページ)をご覧ください。	
電源	ACアダプタ [*24]:AC 100-240 V、50/60 Hz(付属電源コードはAC100 V用) バッテリ:出力電圧 11.1 V	
バッテリ駆動時間 [*25 *26]	• 付属バッテリ:約2.0 時間 • バッテリーパック(S):約2.0時間 • バッテリーパック(L):約3.0 時間	
バッテリ充電時間 [*27]	電源オン/オフ時 • 付属バッテリ:約3 時間(85 %)、約4 時間(100 %) • バッテリーパック(S):約3 時間(85 %)、約4 時間(100 %) • バッテリーパック(L):約4.5 時間(85 %)、約6 時間(100 %)	
温湿度条件	• 動作温度:5 ℃〜35 ℃(温度勾配10 ℃/時以下) • 動作湿度:20 %〜80 %(結露のないこと)ただし35 ℃における湿度は65 %以下(湿球温度29 ℃以下) • 保存温度:-20 ℃〜60 ℃(温度勾配10 ℃/時以下) • 保存湿度:10 %〜90 %(結露のないこと)ただし60 ℃における湿度は20 %以下(湿球温度35 ℃以下)	
外形寸法(突起物含まず)	約　幅364 mm×高さ25.4(最厚部36.4) mm×奥行264.5 mm	
質量	約2.85 kg(付属バッテリ装着時)	
別売品	• リチャージャブルバッテリーパック(S):VGP-BPS2 [*28] • リチャージャブルバッテリーパック(L):VGP-BPL2 • テレビポートリプリケーター:VGP-PRFS10V • ポートリプリケーター:VGP-PRFS1 • ACアダプター:VGP-AC19V10 [*29] • 増設メモリーモジュール 512MB [*30]:VGP-MM512L	

*1　CD-RW/DVD-ROMドライブモデルの仕様は以下のとおりです。
書き込み:CD-R最大約24倍速、CD-RW最大約24倍速
読み出し:最大8倍速(DVD-ROMの場合)、最大24倍速(CD-ROMの場合)

*2　プロセッサの処理能力は使用状況により変化します。

*3　同じ容量のメモリモジュールを2枚1組で装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。

*4　使用状況により自動的にメモリーサイズが変更されます。お客様による設定は行えません。

*5　グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。

*6　本体から出力可能な表示モードです。ディスプレイにより表示できないモードがあります。

*7　ハードディスクドライブ内にリカバリ(お買い上げ時の状態に戻す)に必要なデータを保持します。
このリカバリ用の領域として約7 Gバイトを消費します。

*8　1 Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1 Gバイトを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は以下のとおりです。
・VGN-FS52B、VGN-FS32B:約85 Gバイト(C:約18 Gバイト、D:約67 Gバイト)
・VGN-FS22B、VGN-FS22VB:約67 Gバイト(C:約18 Gバイト、D:約49 Gバイト)
ファイルシステムはNTFSです。

*9　CPRM対応のDVDディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生は「WinDVD」ソフトウェアで可能です。また、「1回だけ録画可能」な番組のDVDディスクへの書き込みはできません。(CPRM:Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。)

*10 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応しておりません。

*11 使用するディスクによっては一部の書き込み/読み出し速度に対応していない場合があります。

*12 DVD+R DL(Double Layer)の書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応した DVD+Rディスクのみで可能です。

*13 DVD-R DL(Dual Layer)の書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応した DVD-Rディスクのみで可能です。

*14 DVD-RはDVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*15 DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*16 DVD-RAM Ver.1(片面2.6 Gバイト)の書き込みには対応しておりません。また、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいは、カートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*17 ご使用のディスク・設定・環境によっては再生できない場合があります。

*18 通信速度(IEEE802.11b:規格値11 Mbps、IEEE802.11a/g:規格値54 Mbps)は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*19 IEEE802.11gは、IEEE802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。

*20 IEEE802.11aとIEEE802.11b/gの2つの通信を同時に行うことはできません。また、IEEE802.11a(5 GHz)ワイヤレスLAN機器の野外使用は法令により禁止されています。

*21 IEEE802.11aについては、J52/W52/W53対応(JEITAによる改正 IEEE802.11a規格ガイドラインに基づく周波数表示)。

*22 一般電話回線のみに対応しています。交換機(PBXやホームテレホンなど)を経由する回線には対応していません。

*23 V.92方式が利用できない場合には、V.90モデムとして機能します。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。
データ送信時は規格上33.6 kbpsに制限されています。実際の通信速度は回線品質などの状況により変動します。

*24 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。

*25 省電力モード時。駆動時間は使用状況および設定等により記載時間と異なる場合があります。

*26 JEITAバッテリー動作測定法(Ver.1.0)にもとづく駆動時間です。
詳細についてはVAIOホームページ内[サポート]機種別ページで順次ご案内します。

*27 充電時間は使用状況により、記載時間と異なる場合があります。

*28 付属のバッテリと互換性のあるバッテリです。

*29 付属のACアダプタと互換性のあるACアダプタです。

*30 お買い上げ時にメモリ増設済みの場合があります。メモリスロットの状況をご確認の上(146ページ)、お買い求めください。

*31 BS・CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。

*32 ビデオ入力またはビデオ出力を行うには、AVケーブルVMC-20FR(別売)などをご利用ください。

*33 録画可能な画像の時間は、映像の内容によって多少前後することがあります。

本機に付属されているソフトウェアを確認する

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：　ご使用の機種に付属されています。

□：　ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。

ー：　ご使用の機種には付属されておりません。

VGN-FS92PS・FS92S・FS52Bをお使いの方

	VGN-FS92PS	VGN-FS92S	VGN-FS52B
AVエンターテインメント			
Do VAIO Ver.1.4	○／ー*	○／ー*	○
Do VAIOバックアップツール	○／ー*	○／ー*	○
Image Converter 2	○／ー*	○／ー*	○
ビデオ編集・再生			
DVgate Plus Ver.2.1	○／ー*	○／ー*	○
Windows Media(TM) Player 10	○	○	○
WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）	○	○	○
DVD作成			
Click to DVD Ver.2.4	○／ー*	○／ー*	○
音楽			
SonicStage Ver.3.2	○／ー*	○／ー*	○
SonicStage Mastering Studio Ver.1.4	○／ー*	○／ー*	○
静止画・写真			
PictureGear Studio Ver.2.0	○／ー*	○／ー*	○
Adobe(R) Photoshop(R) Elements 3.0 日本語版	□／ー*	□／ー*	□
ホームネットワーク			
VAIO Media Ver.4.2	○／ー*	○／ー*	○
VAIO Media Integrated Server Ver.4.2	○／ー*	○／ー*	○
コミュニケーション			
みんなでTV電話スタータ	○	○	○
MSN(R) Messenger 7.0	○	○	○
Skype	○	○	○
インターネット・メール			
Microsoft(R) Outlook Express 6	○	○	○
Microsoft(R) Internet Explorer 6	○	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○	○
i-フィルター Personal Edition3（体験版）	○／ー*	○／ー*	○
ISP サインアップ			
So-net簡単スターター	○	○	○
BIGLOBEでインターネット	○	○	○
ホットスポット（サービス紹介）	○／ー*	○／ー*	○
ワープロ・表計算			
Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 1含む）	○／ー*	○／ー*	○
Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 1含む）	○／ー*	○／ー*	ー
実用ツール			
Roxio DigitalMedia SE 7	○	○	○
駅すぱあと	○／ー*	○／ー*	○
デジタル全国地図	○／ー*	○／ー*	○
HD革命/BackUp（バンドル版）	○	○	○
Adobe(R) Reader(R) 7.0	○	○	○
ATLAS 翻訳パーソナル 2005 LE	○／ー*	○／ー*	○

	VGN-FS92PS	VGN-FS92S	VGN-FS52B
Norton Internet Security(TM) 2005 AntiSpyware Edition	○	○	○
Microsoft(R) Office PowerPoint(R) Viewer 2003	○／－*	○／－*	○
一太郎ビューア 3.0	○／－*	○／－*	○
実用ツール（VAIOソフトウェアセレクション）			
携帯万能15 体験版	□／－*	□／－*	□
大富豪 Plus5 体験版	□／－*	□／－*	□
AI囲碁 Version 14 for Windows 体験版	□／－*	□／－*	□
AI将棋 Version 12 for Windows 体験版	□／－*	□／－*	□
AI麻雀 Version 8 for Windows 体験版	□／－*	□／－*	□
AQUAZONE ビジュアル・エディション 水中庭園 トライアル版	□／－*	□／－*	□
タイピング競馬 体験版	□／－*	□／－*	□
サンリオ スーパータイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのわいわいデパート	□／－*	□／－*	□
サンリオ タイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのいろとかたち	□／－*	□／－*	□
ドラネットキッズ入学準備体験版	□／－*	□／－*	□
ドラネット小学一年生体験版	□／－*	□／－*	□
ドラネット小学二年生体験版	□／－*	□／－*	□
ホームページ・ビルダー V9 体験版	□／－*	□／－*	□
新世紀ビジュアル大辞典 体験版	□／－*	□／－*	□
えいご漬け（体験版）	□／－*	□／－*	□
実用ツール（暮らし役立ちパック）			
筆ぐるめ Ver.12	○／－*	○／－*	○
時事通信社「家庭の医学」デジタル版II	○／－*	○／－*	○
てきぱき家計簿マム4	○／－*	○／－*	○
FeliCa（フェリカ）			
かざそうFeliCa	○	○	○
Edy Viewer V2.0	○	○	○
ID Keyholder	○	○	○
SFCard Viewer	○	○	○
スクリーンセーバーロック	○	○	○
かんたん登録	○	○	○
設定・ユーティリティ			
VAIOナビ	○	○	○
メモリースティックフォーマッタ	○	○	○
Smart Network Ver.2.2	○	○	○
「ホットスポット」自動ログインツール	○／－*	○／－*	○
バイオの設定 Ver.1.1	○	○	○
サポート・ヘルプ			
バイオ電子マニュアル	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.1	○	○	○
できるWindows XP for VAIO	○	○	○
VAIO リカバリユーティリティ	○	○	○
VAIO Update Ver.2.1	○／－*	○／－*	○
その他			
Java(TM) Software	○	○	○
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

VGN-FS32B・FS22VB・FS22Bをお使いの方

	VGN-FS32B	VGN-FS22VB	VGN-FS22B
AVエンターテインメント			
Do VAIO Ver.1.4	○	○	○
Do VAIOバックアップツール	○	○	○
Image Converter 2	○	○	○
ビデオ編集・再生			
DVgate Plus Ver.2.1	○	○	○
Windows Media(TM) Player 10	○	○	○
WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）	○	○	○
DVD作成			
Click to DVD Ver.2.4	○	○	○
音楽			
SonicStage Ver.3.2	○	○	○
SonicStage Mastering Studio Ver.1.4	○	○	○
静止画・写真			
PictureGear Studio Ver.2.0	○	○	○
Adobe(R) Photoshop(R) Elements 3.0 日本語版	−	−	−
ホームネットワーク			
VAIO Media Ver.4.2	○	○	○
VAIO Media Integrated Server Ver.4.2	○	○	○
コミュニケーション			
みんなでTV電話スタータ	○	○	○
MSN(R) Messenger 7.0	○	○	○
Skype	○	○	○
インターネット・メール			
Microsoft(R) Outlook Express 6	○	○	○
Microsoft(R) Internet Explorer 6	○	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○	○
i-フィルター Personal Edition3（体験版）	○	○	○
ISP サインアップ			
So-net簡単スターター	○	○	○
BIGLOBEでインターネット	○	○	○
ホットスポット（サービス紹介）	○	○	○
ワープロ・表計算			
Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 1含む）	○	○	○
Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 1含む）	−	−	−
実用ツール			
Roxio DigitalMedia SE 7	○	○	○
駅すぱあと	○	○	○
デジタル全国地図	○	○	○
HD革命/BackUp（バンドル版）	○	○	○
Adobe(R) Reader(R) 7.0	○	○	○
ATLAS 翻訳パーソナル 2005 LE	○	○	○
Norton Internet Security(TM) 2005 AntiSpyware Edition	○	○	○
Microsoft(R) Office PowerPoint(R) Viewer 2003	○	○	○
一太郎ビューア 3.0	○	○	○
実用ツール（VAIOソフトウェアセレクション）			
携帯万能15 体験版	□	□	□
大富豪 Plus5 体験版	□	□	□
AI囲碁 Version 14 for Windows 体験版	□	□	□
AI将棋 Version 12 for Windows 体験版	□	□	□
AI麻雀 Version 8 for Windows 体験版	□	□	□
AQUAZONE ビジュアル・エディション 水中庭園 トライアル版	□	□	□
タイピング競馬 体験版	□	□	□
サンリオ スーパータイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのわいわいデパート	□	□	□
サンリオ タイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのいろとかたち	□	□	□
ドラネットキッズ入学準備体験版	□	□	□
ドラネット小学一年生体験版	□	□	□
ドラネット小学二年生体験版	□	□	□
ホームページ・ビルダー V9 体験版	□	□	□
新世紀ビジュアル大辞典 体験版	□	□	□
えいご漬け（体験版）	□	□	□
実用ツール（暮らし役立ちパック）			
筆ぐるめ Ver.12	○	○	○
時事通信社「家庭の医学」デジタル版II	○	○	○
てきぱき家計簿マム4	○	○	○

	VGN-FS32B	VGN-FS22VB	VGN-FS22B
FeliCa（フェリカ）			
かざそうFeliCa	○	○	○
Edy Viewer V2.0	○	○	○
ID Keyholder	○	○	○
SFCard Viewer	○	○	○
スクリーンセーバーロック	○	○	○
かんたん登録	○	○	○
設定・ユーティリティ			
VAIOナビ	○	○	○
メモリースティックフォーマッタ	○	○	○
Smart Network Ver.2.2	○	○	○
「ホットスポット」自動ログインツール	○	○	○
バイオの設定 Ver.1.1	○	○	○
サポート・ヘルプ			
バイオ電子マニュアル	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.1	○	○	○
できるWindows XP for VAIO	○	○	○
VAIO リカバリユーティリティ	○	○	○
VAIO Update Ver.2.1	○	○	○
その他			
Java(TM) Software	○	○	○
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

使用できるCD／DVDディスクとご注意

使用できるCD／DVD ディスク

◎：再生、記録可能
○：再生のみ可能、記録不可
×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R／RW	◎
DVD-R／RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
VIDEO CD	○

DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	×
DVD+R／RW	◎
DVD-R／RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
VIDEO CD	○

CD-RW/DVDドライブモデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL(Double Layer)	○
DVD-R DL(Dual Layer)	×
DVD+R/RW	○
DVD-R/RW	○
DVD-RAM	×
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R/RW	◎
VIDEO CD	○

DVD-ROMドライブモデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL(Double Layer)	○
DVD-R DL(Dual Layer)	×
DVD+R/RW	○
DVD-R/RW	○
DVD-RAM	○
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R/RW	○
VIDEO CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。
*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。
DVD-R DLを用いて作成したディスクは他の機器で読めない場合があります。書き込みができるソフトウェアは「Roxio DigitalMedia」のみです。
*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*6 DVD-RAMは、Ver.1(片面 2.6Gバイト)の書き込みには対応していません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW／DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- データ形式での追記は、付属の「Roxio DigitalMedia」ソフトウェアにより可能です。なお、追記にて記録したデータは、他のDVDドライブでは読み出せない場合があります。
- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／CD-R／CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 推奨するディスクについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状ディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクト（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRM対応のDVD-R／DVD-RW／DVD-RAMに録画した「1回だけ記録可能」な番組の再生は「WinDVD」ソフトウェアで可能です。
（CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ記録可能な番組」に対する著作権保護技術です。）
- CPRM対応のDVD-R／DVD-RW／DVD-RAMでの「1回だけ録画可能」な番組の録画は出来ません。

書き込んだディスクを他のプレイヤーで読み込むときのご注意

- CD-R／CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RWを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドを操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しない。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しない。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしない。

索引

⇨バイオ電子マニュアル

が付いている項目に関連する情報は、本機にプリインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ナ行】

【ハ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【C】

【D】

【F】

【I】

【L】

【M】

【N】

【O】

【P】

【S】

【U】

【V】

【W】

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、
  MEMORY STICK、、、
  MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、
  MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMG、OpenMG
  はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」はビットワレット株式会社が運営するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO and Inflator for VAIO from Sony Oxford. Copyright（C）2003,2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager and Renaissance Bass plug-ins by Waves Ltd.
- Noise Reduction Effector Powered by DigiOn, Inc. Copyright（C）2003 DigiOn, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Digital Music Recognition Technology & MoodLogic for SonicStage Mastering Studio Service provided by MoodLogic, Inc. Copyright（C）2003.
- QStream Technology by QSound Labs, Inc.Copyright（C）QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved. QSound and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright（c）2000-2004 Gracenote. Gracenote CDDB（r）Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523.
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo,and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、Office ロゴ、Outlook、PowerPoint、InfoPathおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- SmartMedia（TM）は、株式会社 東芝の商標です。
- MultiMediaCard（TM）はMultiMediaCard Associationの商標です。
- 「ボーダフォンライブ！」は、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズの商標です。
- （C）1976, 2005 SANRIO CO., LTD.（E）
- IBM、ホームページ・ビルダーはIBM Corporationの商標です。
- Copyright（c）1993-2005 FUJISOFT ABC Inc.
- Adobe、Adobeロゴ、およびAdobe Photoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。（C）2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では（TM）、（R）マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況にあった解決方法を提供しています。

テーマ別にバイオの楽しみかたを紹介

ENJOY VAIO

http://vaio.sony.co.jp/Enjoy/index.html

バイオをさらに使いこなすためのヒントや、
ソフトウェアを提供しています。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://vaio.sony.co.jp/

バイオならできること、バイオだからできることを
紹介しています。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

初心者ダイヤル
(0466) 30-4109（良いトーク）

受付時間
平日：10時～21時
土、日、祝日：10時～17時

※初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任のオペレータがやさしい用語で丁寧にご説明する窓口です。バイオのカスタマー登録がお済みのお客様は、直接オペレータにつながります。
（ご登録いただいた電話番号の発信者番号通知を有効に設定されている場合に限ります。）

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有償サービス

VAIOホームページでは、登録カスタマーのみなさまにさまざまな有償サービスをご提供しています。

http://vaio.sony.co.jp/Service/

■VAIOメール
プロバイダに左右されない「@xxx.vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。

■VAIOソフトウェアセレクション
クリエイティブ系や実用ソフトなどをVAIOカスタマー優待価格でダウンロード販売します。

■VAIOカスタマイズサービス
ご愛用のバイオのハードディスクやメモリをアップグレードします。
ノートブック型では英語キーボード交換サービスも行っています。

■VAIO延長保証サービス
バイオ本体の保証期間を3年間に延長します。

■VAIO Overseas Service
海外でバイオのサポートを電話で受けられるサービスです。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

初心者ダイヤル　電話番号（0466）30-4109（良いトーク）

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

2-652-621-**01** (1)